

# **QNAP Mobile NAS**

## **User Manual**

### **(Version: 1.2)**

This manual is applicable to the following Mobile NAS models: QG-103N

© 2014 QNAP Systems, Inc. All Rights Reserved.

# Table of Contents

<b>1. 使い方</b> .....	<b>7</b>
1.1 最初にご覧下さい .....	8
1.2 製品概要 .....	9
1.2.1 QGenie でできること.....	9
1.2.2 対応デバイス.....	11
1.2.3 外観.....	12
1.3 使用の手引き .....	15
1.3.1 バンドルアイテム.....	15
1.3.2 QGenie の充電.....	16
1.3.3 電源をオンにする/オフにする.....	18
1.3.4 Android デバイスの設定.....	19
1.3.5 iOS デバイスの設定.....	20
1.3.6 無線 LAN 経由でデバイスに接続する.....	22
1.4 PC による使用の手引き .....	24
1.4.1 Qfinder のインストール.....	24
1.4.2 PC を QGenie に接続する.....	28
1.5 Qfile を利用した QGenie のセットアップ/使用 .....	30
1.5.1 Qfile からログインする.....	31
1.5.2 ホーム画面.....	32
1.5.3 QGenie のセットアップ.....	33
1.5.4 ファイルにアクセス・管理する (基本).....	44

1.5.5	ファイルにアクセス・管理する (上級)	48
1.5.6	QGenie との間で電話帳をバックアップおよび復旧する	51
1.5.7	Qfile のセットアップ	53
1.6	Qfinder を利用した QGenie のセットアップ/使用	59
1.6.1	Web インターフェースからログインする	60
1.6.2	マイネットワーク (Samba) を利用して QGenie のコンテンツにアクセスする	61
1.6.3	QGenie のネットワーク詳細をチェックする	64
1.7	Web ブラウザを利用した QGenie のセットアップ/使用	65
1.7.1	設定ページ	66
1.7.2	QGeine のインターネット接続を設定する	71
1.7.3	QGeine のコンテンツにアクセスする	73
1.8	myQNAPcloud サービス	74
1.9	注意事項	77
1.9.1	一般使用	77
1.9.2	メンテナンス	78
1.9.3	外部ストレージの注意事項	78
1.10	仕様	78
1.11	復元モード	81
<b>2.</b>	<b>トラブル解決</b>	<b>82</b>
2.1	本体	82
2.1.1	QGenie の電源が入りません。	83
2.1.2	バッテリーの寿命が思っていたよりも短い。	83

2.1.3 QGenie がオフの場合でも、バッテリー消費が非常に速い。	83
2.1.4 コンピュータからバッテリーに充電できません。	83
2.1.5 バッテリーインジケータが充電中になりません。	83
2.1.6 バッテリーの充電にとても時間がかかります。	84
2.1.7 QGenie から他のデバイスに電源が供給されません。	84
2.2 熱	84
2.2.1 この装置は熱くなります。	84
2.3 充電	84
2.3.1 コンピュータからバッテリーに充電できません。	84
2.3.2 充電中、バッテリーインジケータのランプは点灯しません。	85
2.3.3 充電中、バッテリーインジケータのランプは点滅します。	85
2.3.4 バッテリーの充電にとても時間がかかります。	85
2.3.5 充電中、無線 LAN 機能は利用できません。	85
2.4 パワーバンク	85
2.4.1 QGenie から他のデバイスに電源が供給されません。	85
2.5 無線 LAN 接続	85
2.5.1 モバイル機器またはコンピュータへの無線 LAN 接続が確立できない、あるいは接続が不安定、および/または接続するのに長い時間がかかります。	86
2.5.2 ワイヤレス名 (SSID) が2つ見つかりましたが、両方とも「QG」で始まるため、どちらを使えば良いのかわかりません。	86
2.5.3 無線 LAN 接続が停止しました。	86
2.6 インターネット接続	87

2.6.1	インターネット接続が確立できません。	87
2.7	その他	87
2.7.1	インターネット接続用に、外部アクセスポイントとしてワイヤレスネットワーク (SSID) をいくつ登録することができますか？	87
2.7.2	ユーザーは何人まで QGenie に同時接続できますか？	87
2.8	ファイル操作	87
2.8.1	データの再生/表示	88
2.8.1.1	データを再生または表示できません。	88
2.8.1.2	データの再生または表示には時間がかかります。	88
2.8.1.3	Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか？	88
2.8.1.4	ファイルは Qfile では編集できません。	88
2.8.1.5	カメラロールにアクセスできません (iOS デバイス)。	88
2.8.2	データをコピーし、削除する	88
2.8.2.1	データのコピーにかかる時間が長すぎます。	89
2.8.2.2	データを外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) にコピーすることはできません。	89
2.8.2.3	外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) のデータを削除できません	89
2.9	コンピュータへの USB 接続	89
2.9.1	QGenie を USB ケーブルを使ってコンピュータに接続していますが認識されません。	89
2.9.2	バッテリーの表示ランプがオレンジ色になります。	89
2.9.3	PC に接続後、無線 LAN 接続が停止します。	90
2.10	Qfile	90
2.10.1	Qfile をインストールできません。	90

2.10.2 Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか? .....	90
2.10.3 Qfile を使用してファイルを編集できません。 .....	90
2.10.4 Qfile のバージョンはどこで確認できますか? .....	90
2.10.5 Qfile から QGenie にログインできません .....	91
2.11 myQNAPcloud .....	91
2.11.1 myQNAPcloud に QGenie を登録できません。 .....	91
2.12 追加情報 .....	91
2.12.1 リセットについて.....	92
2.12.2 QGenie の無線 LAN のセキュリティ設定.....	92
2.12.2.1 無線セキュリティ設定は必要ですか? .....	92
2.12.2.2 QGenie で利用できる無線セキュリティ設定には何がありますか? .....	92
2.12.2.3 パスワードを忘れました。 .....	92
2.13 システムソフトウェアのアップデート .....	92
2.13.1 QGenie のソフトウェア更新について.....	92
2.13.2 QGenie がファームウェアのアップデートに失敗した場合。 .....	92
2.14 USB ケーブル .....	93
2.14.1 QGenie に USB ケーブルを接続できません。 .....	93
<b>3. カスタマーサポート .....</b>	<b>93</b>
<b>4. GNU 一般公衆利用許諾契約書 .....</b>	<b>94</b>

## 1. 使い方

### [最初にご覧下さい](#)

免責条項、著作権情報、およびその他の QGenie に関する重要情報。

### [製品概要](#)

QGenie およびサポート製品の機能に関する概要。

### [使用の手引き](#)

モバイル機器を使って利用するための手引き。

### [PC による使用の手引き](#)

PC または Mac を使って利用するための手引き。

### [Qfile を利用した QGenie のセットアップ/使用](#)

モバイル機器上の Qfile を利用して QGenie にアクセスおよび設定を行う方法。

### [Qfinder を利用した QGenie のセットアップ/使用](#)

PC 上の Qsync を利用して QGenie のコンテンツにアクセスする方法。

### [Web ブラウザを利用した QGenie のセットアップ/使用](#)

Web ブラウザを利用して QGenie をセットアップおよびアクセスする方法。

### [myQNAPcloud サービス](#)

myQNAPcloud を利用して QGenie を登録する方法。

### [注意事項](#)

QGenie をご利用いただく際の注意事項。

### [仕様](#)

QGenie のハードウェアおよびソフトウェア仕様。

### [復元モード](#)

QGenie の起動またはアップグレードに失敗した場合の復元方法。

## 1.1 最初にご覧下さい



### バッテリー容量に関連したご注意

このデバイスには充電式バッテリーが搭載されています。ファイルのコピー中にバッテリーが切れた場合、ファイルのコピー処理は失敗となります。デバイスに書き込み中にバッテリーが切れた場合、データ破損の原因になる場合があります。

### コンテンツ保証における免責条項

QNAP はコンテンツを補償する責任を一切持たず、また、デバイスの破損や、不良、またはその他のハードウェアあるいはソフトウェアの機能不全によって、このデバイスに保管されたデータが紛失した場合に発生するいかなる損害に対しても一切の責任をもちません。また、QNAP が、いかなる場合においても、このデバイス内のコンテンツを回復、修復、複製(など)することはありません。

### 外部ストレージデバイスの使用について (SD カード、USB ドライブ など)

アクセス中にバッテリーが切れたり、外部デバイスが取り外された場合、外部デバイスに保管されたデータが破損される恐れがあります。



## 1.2 製品概要

### QGenie でできること

主な機能についての説明。

### 対応デバイス

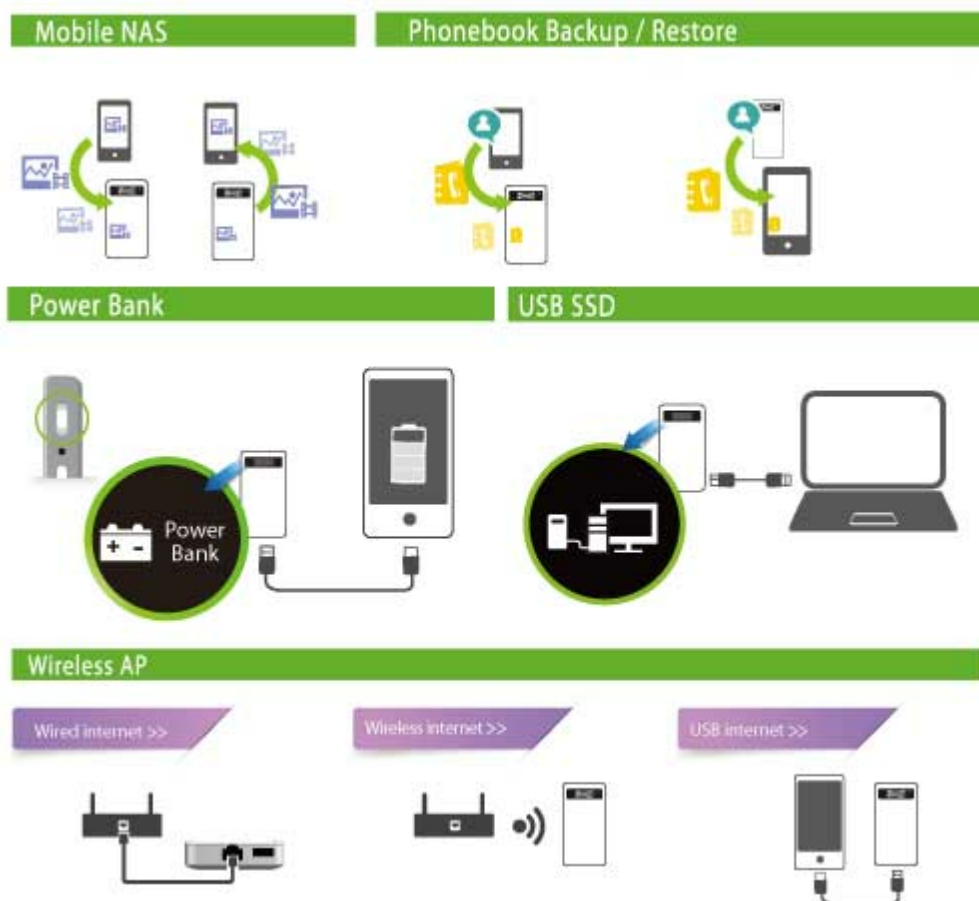
QGenie でご利用いただくために必要となるデバイスの仕様および動作環境。

### 外観

QGenie の電源のオン/オフの仕方。LED インジケータと OLED 画面についての説明。

#### 1.2.1 QGenie でできること

QGenie は、出先におけるファイルのストレージ、バックアップ、共有を実現するために設計された革新的なモバイル NAS です。QGenie はインターネット接続用にワイヤレス共有ルーターとして、あるいはモバイル機器を充電するパワーバンクとしてもご利用いただけます。QGenie は、Android や iOS デバイスに保存された電話帳をいつでもバックアップ/復元することが可能な、手軽なソリューションです。QGenie の USB 3.0 接続機能を利用して PC に接続することで、ポータブル SSD としてご利用いただけます。



#### モバイル NAS

- 革新的なモバイルデータセンターです。ユーザーは難しい設定をすることな

く、NASの機能をお楽しみいただけます。「Qfile」のインストールは簡単です。2つの手順を行うだけでQfileをご利用いただけます。

- 1.お使いのモバイル機器のワイヤレスネットワークをQGenieに接続します。
- 2.Qfileを開きます。

- 簡単なファイル管理。
- モバイル機器で撮影した写真やビデオは自動的にQGenieにアップロードされます。
- 外部のマルチメディアプレーヤーがQGenieのコンテンツにアクセスするのをサポート。
- 軽量 (112g/4ozのみ)。
- PC上でQsyncを使って、QNAP Turbo NASにファイルを転送。

### 無線アクセスポイント/Wi-Fi ホットスポット

- 最大20台のデバイスに対応。
- ワイヤレス範囲 最大で50m/164フィートまで対応。
- 移動中および職場内でネットワークアクセスを共有。[\(やり方\)](#)
- 有線インターネットを使ってWi-Fiホットスポットを作成。[\(やり方\)](#)
- 3G/4G USB モデムでWi-Fiホットスポットを作成。[\(やり方\)](#)
- テザリング用にAndroidまたはiOSを接続。[\(やり方\)](#)

### パワーバンク

- モバイル機器のパワーバンクとしてご使用いただく場合には、7つの手段で破損から保護します。
  - 過充電保護
  - 過放電保護
  - 過熱保護
  - 短絡回路保護
  - 過電圧保護
  - 過電流保護
  - 高度なSDP/DCPサポート
- シリアル充電に対応。QGenieを充電している時でもご利用のデバイスを充電できます。
- 1.5A/5V 出力をサポート。iPadデバイスの充電をサポート。
- 効率の高い90%の電力変換率。

### パーソナルクラウド

- QGenieを近くに設置した場合  
モバイル機器とPCは、QGenieに保存されているコンテンツに同時にアクセスすることができ、お互いでファイルを共有し合うことも可能です。
- QGenieが遠くにある/インターネット接続されている場合  
QGenieのコンテンツにはmyQNAPcloudサービスを利用してアクセスすることができます。

### 電話帳のバックアップと復元

- 4つの簡単な手順でモバイル機器にある電話帳をバックアップ/復元できます。[\(やり方\)](#)
- iOSまたはAndroidといった異なるプラットフォームに1から電話帳を復元できます。
- より効率性を高めるため、バックアップをスケジュールできます。

### ポータブルマルチメディアサーバー

- QGenieに保存された音楽を再生できます。
- Qfileは幅広いビデオフォーマットに対応しています(mp4、mkv、およびrmvbを含む)。
- 異なるメディアファイルに複数のデバイスで同時にアクセスすることが可能です。

### USB SSD 超高速ストレージデバイス

- USB 3.0 を使って PC に接続すれば、QGenie がポータブル SSD になります。
- 最大 120MB/秒の読み取り速度と最大 40MB/秒の書き込み速度。
- QGenie をスマートテレビに接続して、写真やビデオを直接ブラウズできます。

### 高い拡張性

- 最大 128GB までの SDXC SD カードに対応。( [互換性リストを確認する](#) )
- 最大 2TB までの USB ドライブに対応。( [互換性リストを確認する](#) )

### OLED 画面

現在のシステム状況をわかりやすく表示します。

#### 1.2.2 対応デバイス

##### Android

Android 2.3

Android 4.0(またはそれ以降)

##### Windows PC

Windows XP(SP3)

Windows Vista(SP2)

Windows 7(SP1)

Windows 8

##### iOS

iOS 5.0(またはそれ以降)

##### Mac

Mac OS X10.6(またはそれ以降)

### 互換性のあるSD カード

SDカード

SDHCカード

SDXCカード

microSDカード (データ変換ユーティリティが必要)

microSDHCカード (データ変換ユーティリティが必要)

microSDXCカード (データ変換ユーティリティが必要)

[互換性全リスト](#)

### 互換性のある USB デバイス

USB フラッシュドライブ

## USB ハードドライブ

スマートフォン (充電およびテザリング用)

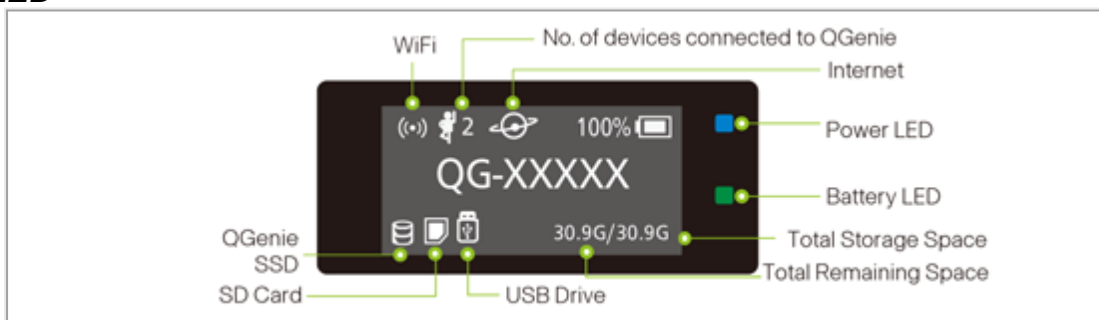
[互換性全リスト](#)

### 1.2.3 外観

製品の写真



### OLED

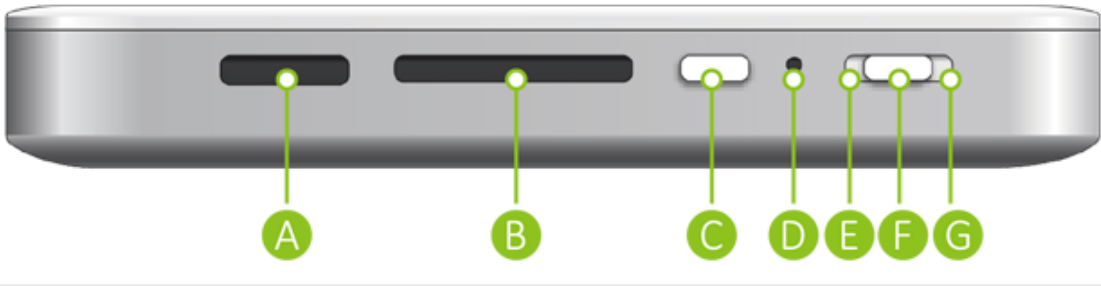







#### 電源 LED

色	状態	説明
青	点滅	システム起動中
青	オン	Wi-Fi 共有準備完了

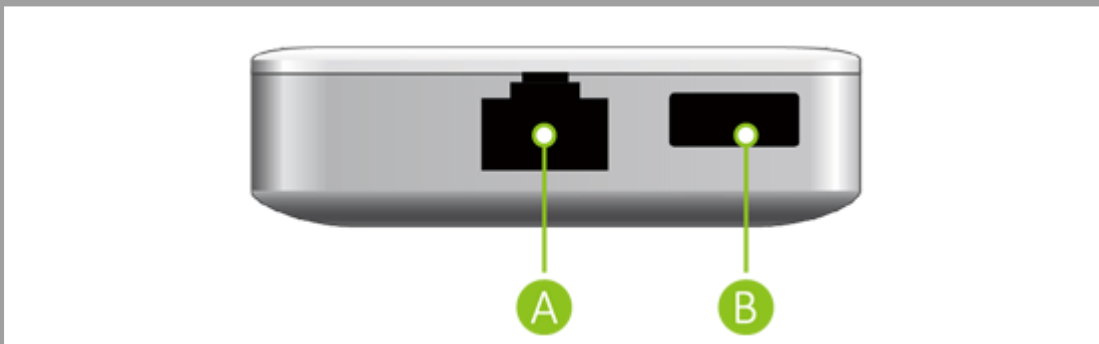
バッテリー LED		
色	状態	説明
緑	オン	完全に充電された状態
赤	点滅	バッテリー残量が少なくなっています
オレンジ	オン	バッテリーを充電しています

横から見た図



ポート/スイッチ	アイコン	説明
A		PC/充電器用 USB
B		SD カードスロット
C		情報 ボタン
D	X	リセットボタン
E	OFF	オフモード
F		パワーバンクモード
G		Wi-Fi 共有モード

下から見た図



ポート	説明
A	有線インターネット
B	USB 3.0 ポート

## ハードウェアの取り付け

### 注意

SDカード/USB デバイスを正しく挿入してください。無理に押し込むと QGenie が壊れることがあります。

### SD カードの挿入

正面を上にして SD カードを挿入します。



SD カードが正しく挿入されると、QGenie OLED 画面のストレージインジケータに SD アイコンが表示されます。

SD アイコンが表示されたら、ユーザーは SD カードのデータにアクセスできます。

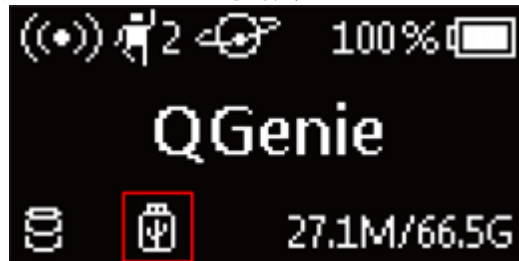


### USB ストレージの挿入

下部の USB ポートに USB ストレージを挿入します。



SD ストレージが正しく挿入されると、QGenie OLED 画面のストレージインジケータに USB アイコンが表示されます。USB アイコンが表示されたら、ユーザーは USB ストレージのデータにアクセスできます。



### 1.3 使用の手引き

#### バンドルアイテム

QGenie に 付属する アイテムの一覧

#### QGenie の充電

QGenie は USB ケーブルで 接続したコンピューターから 充電するか、USB AC アダプターから充電できます。

#### 電源をオンにする/オフにする

電源スイッチをスライドさせることで電源のオン/オフを切り替えることができます。

#### Android デバイスの設定

Google Play から Qfile をダウンロードし、インストールします。

#### iOS デバイスの設定

App Store から Qfile をダウンロードし、インストールします。

#### 無線 LAN 経由でデバイスに接続する

無線接続を利用し、モバイルデバイスを QGenie に接続します。

#### 1.3.1 バンドルアイテム

これらのアイテムを受け取っていることを確認してください。不足がある場合は、販売業者までお問い合わせください。

1. QGenie (QG-103N)
2. USB 3.0 ケーブル

### 3. クイックインストールガイド

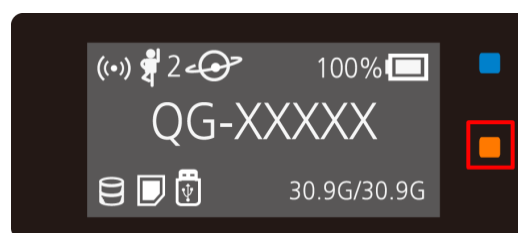
#### 1.3.2 QGenie の充電

##### USBAC アダプターによる充電

1. USB AC アダプターを QGenie の USB の PC/充電器ポートに接続します。AC アダプターをコンセントに接続します。



2. バッテリーの LED インジケーターがオレンジ色に点灯します。



3. QGenie が完全に充電されると、OLED バッテリーインジケーターに 100%と表示されます。





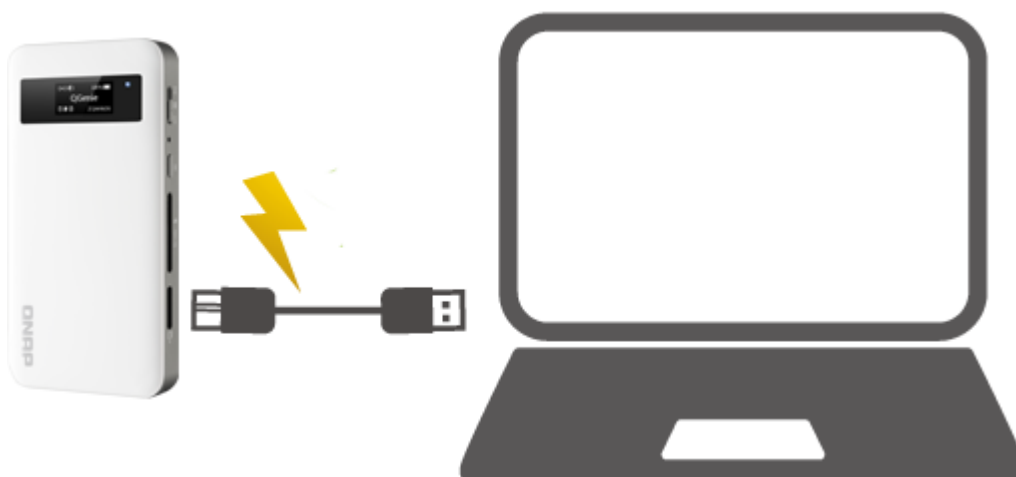
4. 充電が完了したら、QGenie から USB AC アダプターを外します。
5. 充電時間は約 3 時間です。

**i** 注意

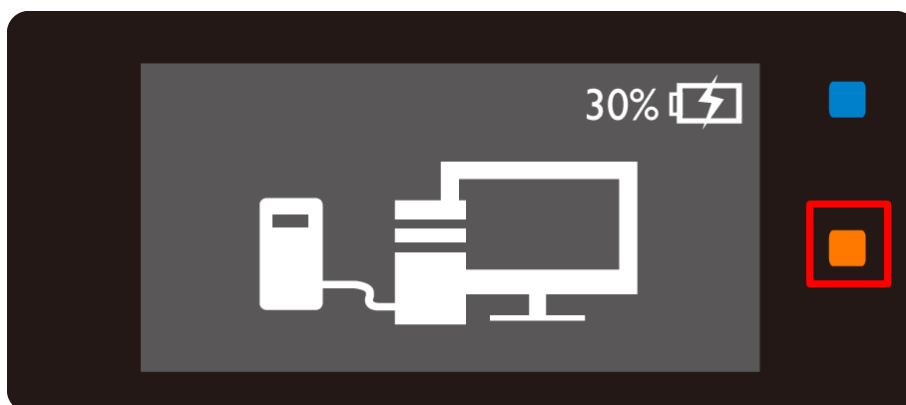
- ケーブルは正しく接続してください。ケーブルをポートに無理に押し込むと、ポートが壊れることがあります。
- 再充電可能なリチウムイオンバッテリーを最適な状態で利用するには、10 &deg;C ~ 35 &deg;C (50 &deg;F - 95 &deg;F) の室温で充電することが推奨されます。
- 充電中に異常が発生した場合 (温度の上昇、不十分な電力など)、OLED 画面にエラーが表示され、バッテリー LED がオレンジ色に点滅して、充電が停止することがあります。QGenie がオンのときにこれが発生した場合は、オフにするか、別の USB アダプターをお試しください。

### PC による充電

1. QGenie を USB ケーブルでコンピューターに接続します。



2. バッテリーの LED インジケーターがオレンジ色に点灯します。



3. QGenie が完全に充電されると、OLED バッテリーインジケーターに 100%と表示されます。



4. 充電が完了したら、QGenie とコンピューターから USB ケーブルを外します。

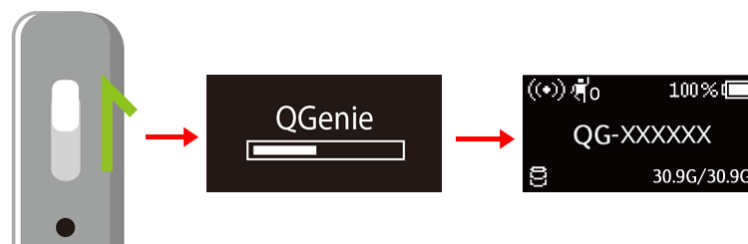
**i** 注意

- PC がオフになっているとき、またはスリープモードの場合、QGenie は充電できません。
- PC に接続されているとき、QGenie は USB ストレージとして認識されます。
- ケーブルは正しく接続してください。ケーブルをポートに無理に押し込むと、ポートが壊れ、誤動作につながる可能性があります。
- 再充電可能なリチウムイオンバッテリーを最適な状態で利用するには、10 &deg;C ~ 35 &deg;C (50 &deg;F - 95 &deg;F) の室温で充電することが推奨されます。
- 充電中に異常が発生した場合 (温度の上昇、不十分な電力など)、OLED 画面にエラーが表示され、バッテリー LED がオレンジ色に点滅して、充電が停止することがあります。PC の他のポートで充電を続けてみてください。

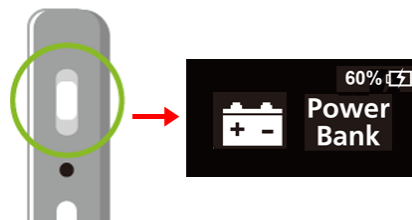
### 1.3.3 電源をオンにする / オフにする

#### 電源をオンにする

Wi-Fi 共有モードで QGenie を起動するには：  
パワースイッチを上へスライドして、画面に「QG-XXXXXX」と表示されるまで待ちます。

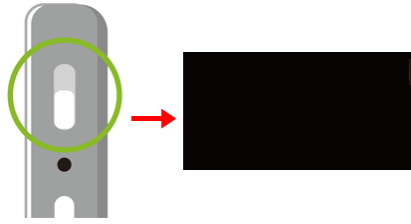


パワーバンクモードで QGenie を起動するには：  
パワースイッチを真ん中にスライドすると、画面に「Power Bank (パワーバンク)」と表示されます。



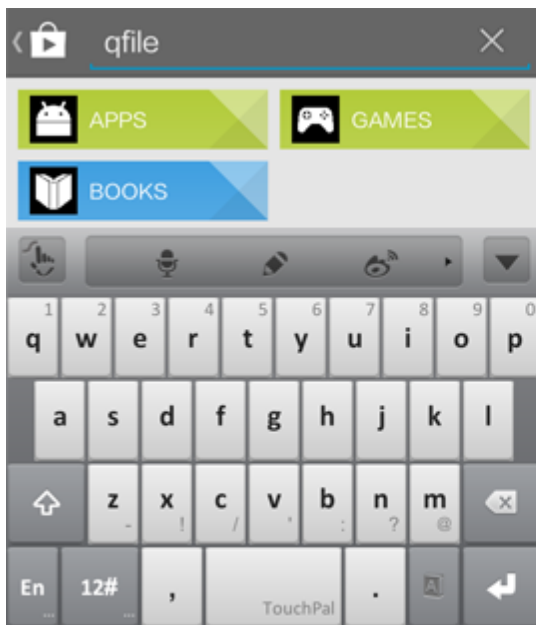
#### 電源をオフにする

パワースイッチを下へスライドすると、画面が表示されなくなります。



### 1.3.4 Android デバイスの設定

1. Google Play Store を開き 「Qfile」を検索するか、以下の QR コードを スキャンし  
ます。



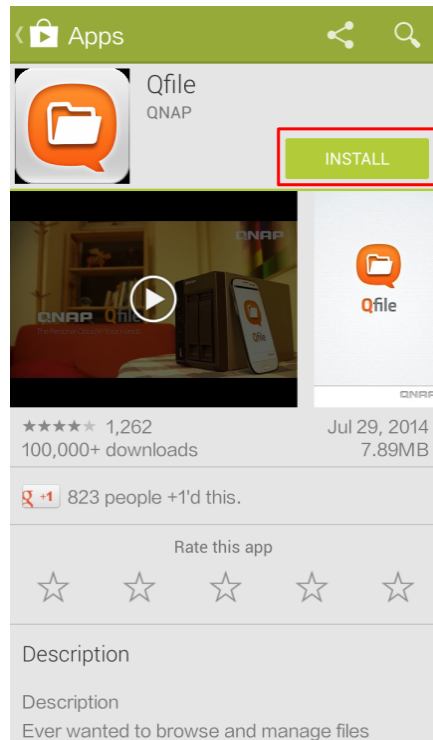
Google Play

OR

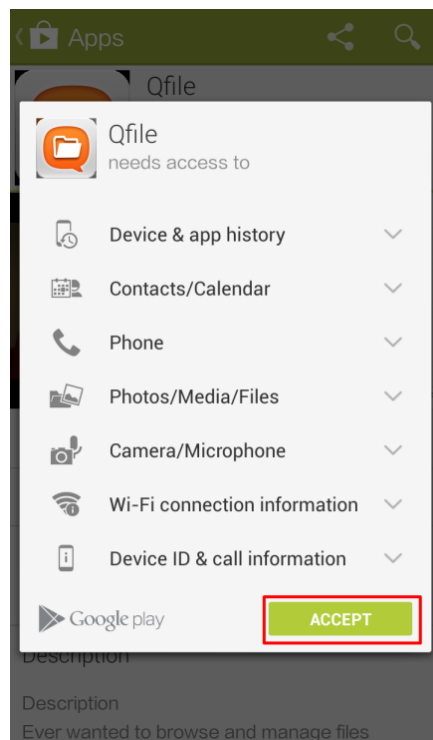


QR Code

2. Qfile を選択して、「INSTALL (インストール)」ボタンをタップします。

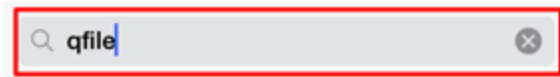


3. 必要な権限を確認したら「ACCEPT (承諾する)」を押してデバイスに Qfile をインストールします。



### 1.3.5 iOS デバイスの設定

1. App Store を開いて「Qfile」を検索するか以下の QR コードをスキャンします。



qfile



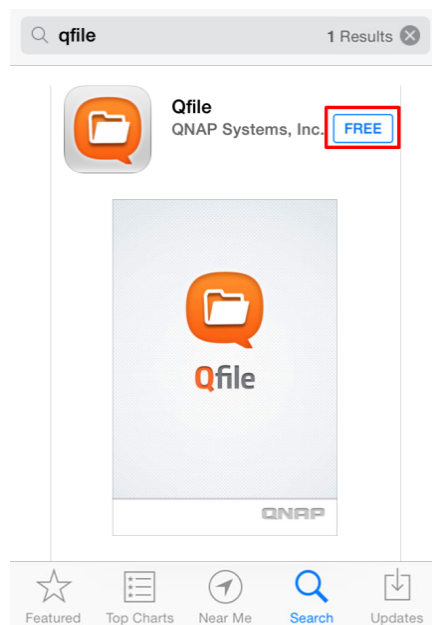
App Store

OR

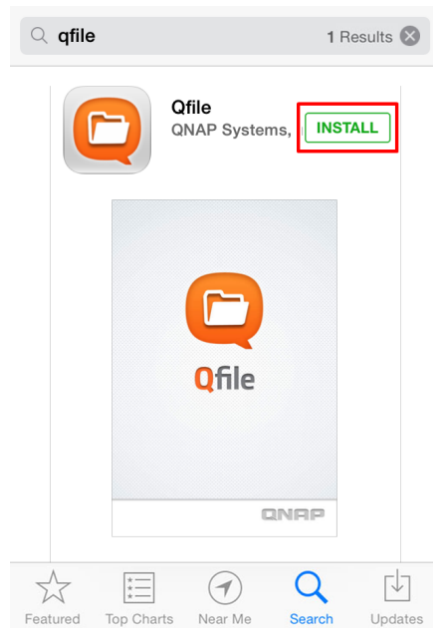


QR Code

2. Qfile を見つけて選択します。「FREE (無料)」ボタンをタップします。



3. 「FREE (無料)」ボタンを選択すると、青いボタンが緑色になり「INSTALL (インストール)」に変わります。  
このボタンをもう一度タップして「Qfile」をインストールします。"

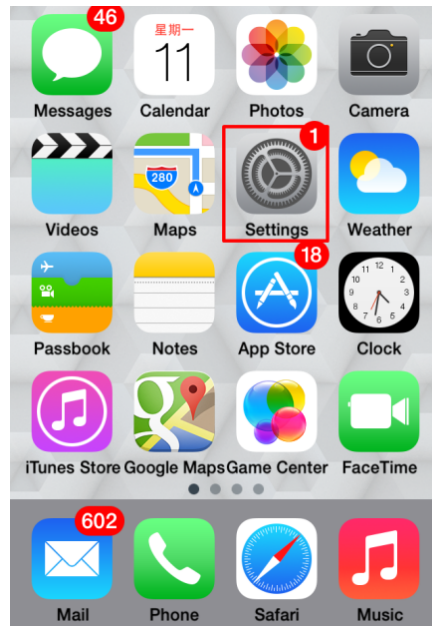


### 1.3.6 無線 LAN 経由でデバイスに接続する

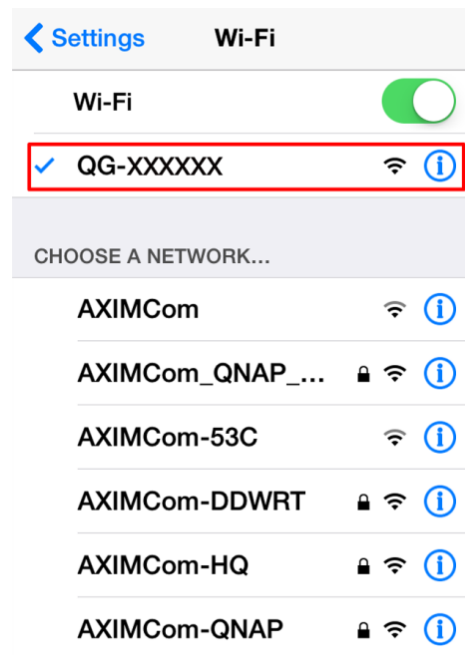
1. 電源スイッチをトップにスライドして QGenie をオンにして進捗バーが消えるまで待ちます。



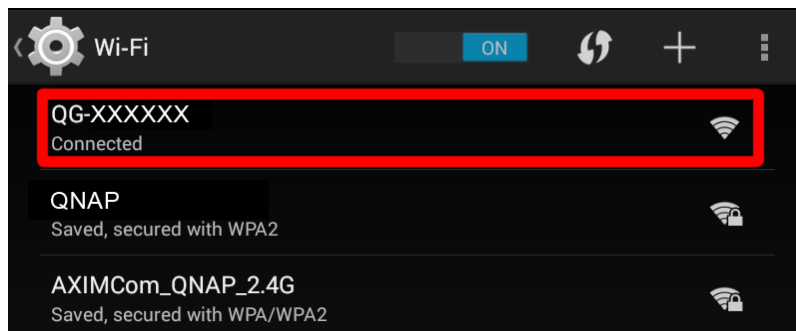
2. モバイルデバイスの「Settings (設定)」に進みます (下の例では iPhone を使用します)。



3. QGenie®の無線名 (SSID) は QGenie ®の OLED 画面での名前と同じです。 . 探して接続します。



(iOS)



(Android)

### 注意

- インターネット接続なしでQGenie に接続すると iOS デバイスには「3G/4G」が表示されます。これは正常な動作です。デバイスは Wi-Fi (QGenie) と 3G/4G に同時に接続します。

## 1.4 PC による使用の手引き

### Qfinder のインストール

PC に QFinder をインストールする方法

### PC を QGenie に接続する

無線接続を利用し、PC または Mac を QGenie に接続します。

#### 1.4.1 Qfinder のインストール

1. <http://www.qnap.com/> に進み、「[Support\(サポート\)](#)」>「[Download\(ダウンロード\)](#)」>「[Utilities\(ユーティリティ\)](#)」へと進みます。





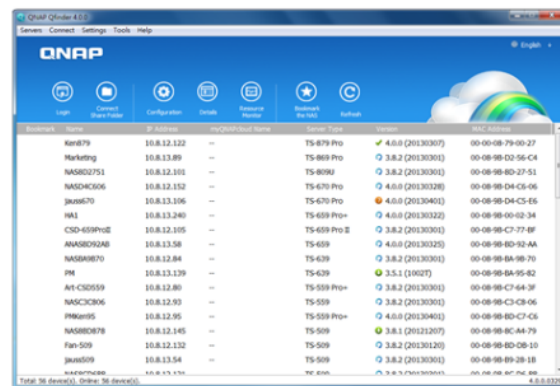
2.お使いのオペレーティングシステムに従って Qfinder をダウンロードしてください。

Qfinder

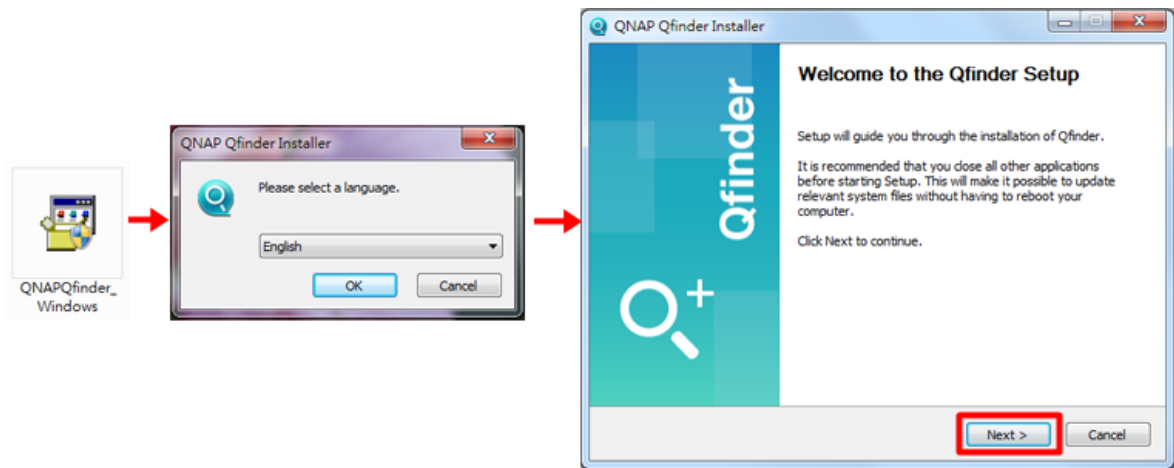


### Connect and set up NAS easily

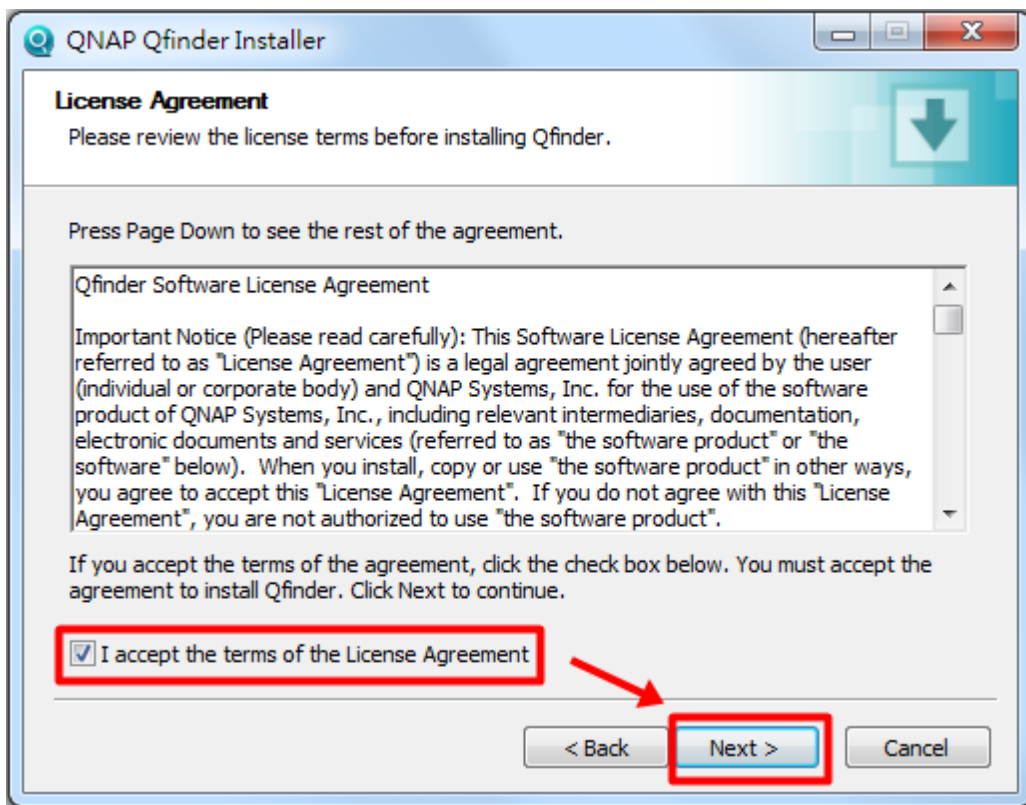
Qfinder is a utility, available for Windows, Mac, and Linux, to quickly find and access the Turbo NAS over the LAN. Install the Finder on your computer, open it, and double click your Turbo NAS name, and the login page is ready for you.



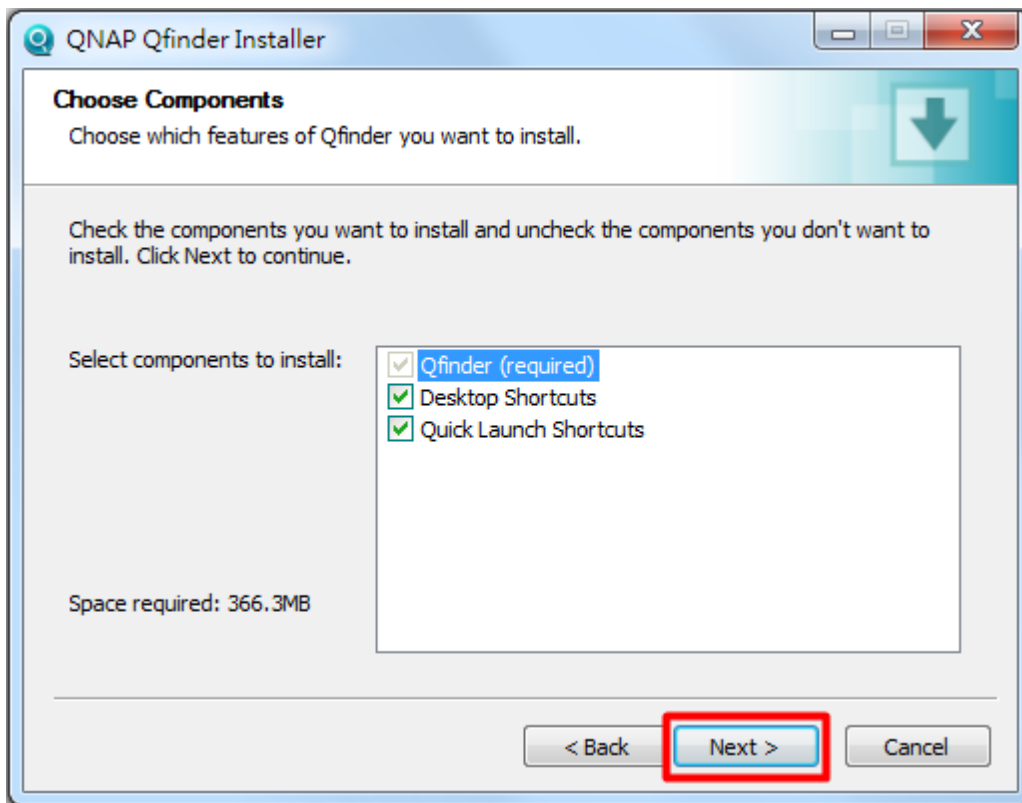
3. Qfinderのインストールプログラムを実行します。



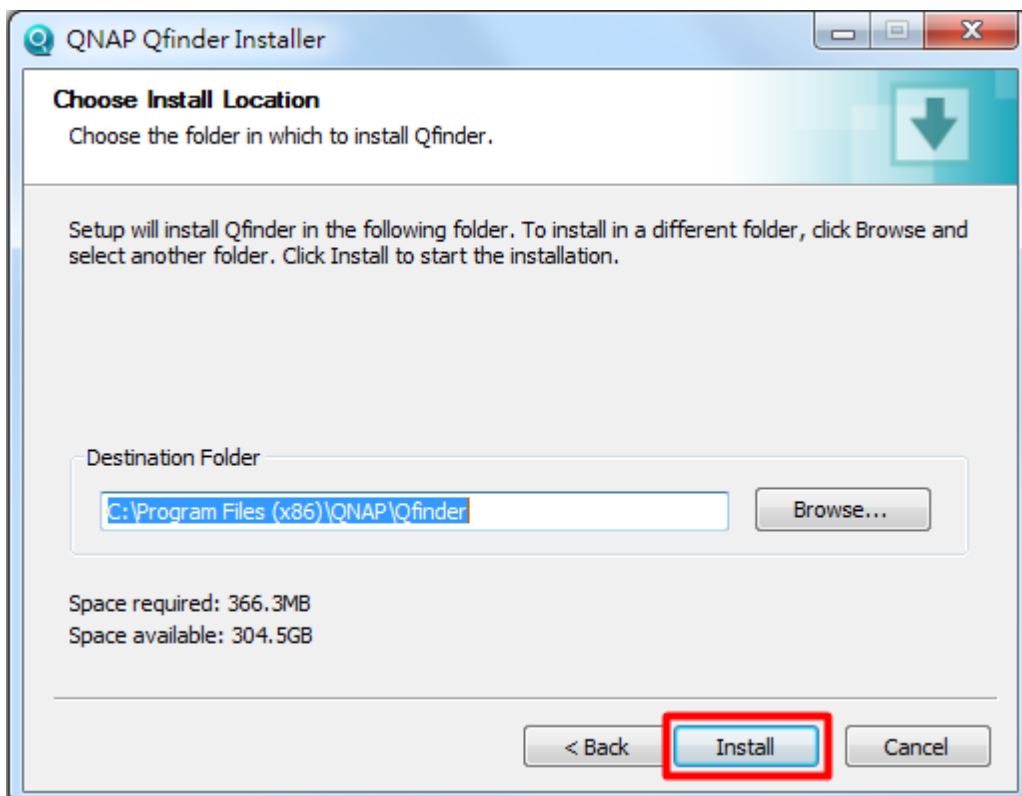
4. ライセンス契約を読んだ後に [I accept the terms of the License Agreement(ライセンス契約の条件を承諾します)] にチェックをいれて [Next(次へ)] をクリックします。



5. インストールしたいコンポーネントを選択して [Next(次へ)] をクリックします。



6. Qfinder をインストールする場所を選択して [Install(インストール)] をクリックします。



## 1.4.2 PC を QGenie に接続する

### Windows で QGenie に接続する

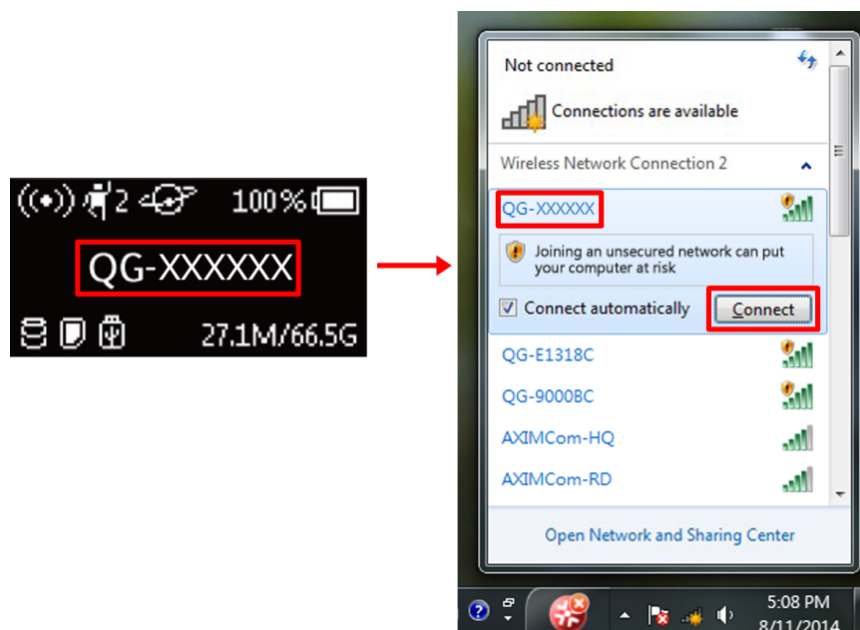
1. 電源スイッチをトップにスライドして QGenie をオンにして進捗バーが消えるまで待ちます。



2. 利用できるネットワーク接続の一覧に進みます (Windows 7 の場合、タスクバーのアイコンをクリックします)。



3. QGenie の無線名 (SSID) は QGenie の OLED 画面での名前と同じです。探して接続します。





QGenie への接続後、インターネット接続が一時的に中断されます。送信ネットワークの構成方法については、下のセクションをご覧ください。

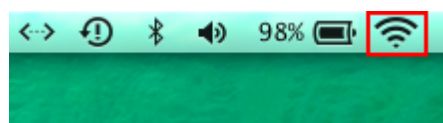
- [QGenie のインターネット接続を設定する](#)

### Mac で QGenie に接続する

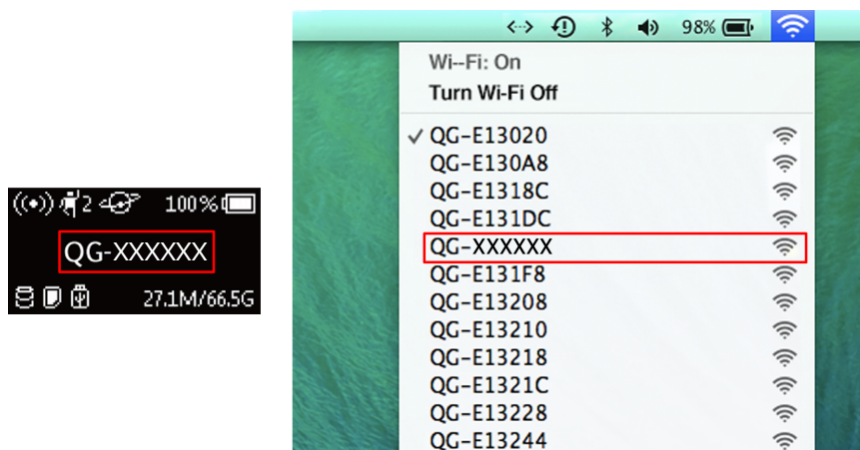
1. 電源スイッチをトップにスライドして QGenie をオンにして進捗バーが消えるまで待ちます。



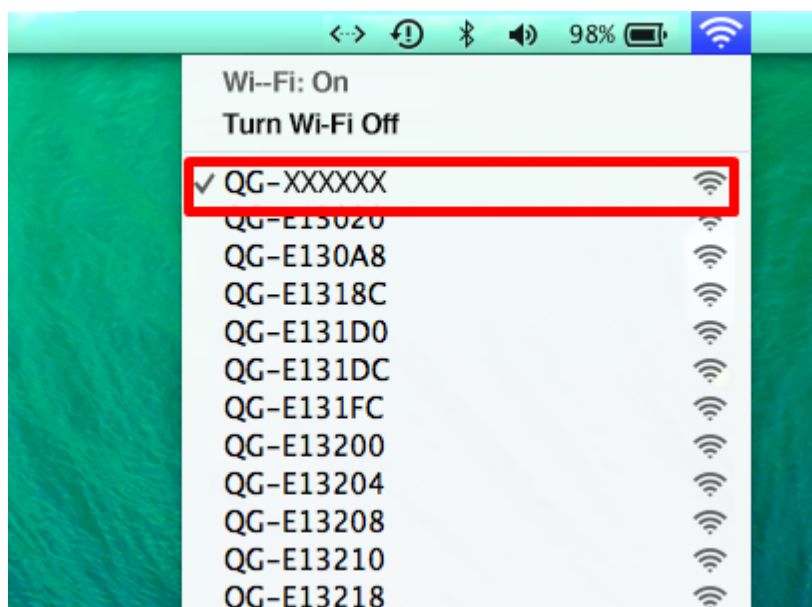
2. メニューバーのアイコンをクリックし、利用できるネットワーク接続の一覧に進みます。



3. QGenieの無線名 (SSID) は QGenie の OLED 画面での名前と同じです。探して接続します。



4. Wi-Fi アイコンをクリックし、Mac が QGenie に接続されていることを確認します。



## 1.5 Qfile を利用した QGenie のセットアップ / 使用

### [Qfile からログインする](#)

モバイル機器で Qfile を使用して QGenie にアクセスします。

### [ホーム画面](#)

QGenie に接続した後の Qfile の使い方。

### [QGenie のセットアップ](#)

QGenie 設定の確認および設定：デバイス名、無線セキュリティ、管理パスワード、QGenie のインターネットへの接続方法、および QGenie ファームウェアのアップデート方法。

### [ファイルにアクセス・管理する \(基本\)](#)

Qfile を使って QGenie のファイルをコピー、移動、削除およびダウンロードします。

### ファイルのアクセスと管理 (上級)

Qfile を使って各ファイルの詳細情報を確認し、共有を行います。

### QGenie との間で電話帳をバックアップおよび復旧する

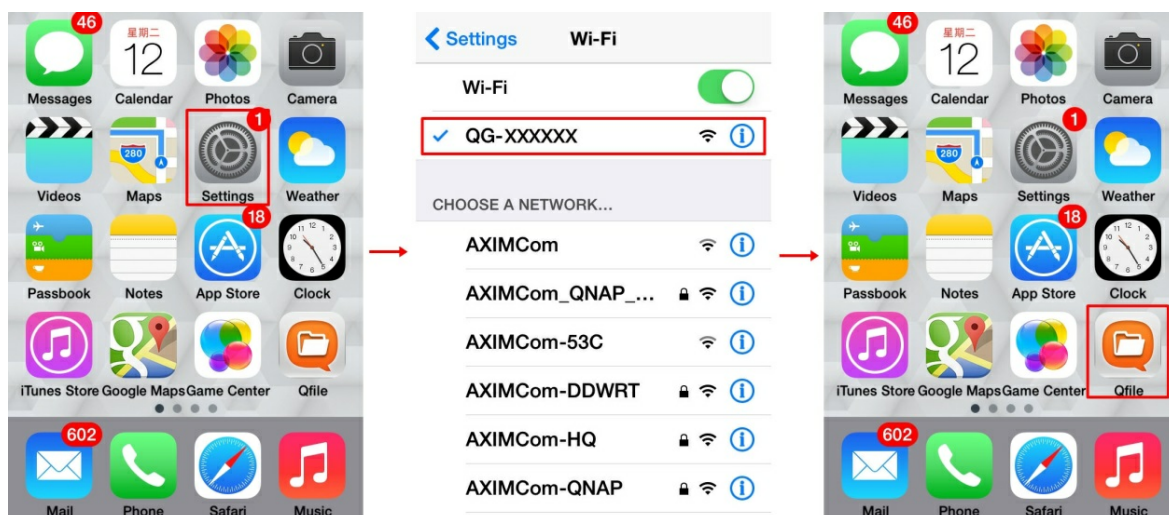
Qfile を使って連絡先をバックアップおよび復元する方法です。

### Qfile のセットアップ

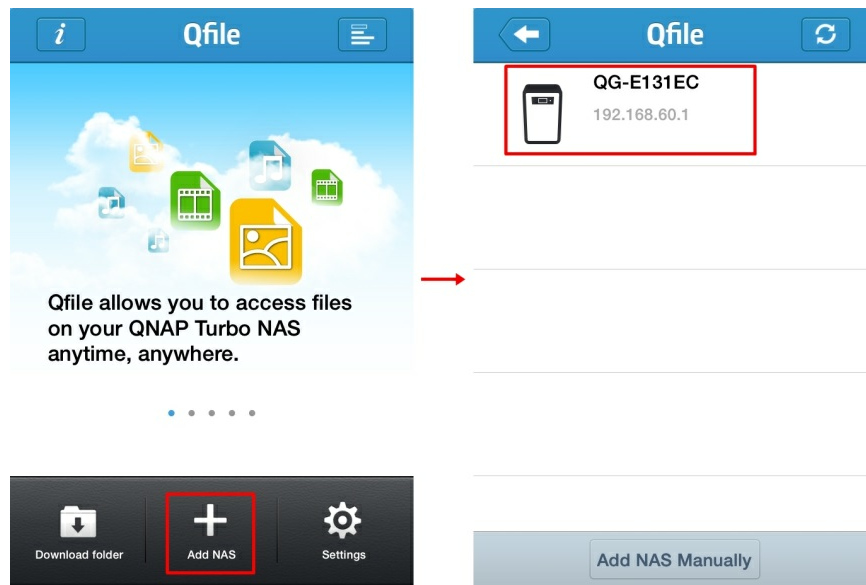
Qfile を設定するためのセットアップ：キャッシュサイズ、自動アップロード、および自動ログインポリシー。

#### 1.5.1 Qfile からログインする

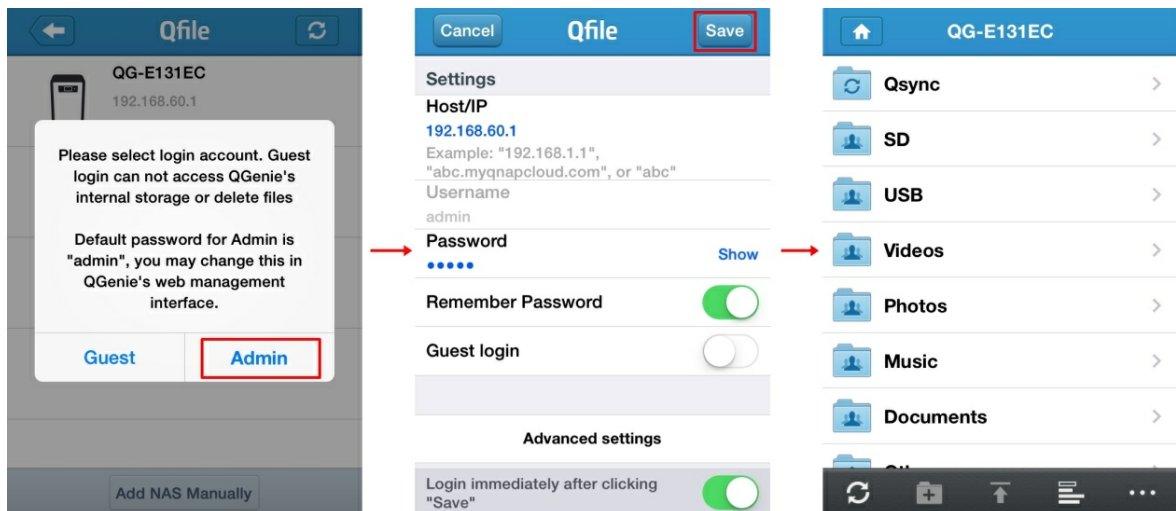
1. QGenie を Wi-Fi 共有モードでオンにして、モバイル機器を使って接続し、接続が確立したら「Qfile」を起動します。



2. 接続後、「Add NAS (NAS の追加)」をタップして QGenie を検索します。



3. QGenie を選択したら、「Admin (管理者)」を選択して QGenie にログインします。



### 1.5.2 ホーム画面




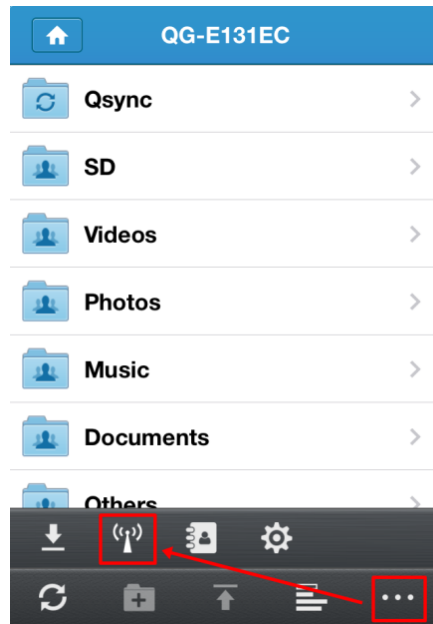
アイコン	説明
	QGenie のダウンロード済みファイルを閲覧します
	QGenie の設定
	電話帳の復元とバックアップ
	Qfile の設定
	更新
	フォルダーの追加
	モバイル機器 から QGenie にファイルをアップロードします
	現在のファイル転送状況を表示します

### 1.5.3 QGenie のセットアップ

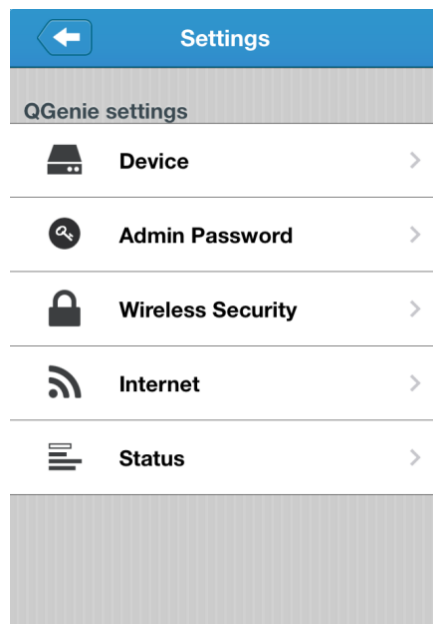
管理アカウントで QGenie にログインした後、Qfile から QGenie の設定を行うことができます。

1. Wi-Fi 共有モードで QGenie をオンにして「Qfile」を起動します。

2. モバイル機器が QGenie に接続されたら、「...」を選択した後に「」を選択します。



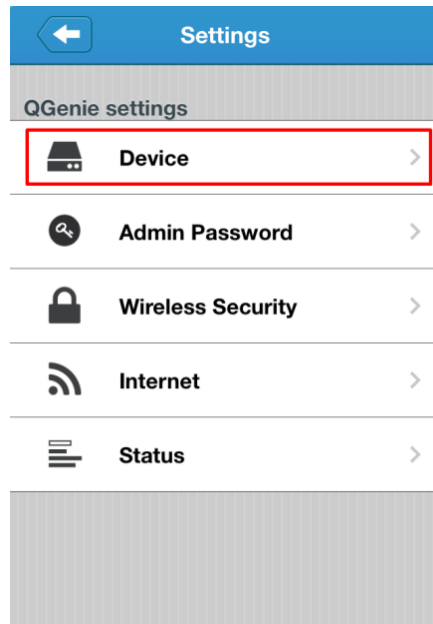
3. 以下の QGenie 設定を変更することができます。



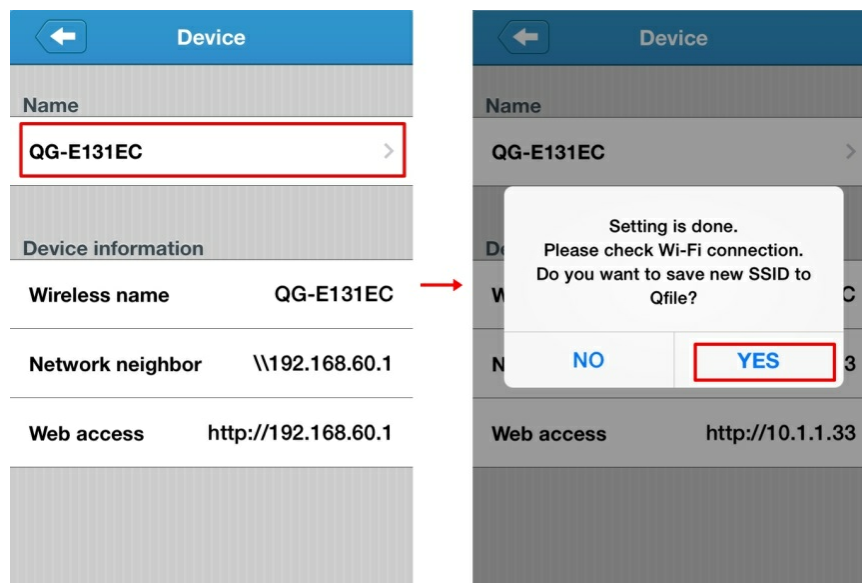
### **QGenie** の名前を設定する

QGenie の名前 (SSID としても使用されます) を Qfile から変更できます。以下の説明を参照して下さい(例では iOS を使用しています)。

1. 「Device (デバイス)」を選択します。



2. 「Name (名前)」を選択し、新しい名前を入力したら、「YES(はい)」を選択して変更を承認します。



**i** 注意

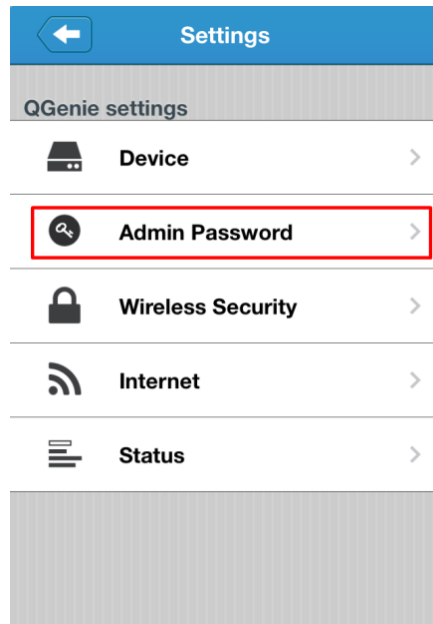
QGenie の名前を変更すると、ワイヤレス名 (SSID) も変更されます。新しいネットワーク SSID を使って再度接続し、Qfile をもう一度開く必要があります。

### QGenie の管理パスワードの設定

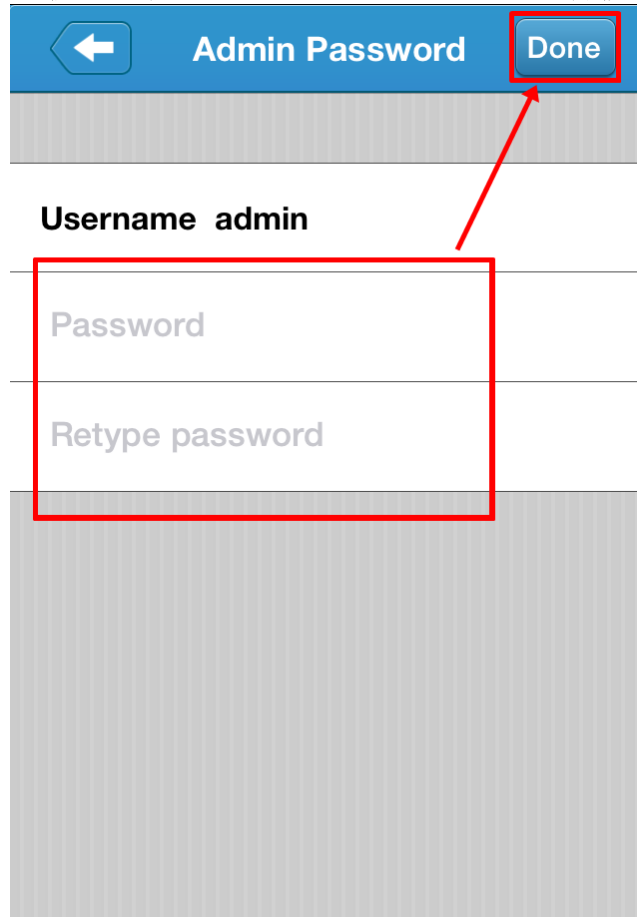
**重要**

QGenie を最初にご利用いただく際にはすぐにパスワードを変更して、その後も定期的に変更するようにしてください。

1. 「Admin Password (管理パスワード)」を選択します



2. 新しい管理パスワードを入力し、承認します。
3. 「Done (完了)」を選択し、新しいパスワードで QGenie に再接続します。



**i** 注意

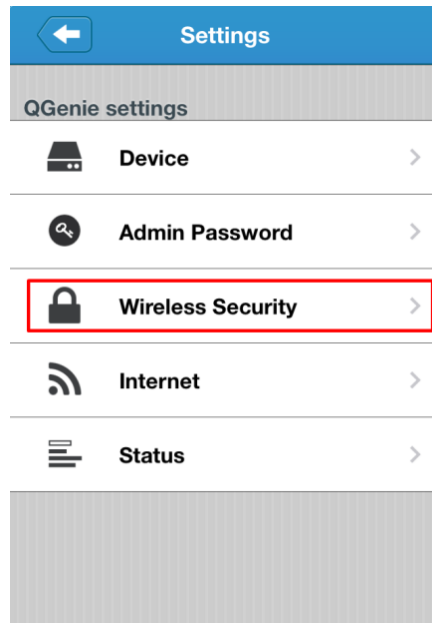
パスワードを忘れた場合は QGenie をリセットしてください。

## QGenie の無線セキュリティの設定

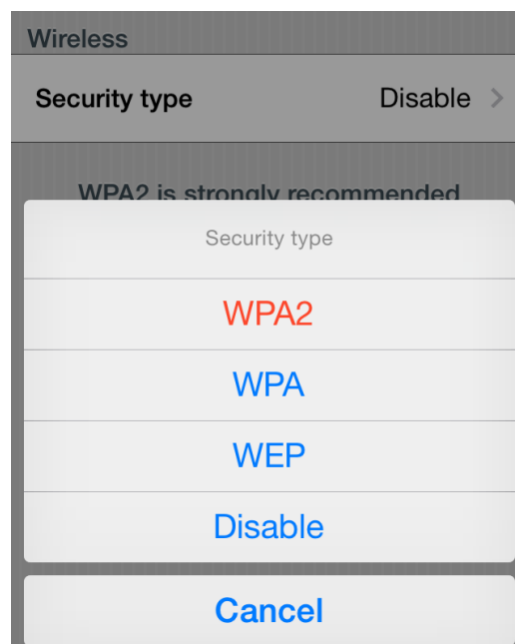
### 重要

無許可アクセスを防ぐため、適切な無線セキュリティを設定してください。

1. 「Wireless Security(無線セキュリティ)」を選択します

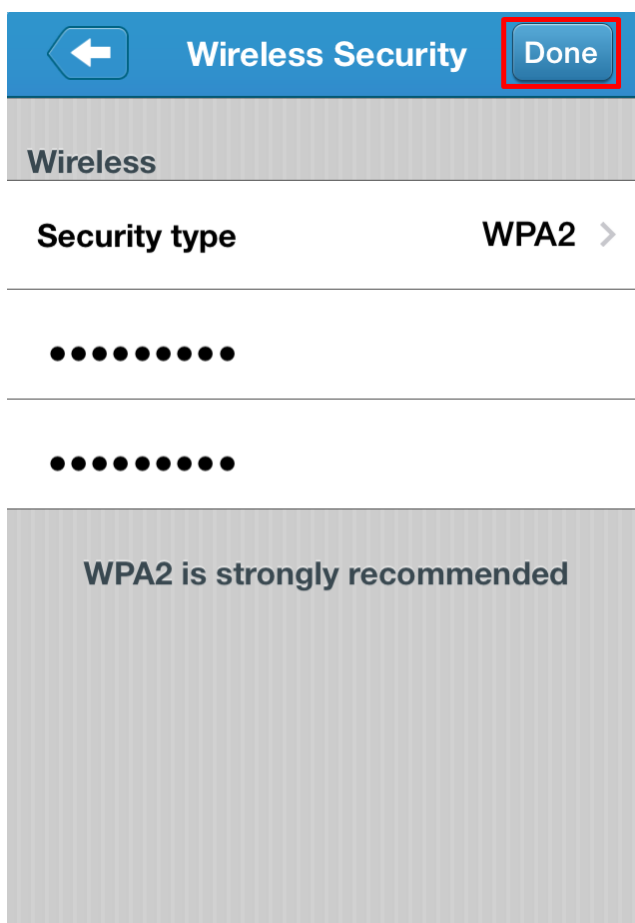


2. 使用するセキュリティの種類 (WEP/WPA/WPA2) を選択します。より安全性の高い **WPA2** を推薦しています。



3. ワイヤレスのパスワードを入力し、承認します。
4. 新しいパスワードを設定した後は、新しいパスワードで QGenie の無線 LAN に

再接続する必要があります。



**i** 注意

- 「Disable(無効)」を選択した場合、無線 LAN はパスワード保護されなくなります。
- QGenie の無線セキュリティ設定が変更された場合には、ユーザーは新しいワイヤレスのパスワードを使って QGenie に再接続する必要があります。
- パスワードを忘れた場合は QGenie をリセットしてください。
- WPA/WPA2 で有効なパスワードの長さは8~63文字になります。
- WEP で有効なパスワードの長さは5文字または13文字になります。

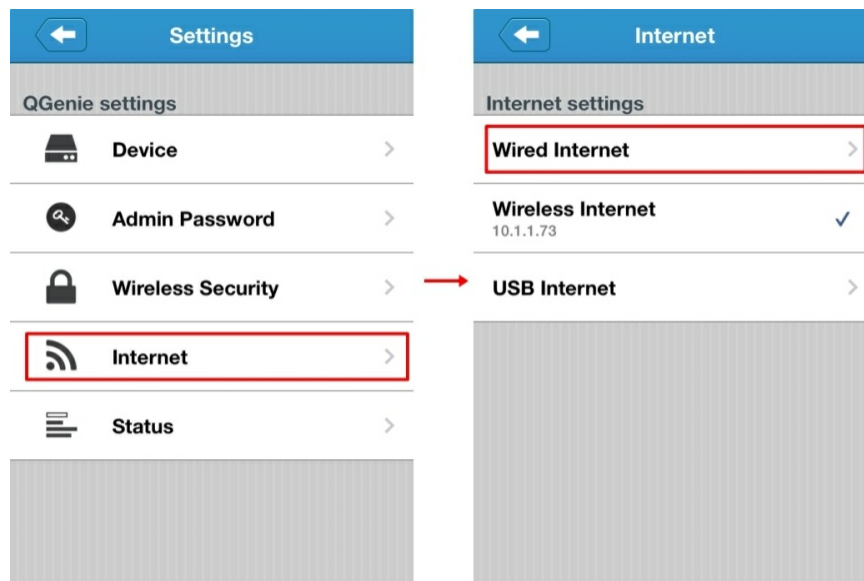
## QGenie のインターネット接続を設定する

QGenie ではインターネットに接続するにあたり、3つの方法をサポートしています。

1. 有線インターネット  
イーサネットケーブルを QGenie に接続します。
2. 無線インターネット  
QGenie を既存の Wi-Fi 接続に接続します。
3. USB インターネット  
QGenie を (1)インターネットテザリング (iPhone/Android) または (2)3G/4G USB ドングルを使用して接続します。

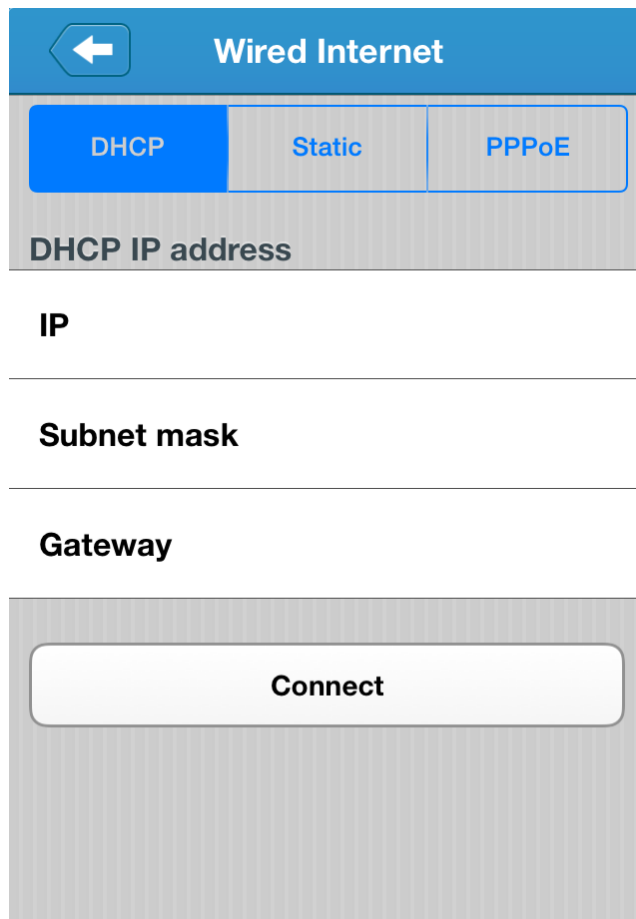
## 有線インターネットの設定

1. 「Internet(インターネット)」、「Wired Internet(有線インターネット)」を選択します。



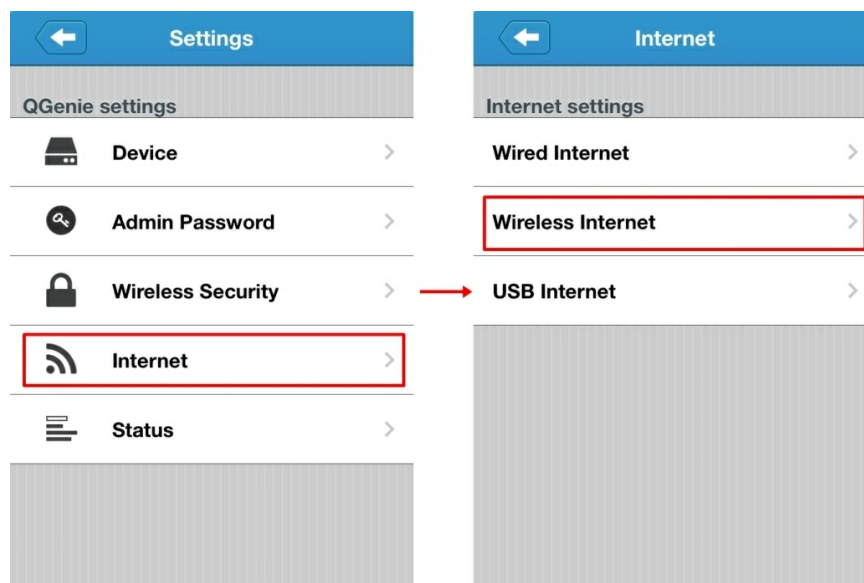
2. 適切な有線接続の種類を選択します。
  - DHCP: 最も一般的な方法です。QGenie をルーターに接続する場合にはこれを選択します。
  - 静的 IP: DHCP に似ていますが、適切な IP 設定を手動で入力する必要があります。
  - PPPoE: QGenie を ADSL/VDSL モデムに接続する場合に必要で、ユーザー名とパスワードが必要です。

\*どの接続タイプを選択すればよいかわからない場合には、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
3. 「Connect(接続)」をクリックして設定を適用します。



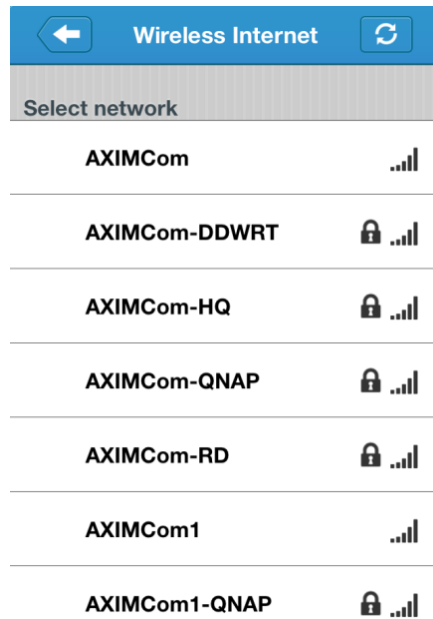
### 無線インターネットの設定

1. 「Internet (インターネット)」, 「Wireless Internet (無線インターネット)」を選択します。



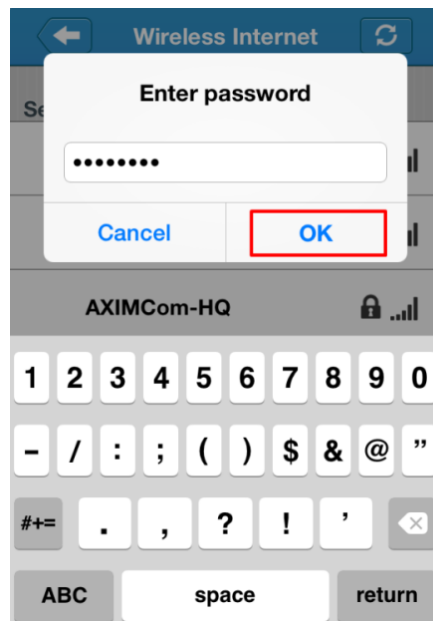
2. QGenie が近辺にあるワイヤレスネットワークをスキャンしてリストに表示します。





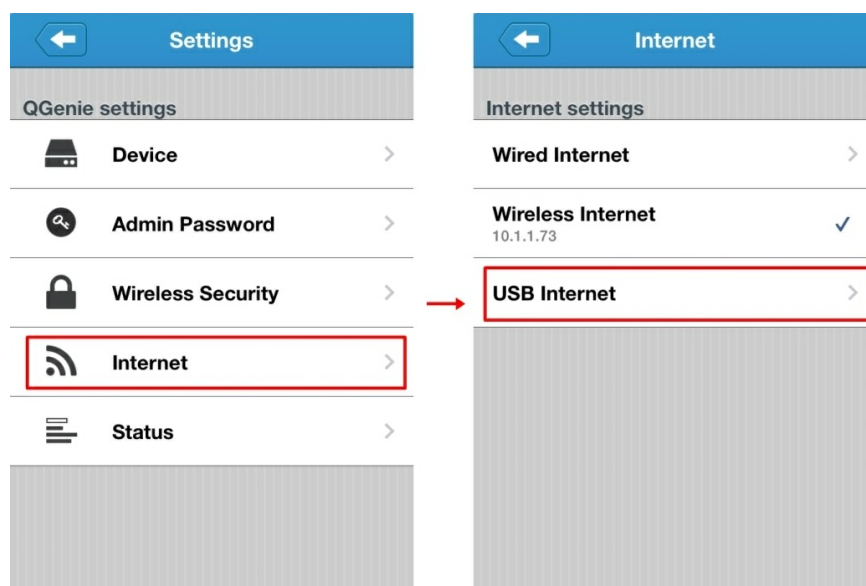
3. 使用したいワイヤレスネットワークを選択し、必要に応じてパスワードを入力します。「OK」を選択すると設定が QGenie に適用されます。

注記: QGenie は「WPA-Enterprise」または「WPA2-Enterprise」式のパスワード保護のかかったワイヤレスネットワークに接続することはできません。

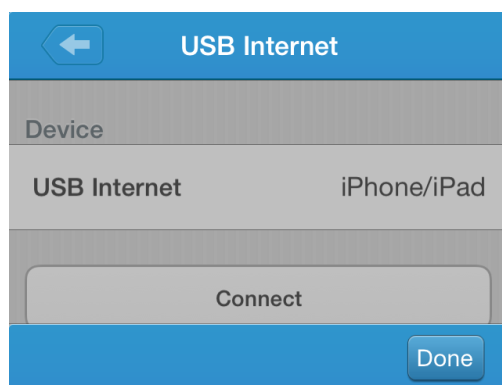


### USB インターネットの設定

1. QGenie を起動して USB インターネットデバイス (3G/4G ドングル、スマートフォンなど) に接続します。
2. 「Internet (インターネット)」, 「USB Internet (USB インターネット)」を選択します。



3. USB デバイスの種類を選択して接続を選択します。



iPhone/iPad


Android

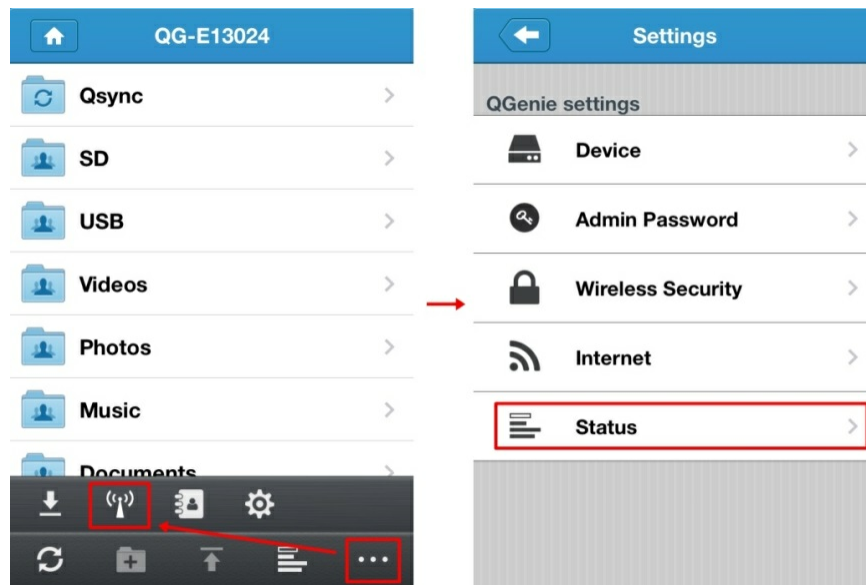
3G/4G USB

設定が変更された後には、お使いのデバイスを **QGenie** に再接続する必要があります。

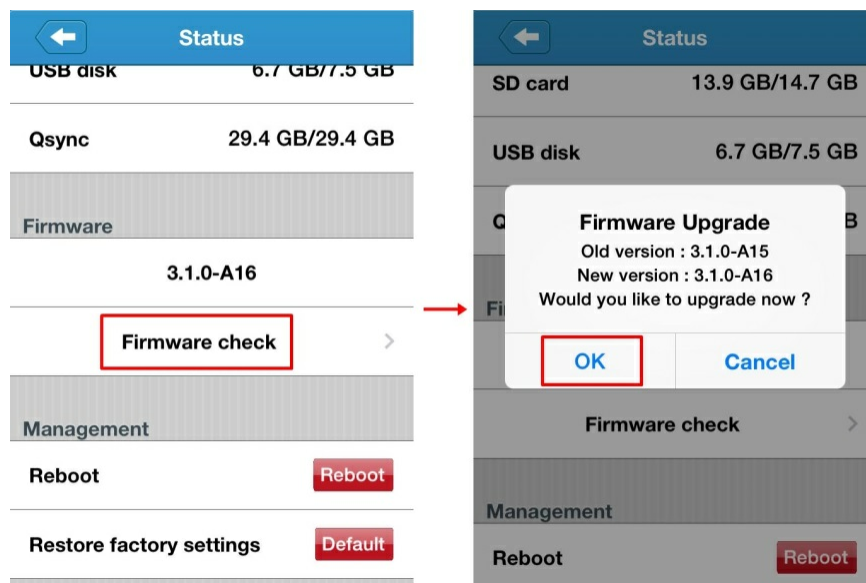
### ファームウェアのアップグレード

新しいアップデートにはセキュリティ修正が含まれる場合があるため、**QGenie** のファームウェアを常に最新の状態にすることを推奨します。

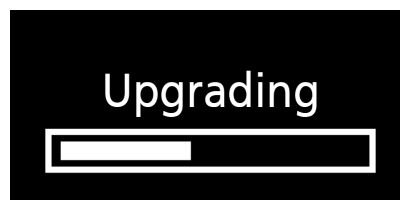
1. **QGenie** をオンにします。モバイル機器を **QGenie** の無線 LAN に接続します。
2. **Qfile** を開き、**QGenie** に接続します。
3. 「**...**」, 「」, 「**Status(ステータス)**」を選択します。



4. 「Firmware check (ファームウェアの確認)」を選択して [OK] を押します。QGenie がファームウェアのアップデートを開始します。QGenie のファームウェアが最新のものである場合、Qfile には「The current firmware is latest (現在のファームウェアは最新のもので)」が表示されます。




5. QGenie の OLED 画面に「Upgrading(アップグレード中)」が表示され、進行状況が表示されます。

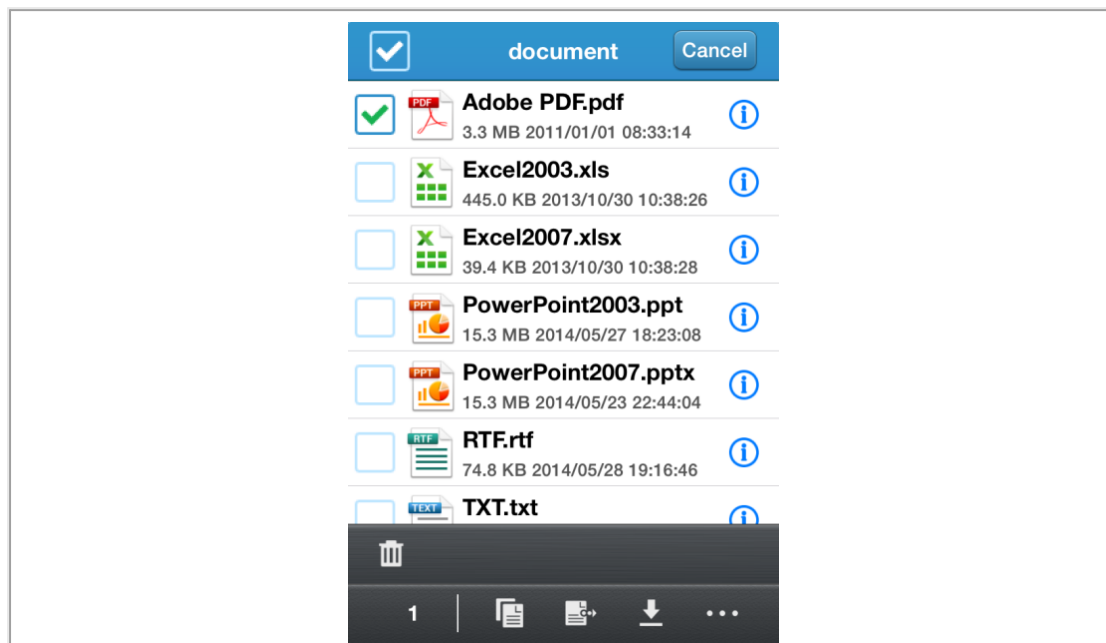






6. 処理が終了すると、QGenie が再起動されます。

## 1.5.4 ファイルにアクセス・管理する (基本)



### ホームページ

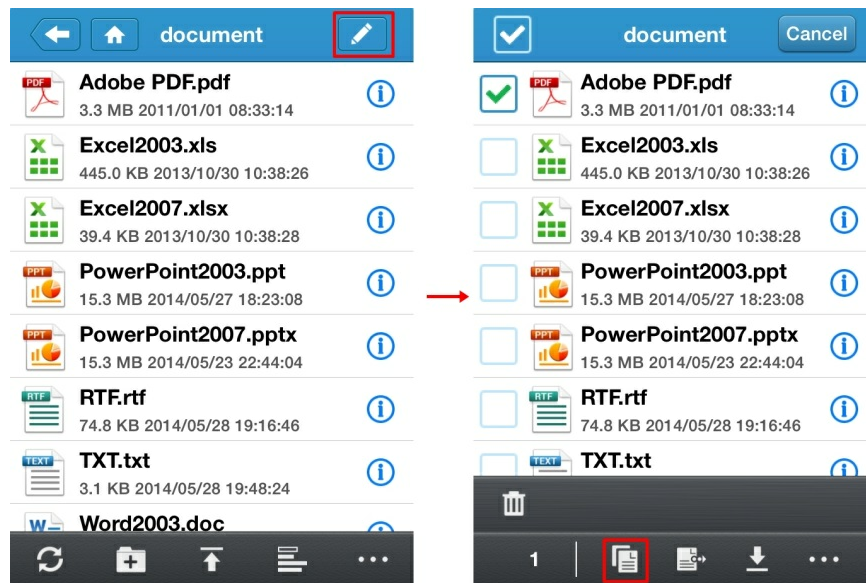
編集メニューが「」アイコンをタップすると表示されます。



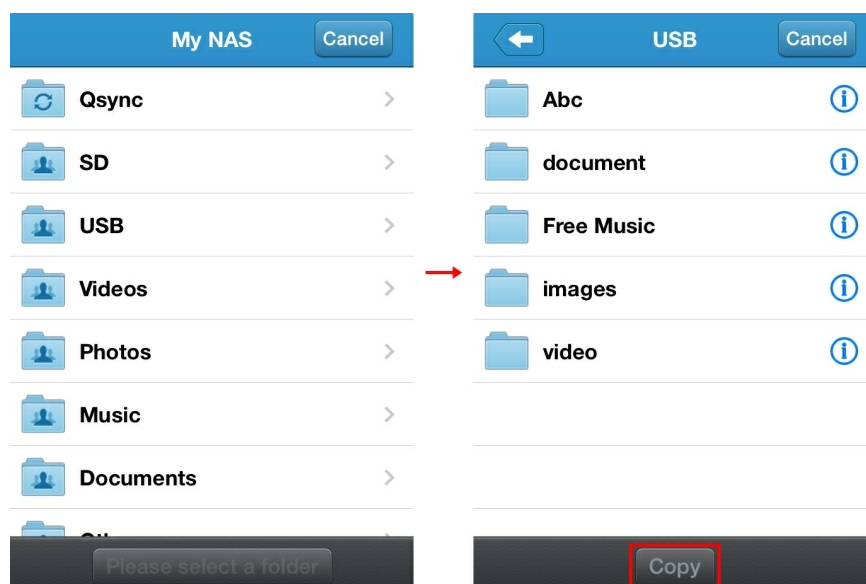
アイコン	説明
	選択したファイルまたはフォルダーをコピーします。
	選択したファイルまたはフォルダを移動します。
	選択したファイルをダウンロードします。 注記:サブフォルダはダウンロードできません。
	選択したファイルまたはフォルダーを削除するか、ファイルをスワイプして削除します。
1	現在選択されているファイルを表示します

### ファイル/フォルダのコピー



1. 「」をクリックし、コピーするアイテムを選択し、「」.

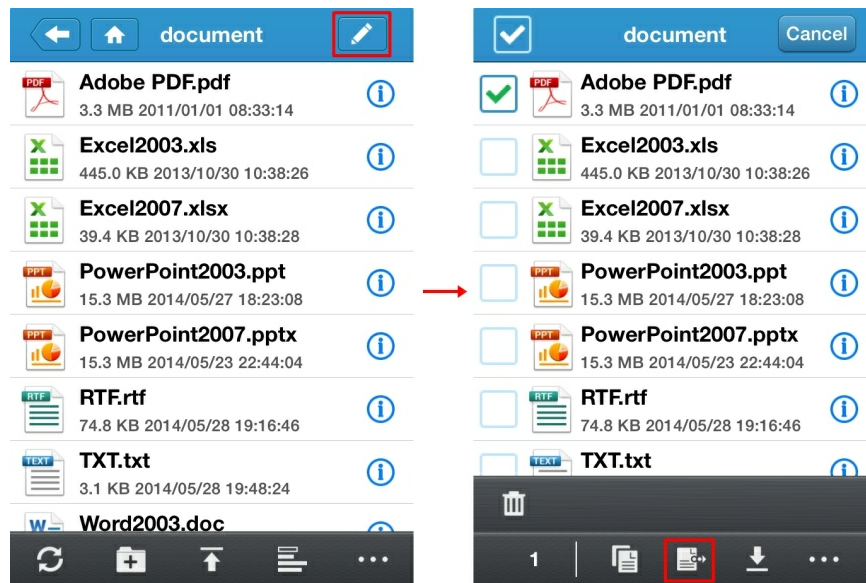


2. コピー先フォルダーを選択し、「Copy (コピー)」をタップします。

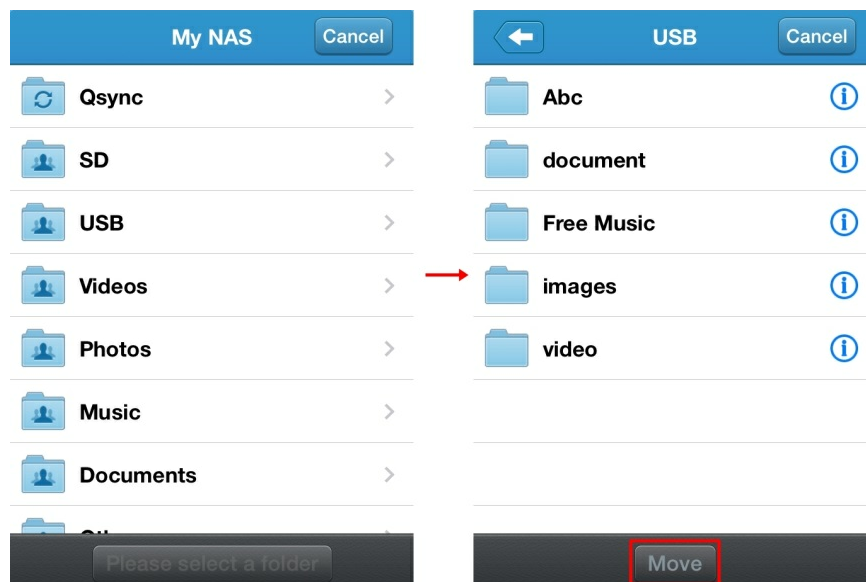


## ファイルフォルダの移動



1. 「」をクリックし、移動するアイテムを選択し、「」.

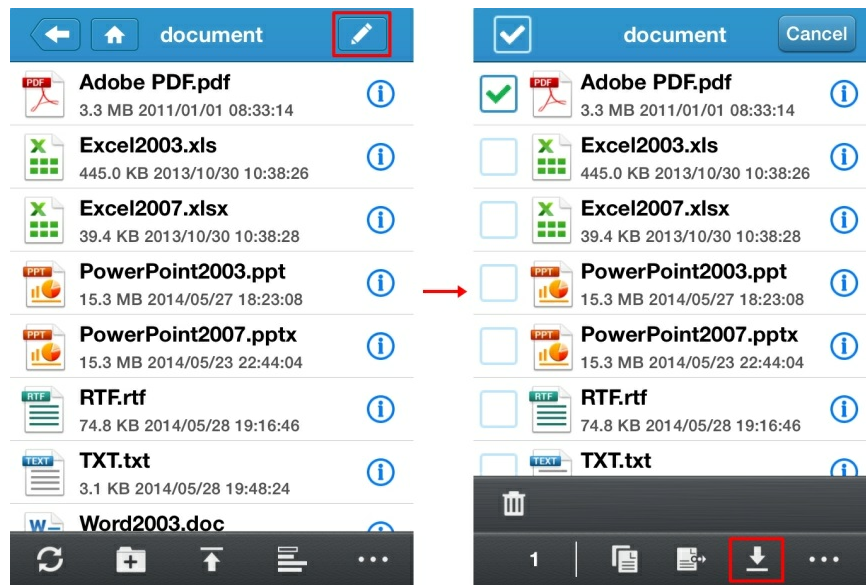


2. コピー先フォルダを選択し、「Move (移動)」をタップします。

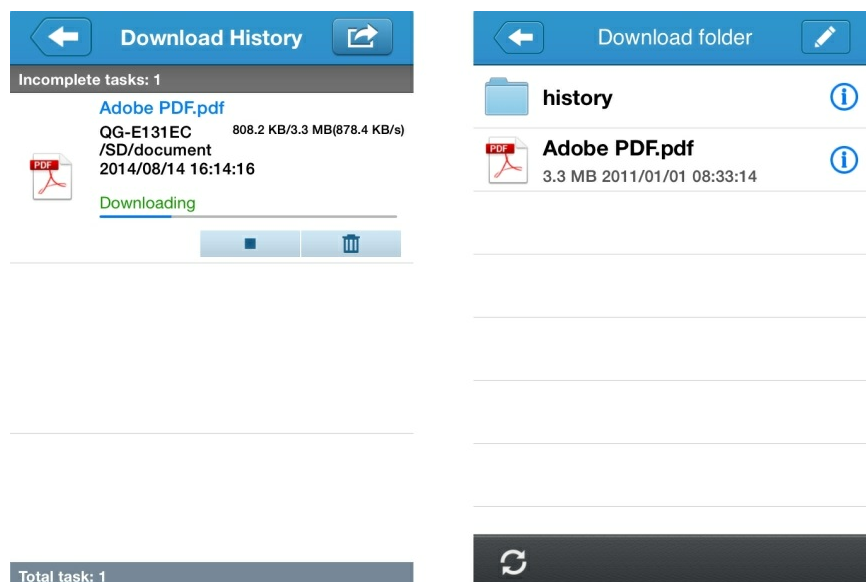


ファイル/フォルダをローカルフォルダーにダウンロードする



1. 「」をクリックし、ダウンロードするファイルを選択し、「」.

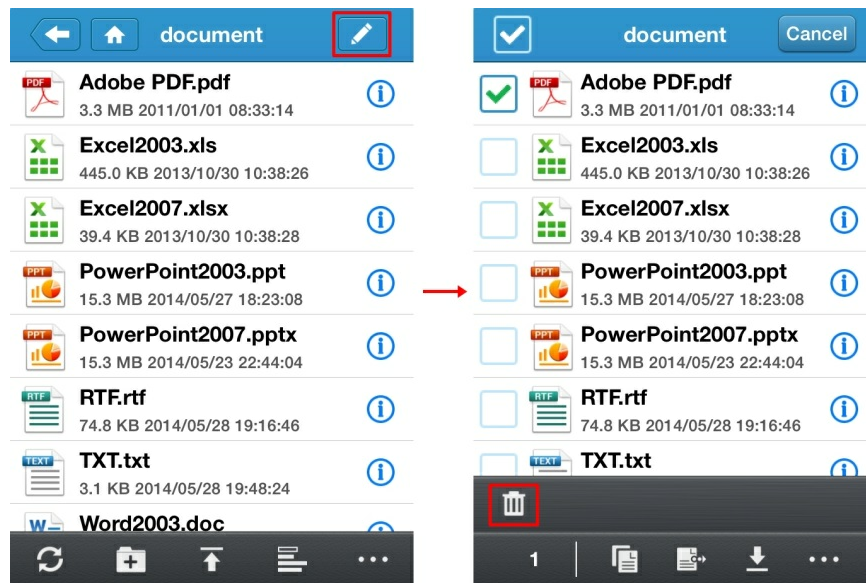


2. ダウンロードが完了すると、ファイルが「Download folder (ダウンロードフォルダ)」に表示されます。

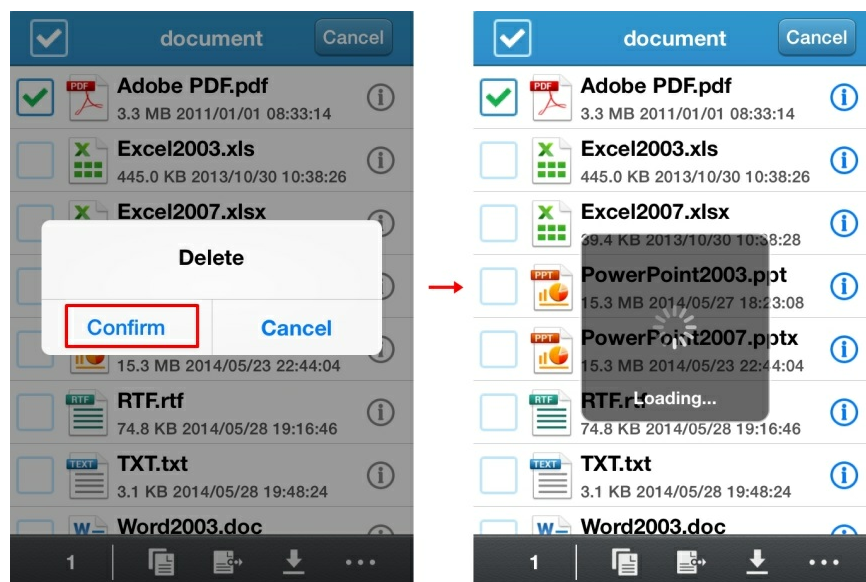


## ファイルフォルダの削除

1. 「」をクリックし、削除するアイテムを選択し、「」。




2.削除したファイル/フォルダは復旧できません。間違つて削除しないよう、この操作はしっかり確認する必要があります。

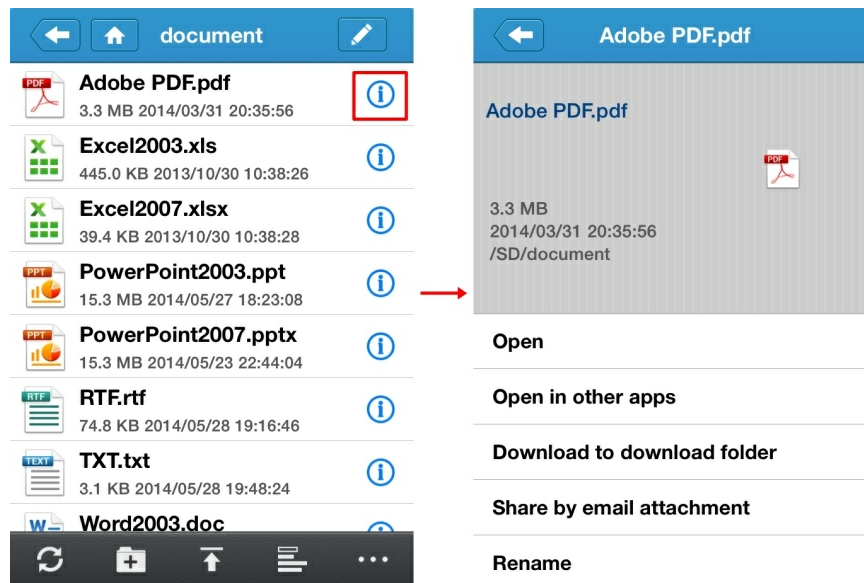


### 1.5.5 ファイルにアクセス・管理する (上級)

#### ファイル情報をチェックする

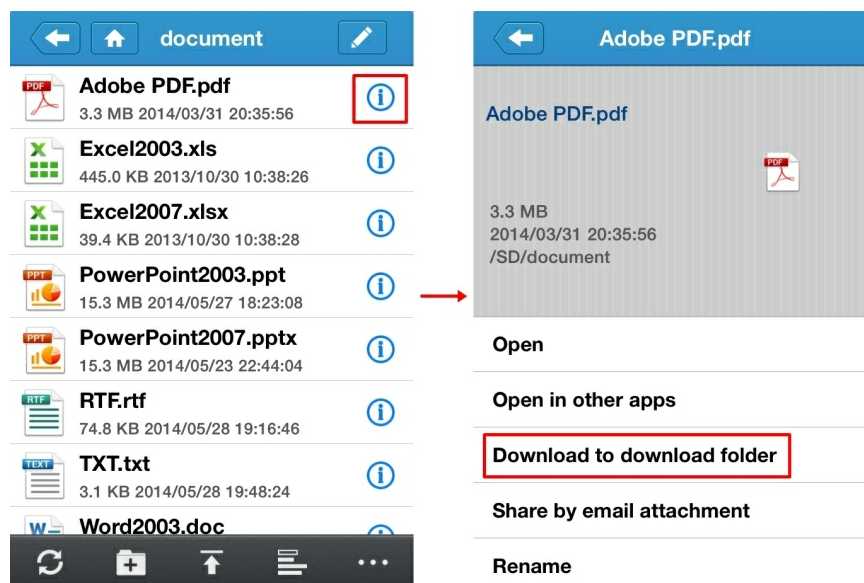
ファイル/フォルダの横にある「」をタップすると、その情報が表示されます。



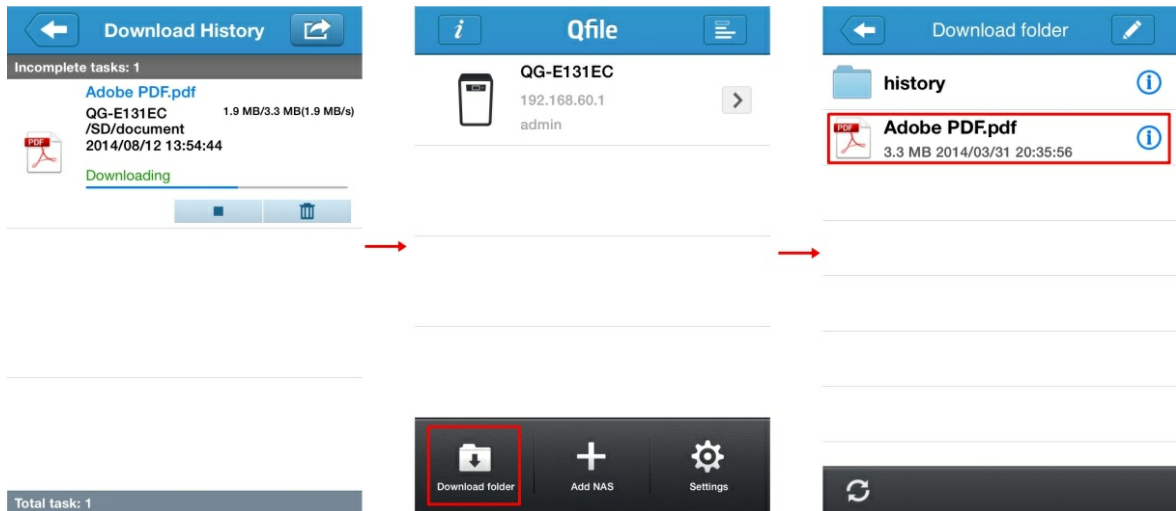


## ファイルフォルダをローカルフォルダーにダウンロードする


1. ダウンロードするファイルの横にある「**i**」をタップし、それから、「Download to download folder (ダウンロードフォルダにダウンロードする)」を選択します。

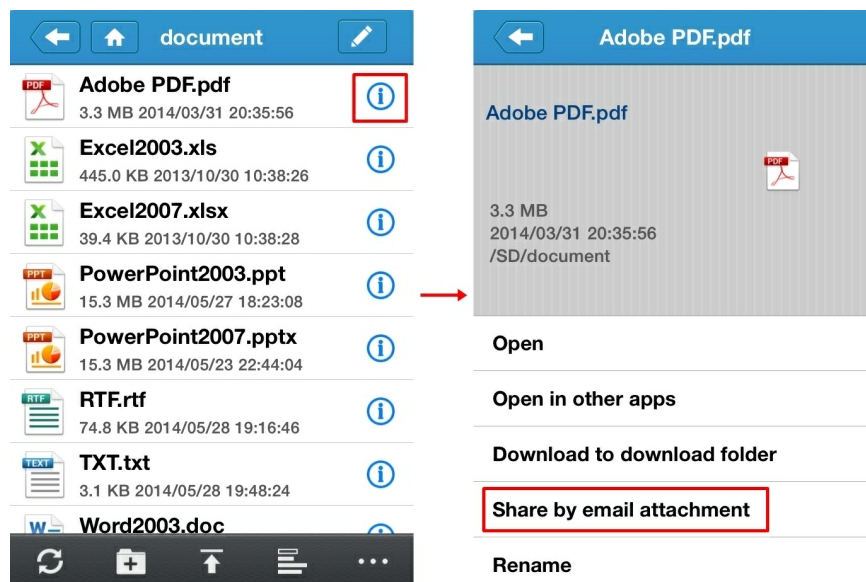


2. ダウンロードされたファイルが「Download folder (ダウンロードフォルダ)」に表示されます。

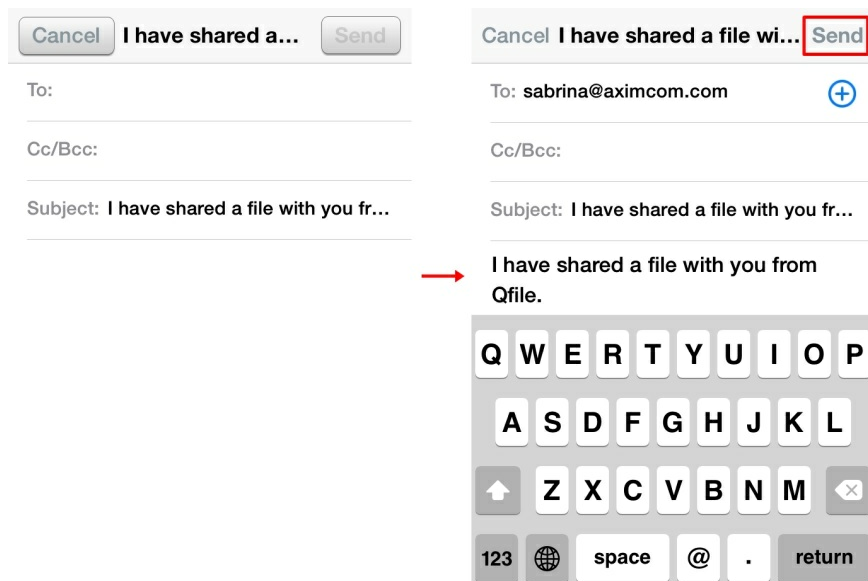


## 電子メールの添付でファイルを共有する

1. 電子メールで送信するファイルの横にある「」をタップし、それから、「Share by email attachment (電子メール添付による共有)」を選択します。



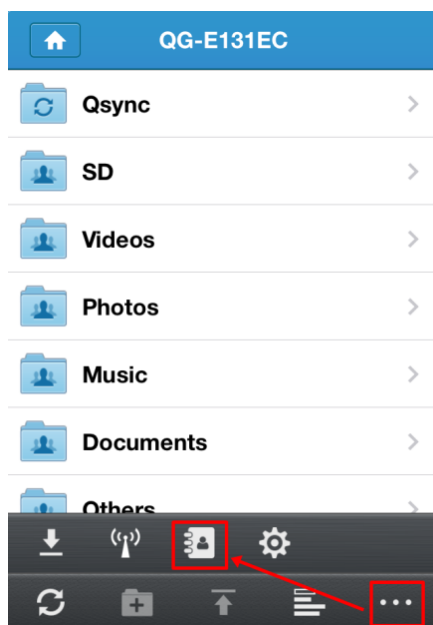
2. 受取人の連絡先詳細を入力し、必要に応じて件名と本文を変更し、「Send (送信)」を選択します。



注記: ファイルのサイズは 20MB より小さくする 必要があります。

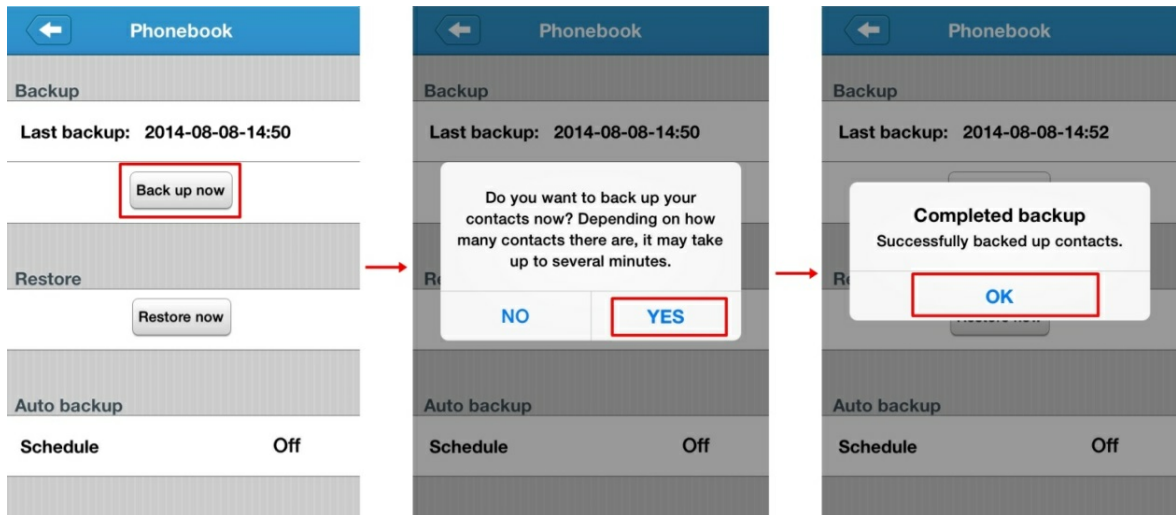
### 1.5.6 QGenie との間で電話帳をバックアップおよび復旧する

1. QGenie をオンにして、モバイルデバイスを QGenie の無線 LAN に接続します。
2. Qfile を開き、QGenie に接続します。
3. [⋮] [👤]



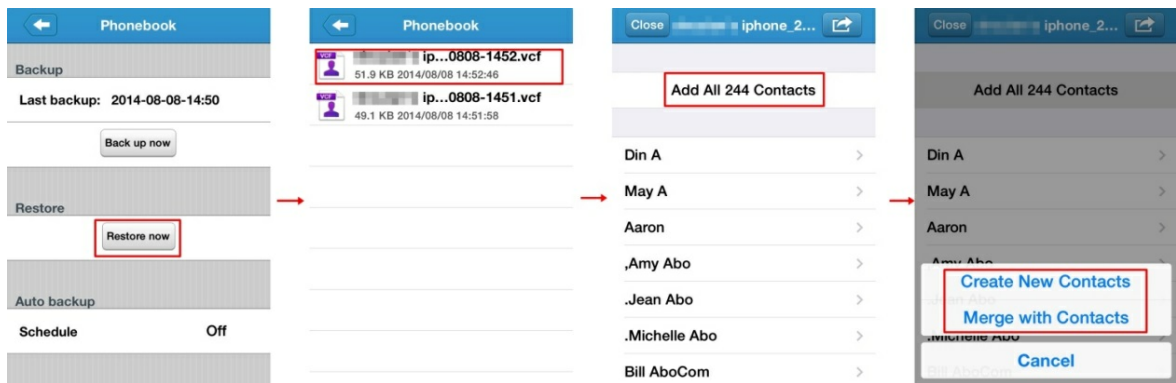
#### 電話帳のバックアップ

[Back up now (今すぐバックアップする)] を選択すると、電話/タブレットの連絡先が QGenie に保存されます。



### 電話帳の復旧

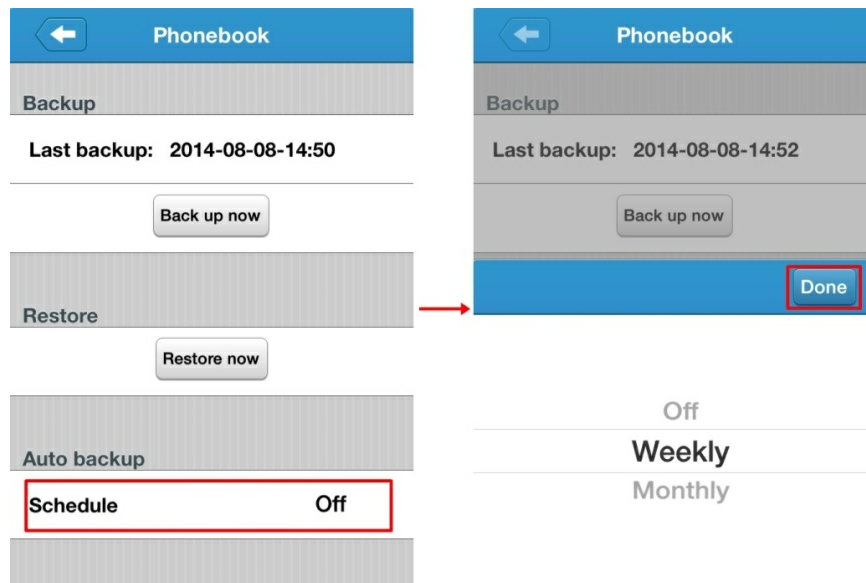
[Restore now (今すぐ復旧する)] を選択し、復旧する電話帳バックアップファイルを選択し、[Create New Contacts (新しい連絡先を作成する)] または [Merge with Contacts (連絡先を結合する)] を選択します。



**i 注意**  
Qfile は重複している連絡先をインポートしません。

### 電話帳の自動バックアップ

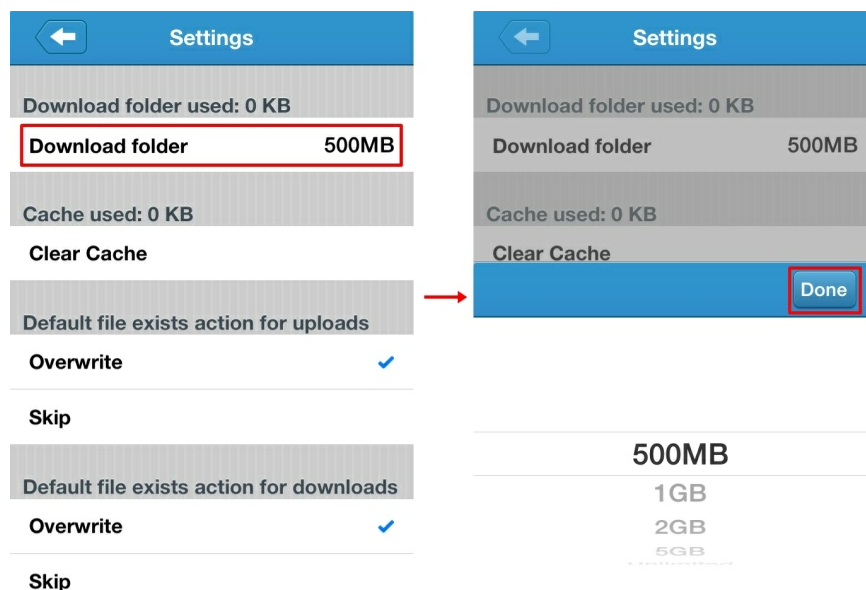
連絡先を [毎週] または [毎月]. バックアップファイルは \Qsync\Phonebook\ に保存されます。



### 1.5.7 Qfile のセットアップ

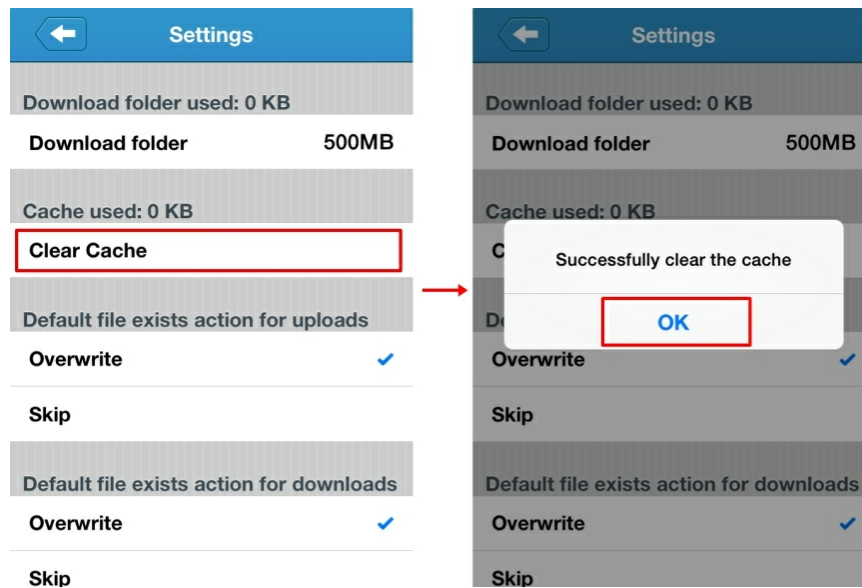
#### ローカルストレージ

お使いの電話/タブレット上の、Qfile が使用する空き容量を指定します。これには、ローカルフォルダの合計サイズとキャッシュも含まれます。



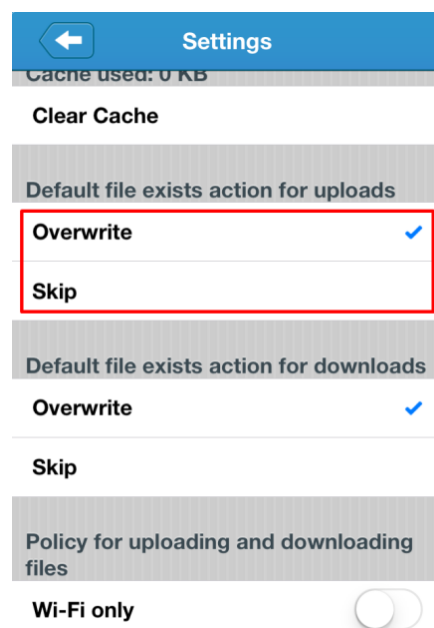
#### キャッシュの消去

プレビューしたファイルはローカルフォルダにキャッシュされています。ローカルフォルダにある一時データを消去するには、「Clear Cache (キャッシュの消去)」をタップします。

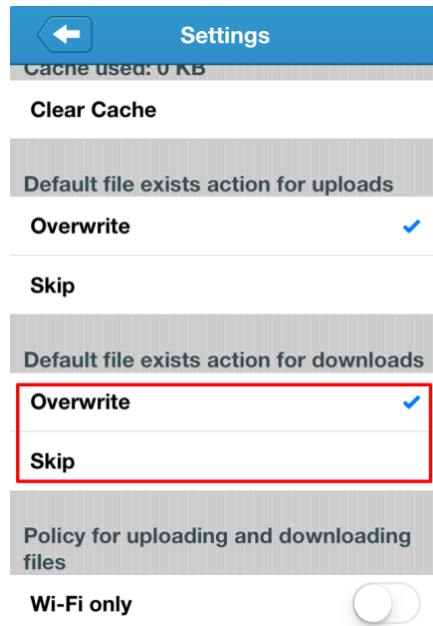


### アップロード/ダウンロードした際にファイルが競合した場合のデフォルトアクション

コピー先にファイルが既に存在する場合は、ファイルを「Overwrite (上書き)」するか、ダウンロードを「Skip (スキップ)」するかが選択できます。

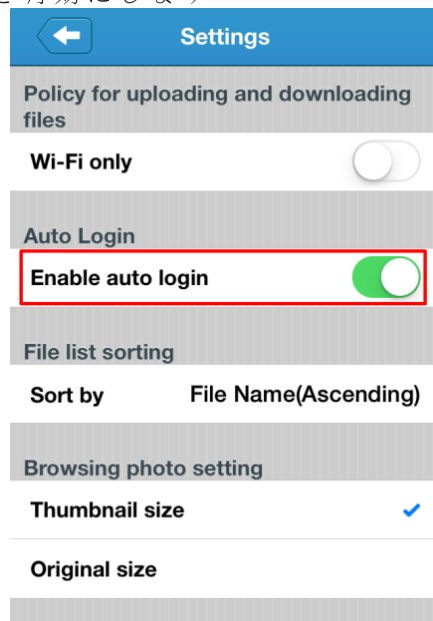


ダウンロード時にファイルが存在する場合のデフォルトアクション：  
電話/タブレットにファイルが既に存在する場合、ファイルを「Overwrite (上書き)」するか、ダウンロードを「Skip (スキップ)」するかが選択できます。



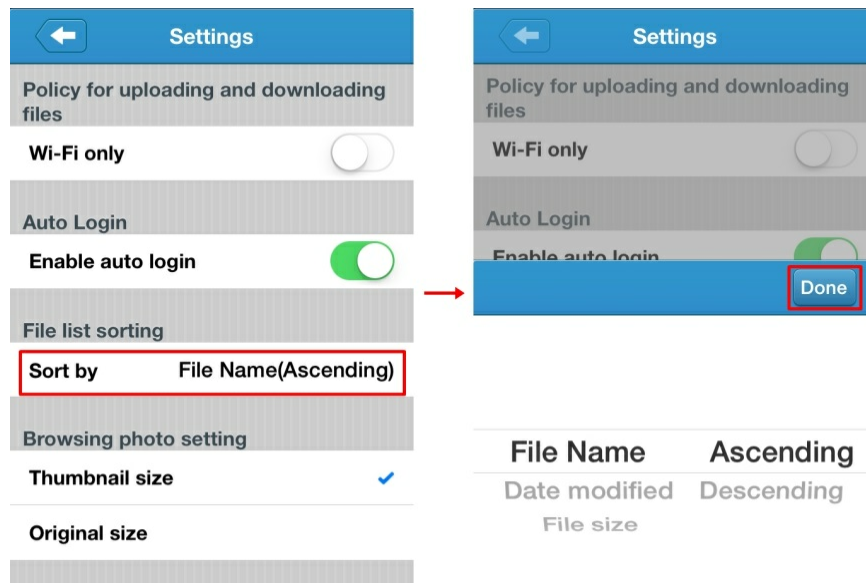
### 自動ログイン

QGenie への自動ログインを有効にします。



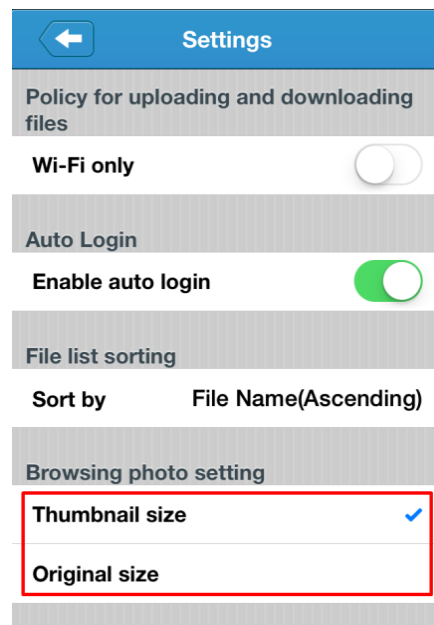
### ファイルリストの並び替え

ファイルを「File Name(ファイル名)」、「Data modified (データ変更)」、「File size (ファイルサイズ)」に従って並び替えるように選択します。



### 写真閲覧時の設定

写真の閲覧をする際に、「Thumbnail size (サムネイルサイズ)」、 「Original size (元のサイズ)」のどちらを使用するか選択します。



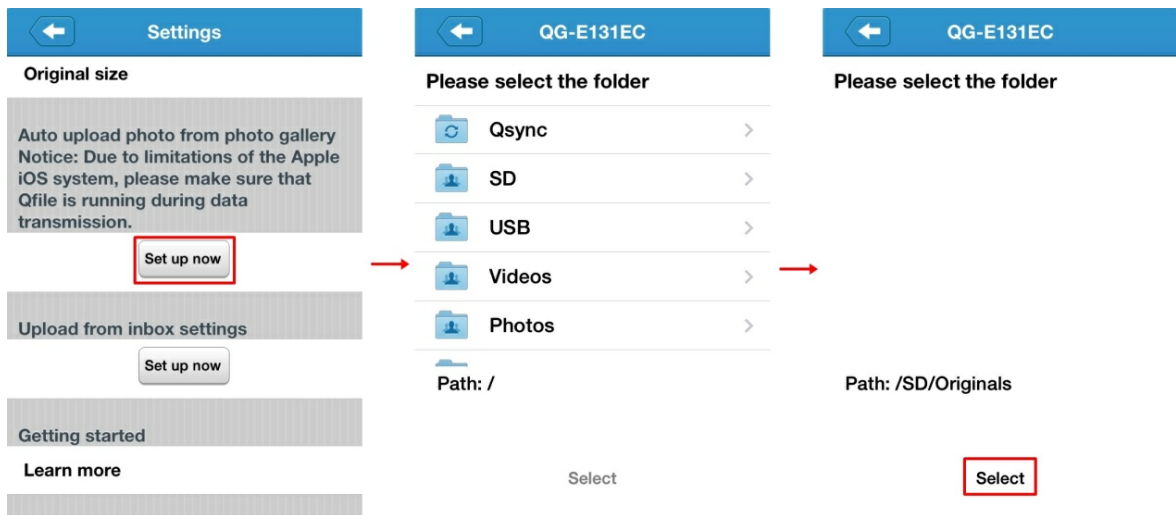
### 写真の自動アップロード

お使いのモバイル機器から写真ライブラリを QGenie にアップロードします。

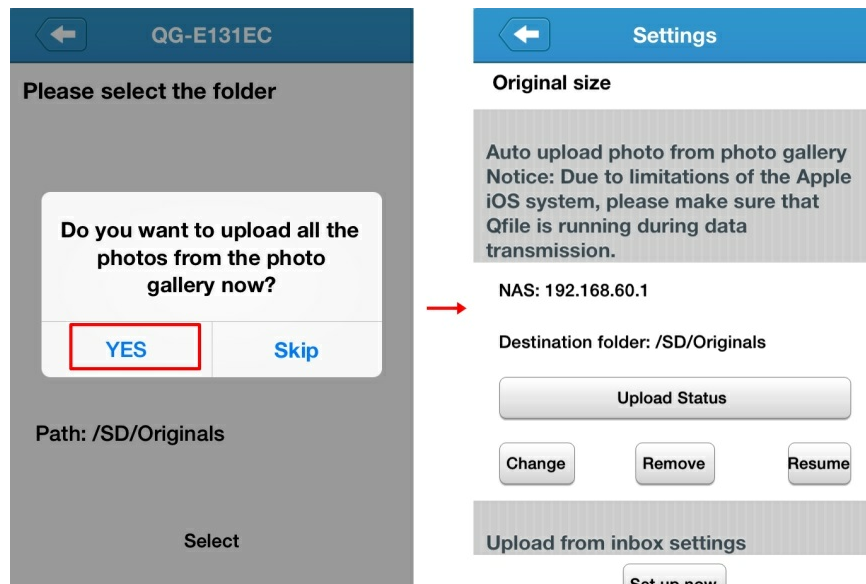
#### 自動写真アップロードの設定

1. 「Set up now (今すぐセットアップ)」を選択して、写真のアップロード先を選択した後に「Select (選択)」をタップします。



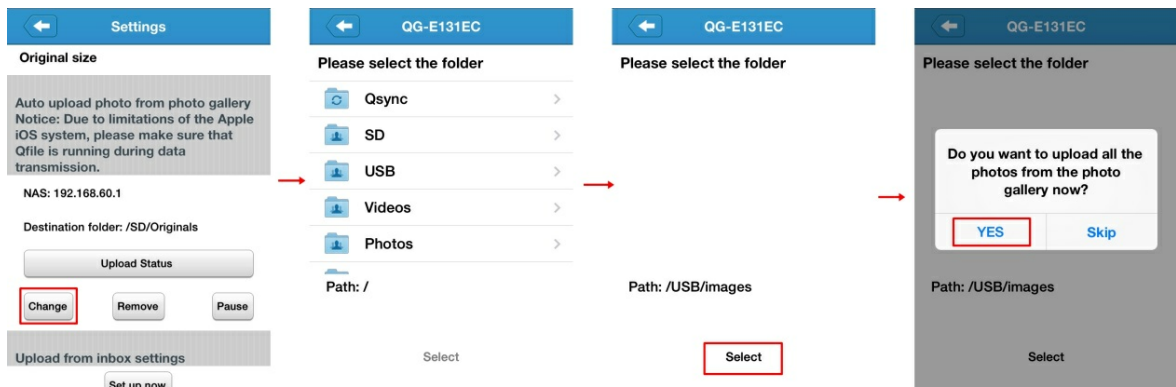


2. 「Yes (はい)」をタップして、お使いのモバイル機器にある写真をすべてアップロードします。今後のすべての写真のアップロードについては「Skip (スキップ)」を選択します。

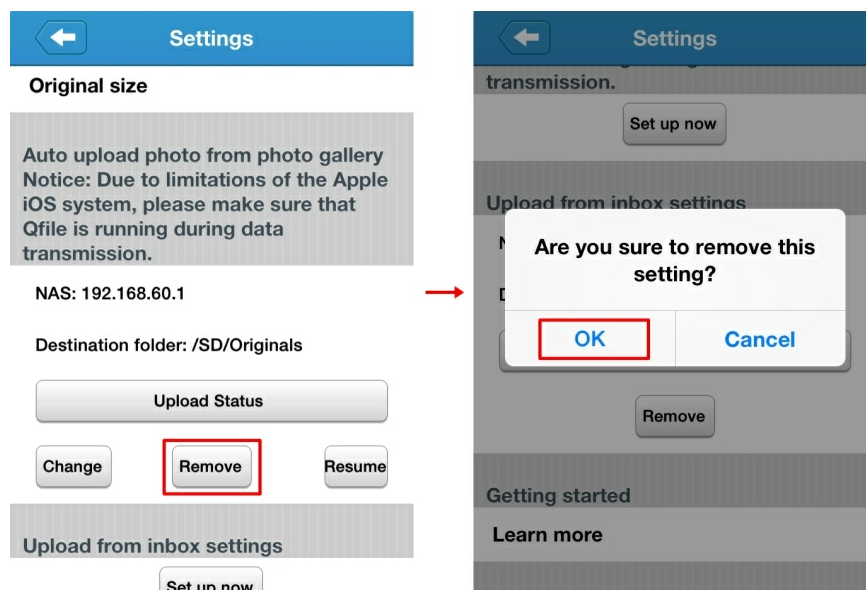


### 自動写真アップロードの変更/削除

アップロード先を変更するには、「Change (変更)」を選択して新しいアップロード先のフォルダーを選択し、「Select (選択)」をタップしてから「Yes (はい)」をタップして変更を承認します。

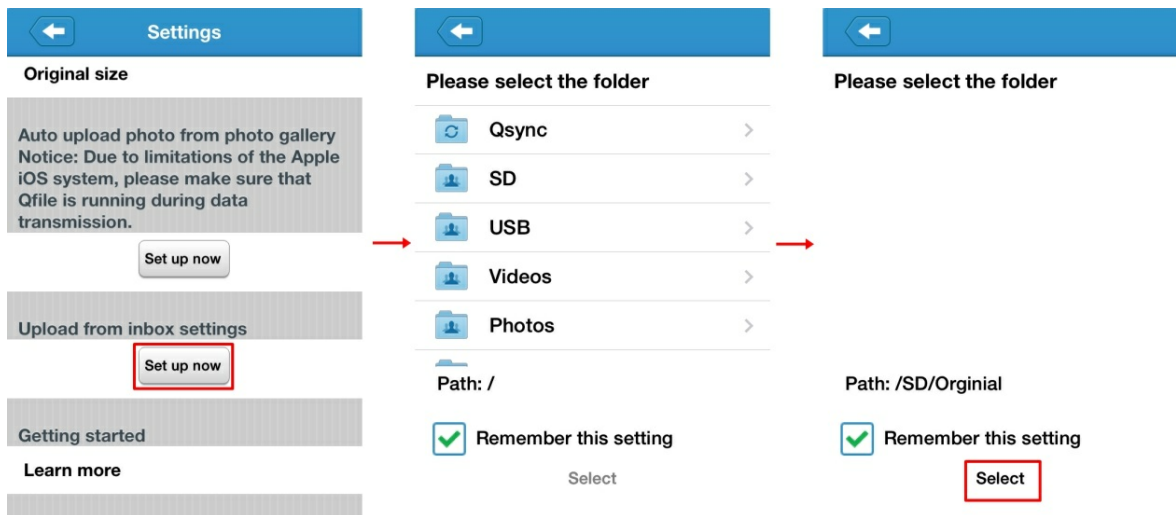


設定を削除するには、「Remove(削除)」を選択して「OK」をタップし、自動写真アップロード設定を削除します。

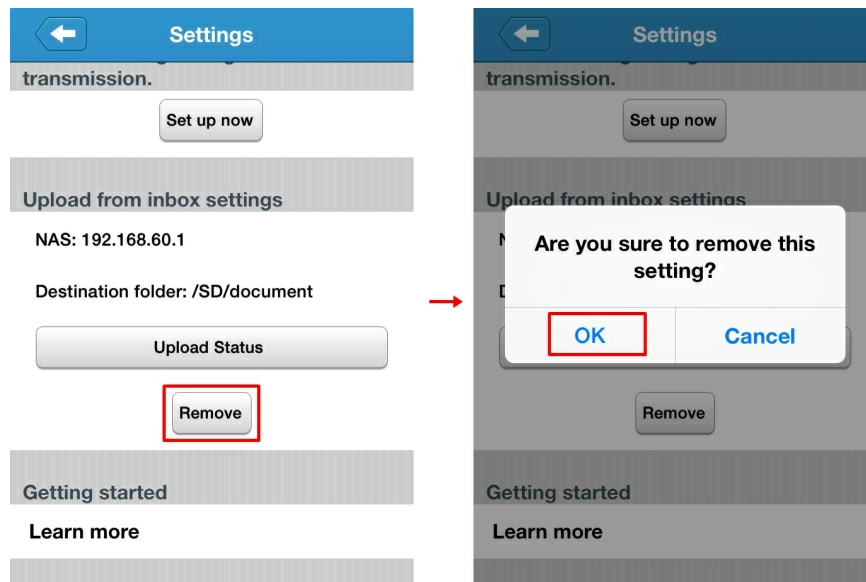


### 受信トレイアップロードの設定

お使いのモバイル機器の受信トレイを QGenie にアップロードします。アップロード先のフォルダーを設定するには、「Set up now (今すぐセットアップ)」を選択して、アップロード先を選択した後に「Select (選択)」をタップします。



アップロード先のフォルダーを削除するには、「Remove(削除)」をタップして「OK」を選択します。



## 1.6 Qfinder を利用した QGenie のセットアップ / 使用

QGenie では、Qfinder を使ったファイルへのアクセスや QGenie のステータスの確認に対応しています。

### [Web インターフェースからログインする](#)

QGenie を検索して Web ブラウザを使ってログインページにアクセスします。

### [マイネットワーク \(Samba\) を利用して QGenie のコンテンツにアクセスする](#)

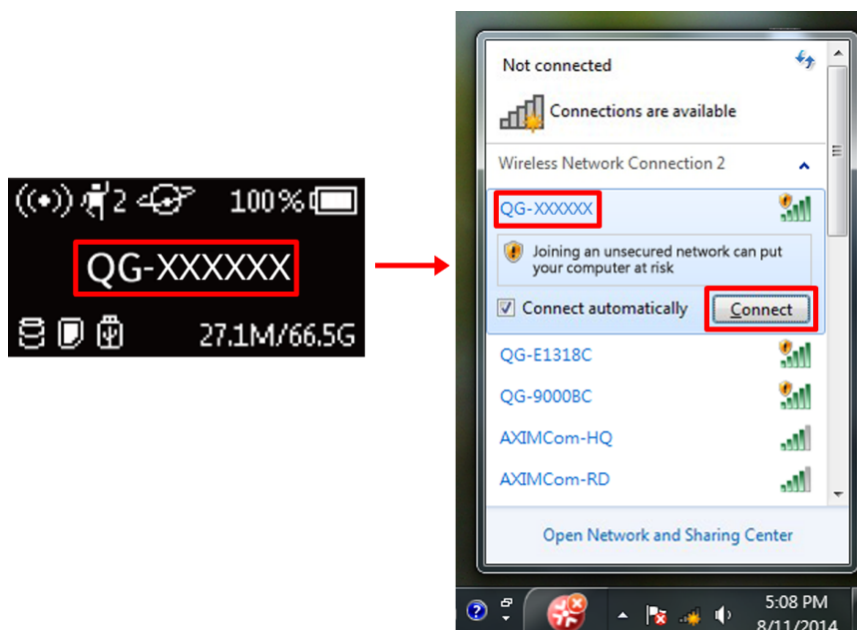
マイネットワークで QGenie を検索します。

### [QGenie のネットワーク詳細をチェックする](#)

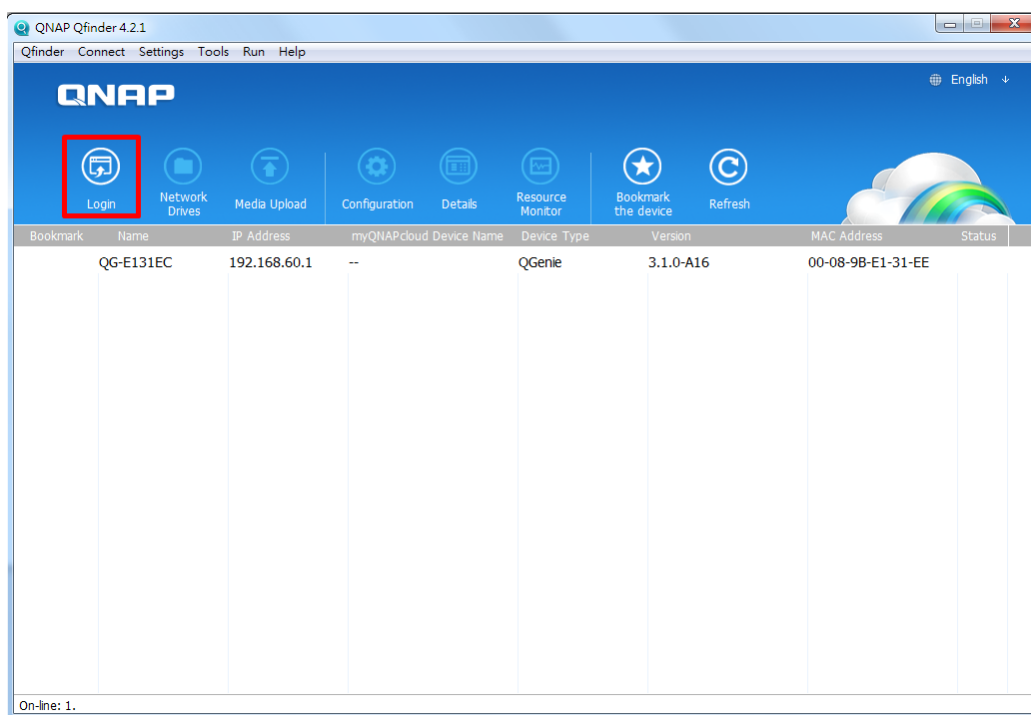
Qfinder を使って QGenie のプロパティを確認します。

### 1.6.1 Web インターフェースからログインする

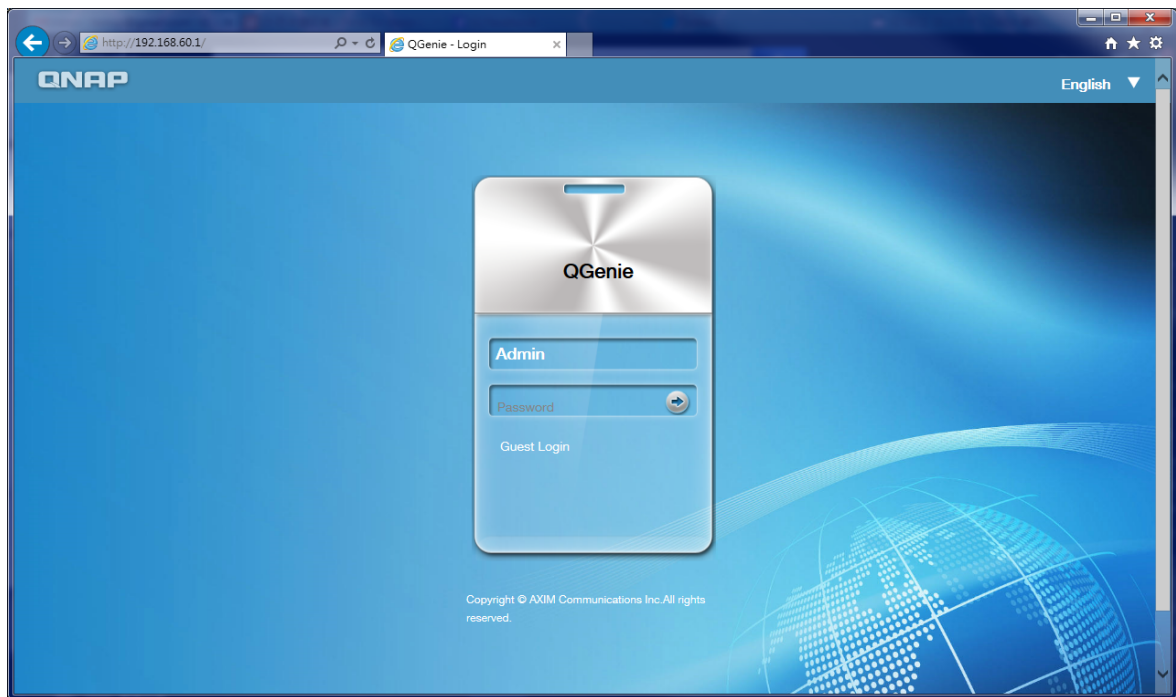
1. PC を QGenie の無線 LAN に接続します。方法がわからない場合は、このドキュメントの前のセクションを参照して下さい。



2. Qfinder を開き「Login(ログイン)」を選択します。



3. Web ブラウザで以下のアドレスが開きます <http://192.168.60.1/>。下の図のようなウェルカム画面が表示されます。



4. 管理アカウントまたはゲストアカウントを使ってログインします。違いは下記のとおりです。

	管理アカウント (Admin)	ゲストアカウント (Guest)
パスワードの入力	はい	不要
アカウント許可	QGenie 設定の変更	QGenie の現在の状況の閲覧のみ
フォルダーアクセス	Qsync/SD カード/USB	SD カード/USB

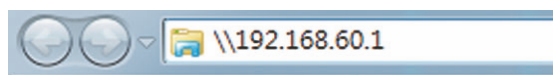
注記: ゲストアカウントはデフォルトでは無効になっています。ゲストアカウントは設定ページで有効化できます。

#### 1.6.2 マイネットワーク (Samba) を利用して QGenie のコンテンツにアクセスする

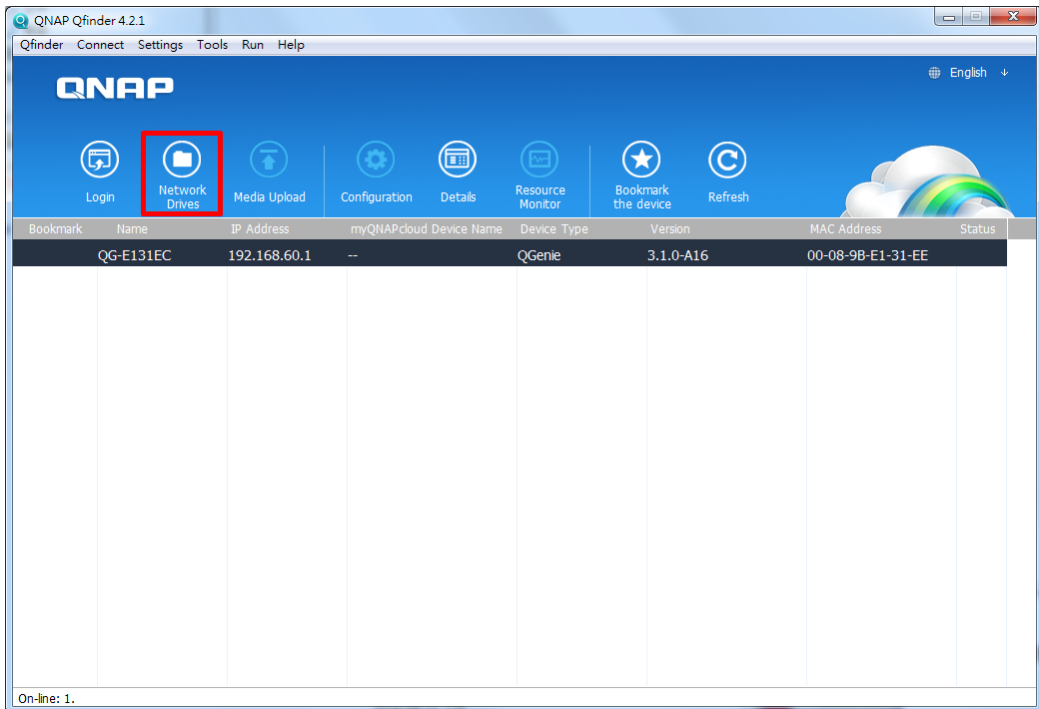
##### Windows PC を利用し、QGenie にアクセスする

1. 無線 LAN 経由で QGenie を PC に接続します。
2. Windows オペレーティングシステムの場合、2 通りの方法で QGenie コンテンツにアクセスできます。

方法 1: Windows Explorer を開き、アドレスバーに「\\192.168.60.1」と入力します。



方法 2: Qfinder を起動し、「Network Drives (ネットワークドライブ)」を選択します。



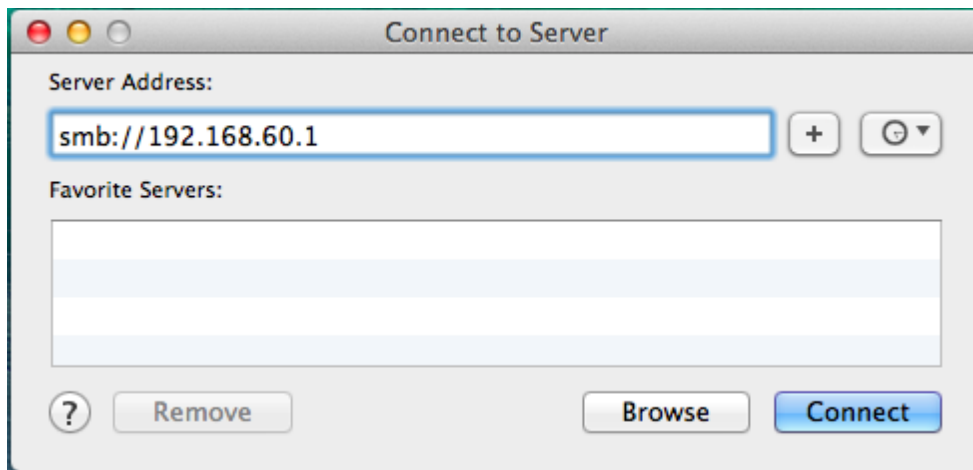
3. Qsync、SD、USB から選択し、保存されているコンテンツにアクセスします。



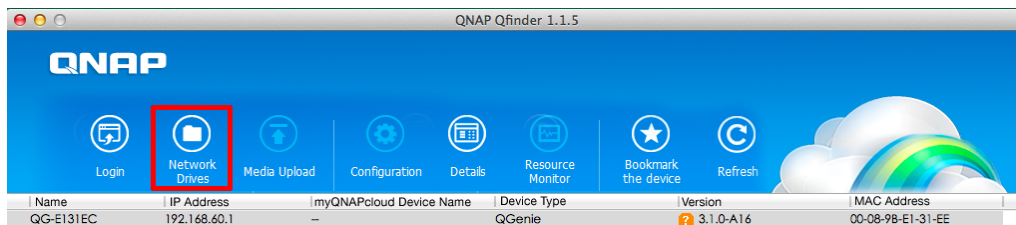
### Mac を利用し、QGenie のコンテンツにアクセスする

1. 無線 LAN 経由で QGenie を Mac に接続します。
2. Mac を利用し、QGenie のコンテンツにアクセスするには 2 通りの方法があります。

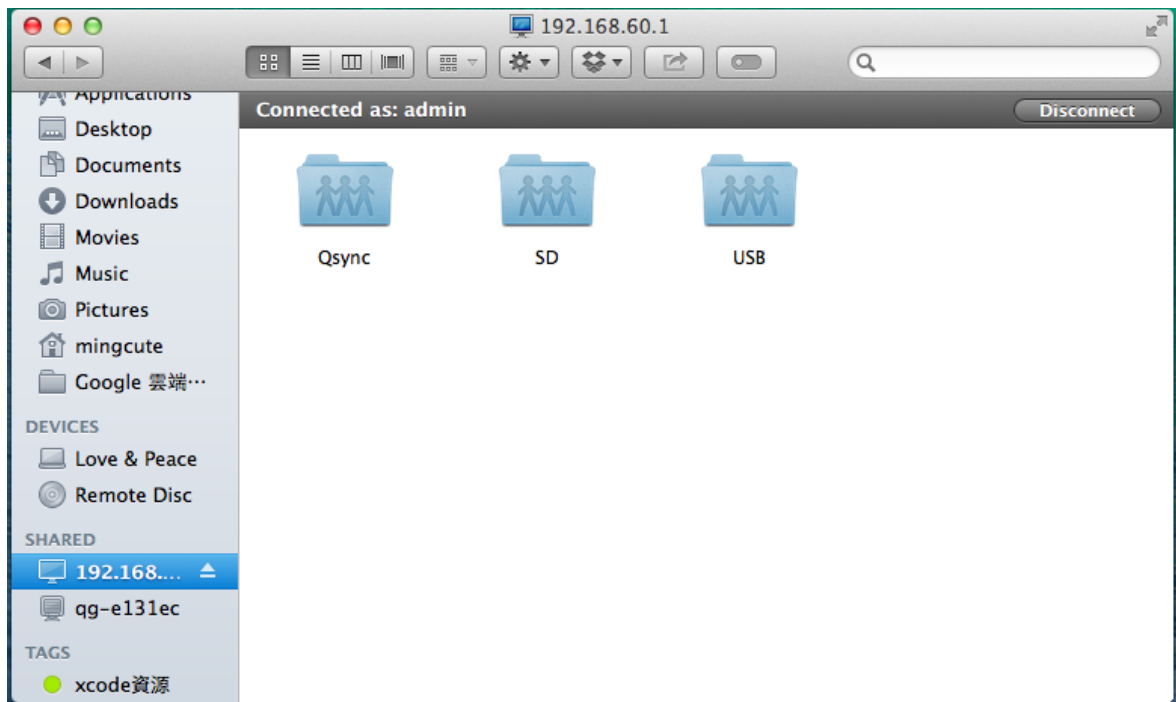
方法 1: 「Go (進む)」, 「Connect to Server (サーバーに接続する)」の順に進み、「smb://192.168.60.1」を入力します。



方法 2: Qfinder を起動し、「Network Drives (ネットワークドライブ)」をタップします。



3. Qsync、SD、USB から選択し、保存されているコンテンツにアクセスします。



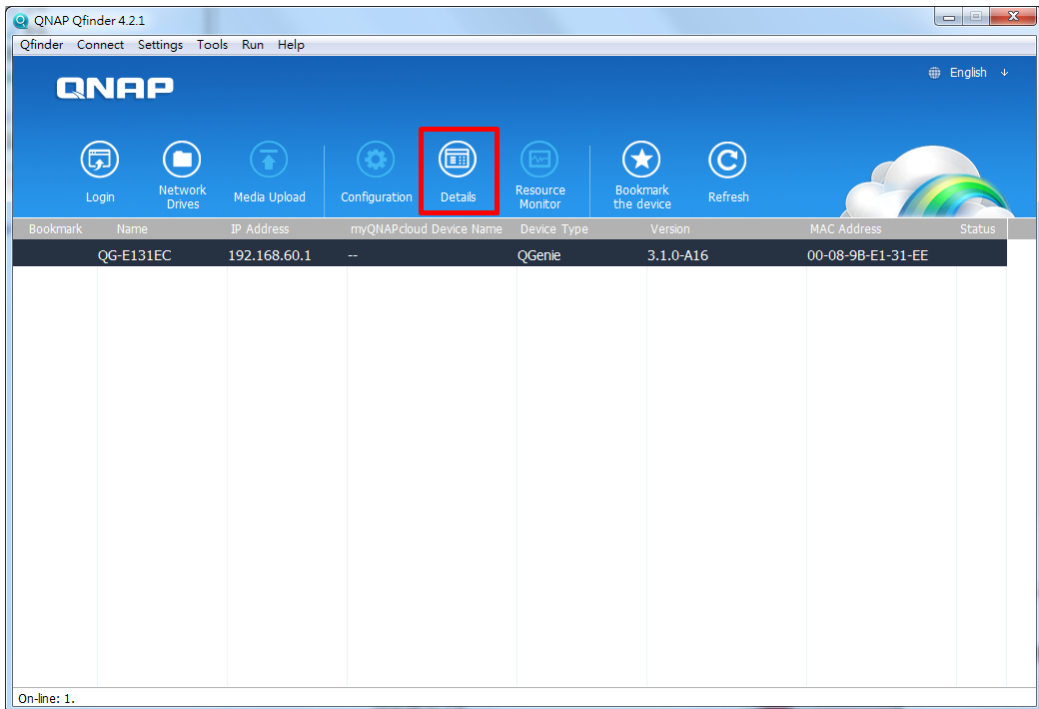
**i** 注意

接続されていないデバイスが一覧に表示されますが、それらのデバイスにはアクセスできません。  
ゲストは「Qsync」フォルダーにアクセスできません。

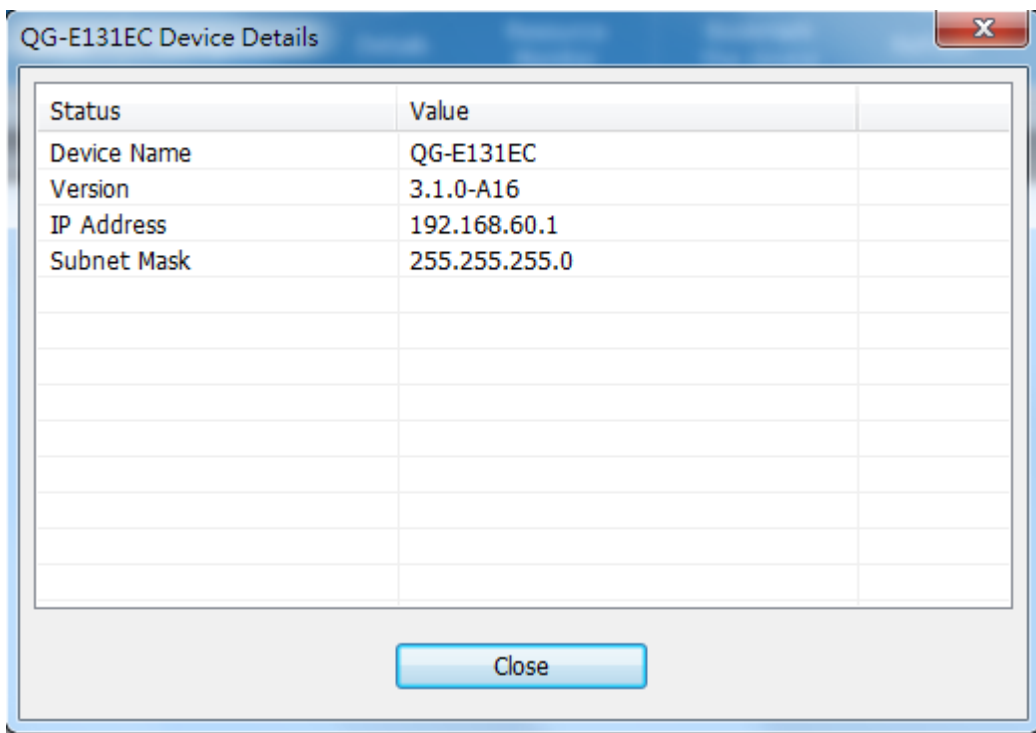
### 1.6.3 QGenie のネットワーク詳細をチェックする

1. QGenie を 無線 LAN 経由で PC に接続します。
2. Qfinder を起動し、「Detail (詳細)」。





3. QGenie のネットワーク詳細が表示されます。



### 1.7 Webブラウザを利用した QGenie のセットアップ / 使用

QGenie では基本の機能をセットアップできる Web インターフェースが提供されており、ユーザーは Web ブラウザを使って QGenie の設定を変更することができます。

#### [設定ページ](#)

ブラウザを使って QGenie のセキュリティ設定、名前および管理パスワードを設定

することができます。

## QGeine のインターネット接続を設定する

ブラウザを使って QGeine からの有線、無線、および USB インターネット接続を確立します。

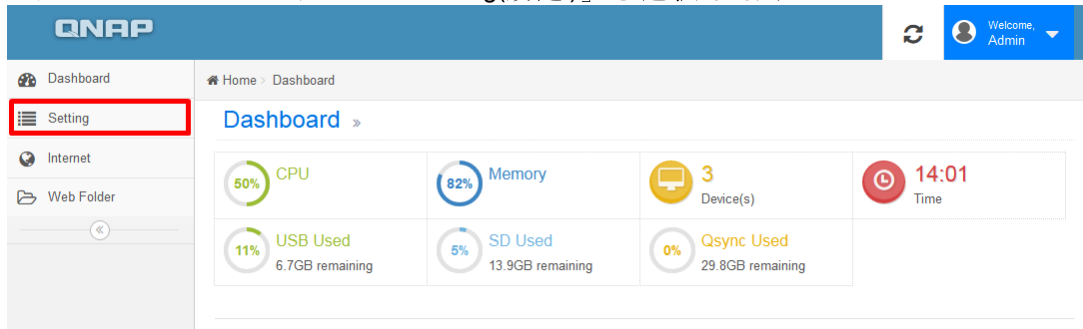
## QGeine のコンテンツにアクセスする

QGeine に保管されているファイルやフォルダにアクセスします。

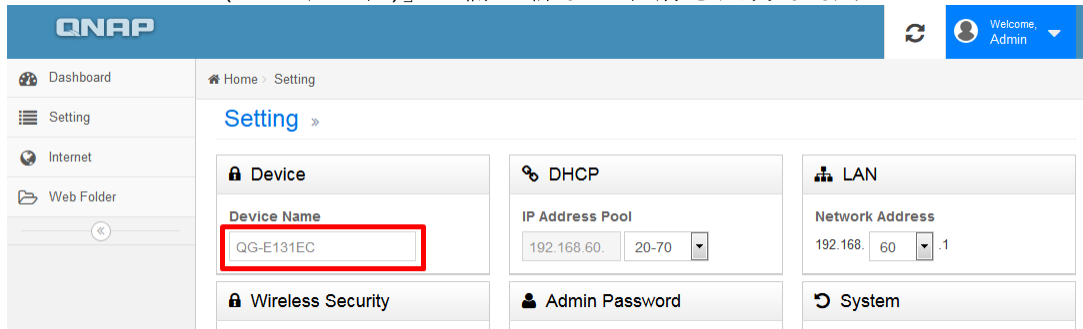
### 1.7.1 設定ページ

#### ウェブインターフェイスでデバイス名を設定する

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。
2. ナビゲーションパネルの「**Setting(設定)**」を選択します。



3. 「**Device Name (デバイス名)**」の欄に新しい名前を入力します。



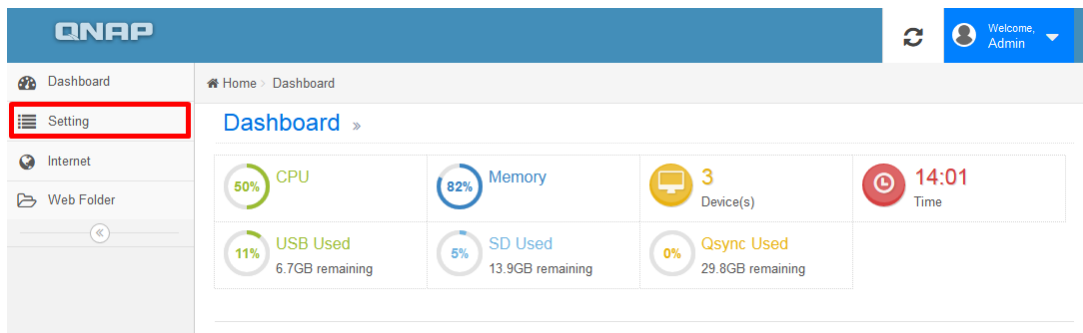
4. 新しいデバイス名を適用するため「**Save (保存)**」を選択すると、QGeine が新しい名前で再起動されます。

#### **i** 注意

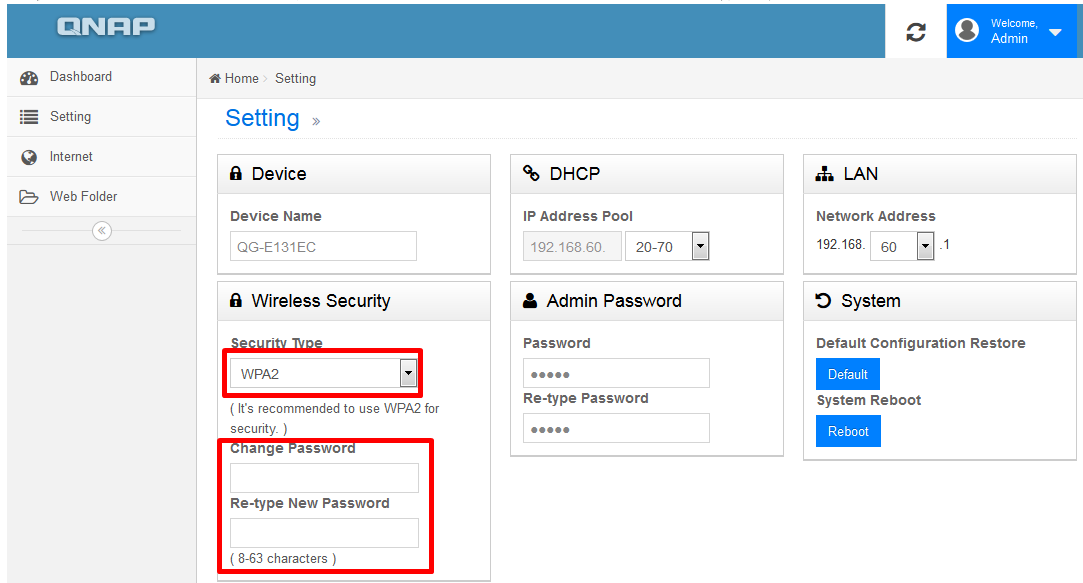
デバイス名の変更後は、QGeine の無線 LAN に新しいデバイス名を使って再接続してください。

#### ウェブインターフェイスで無線セキュリティを設定する

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。
2. ナビゲーションパネルの「**Setting (設定)**」を選択します。



3. 無線セキュリティ内で「Security Type (セキュリティタイプ)」を選択します。最上のセキュリティレベルのためには、WPA2を推薦します。



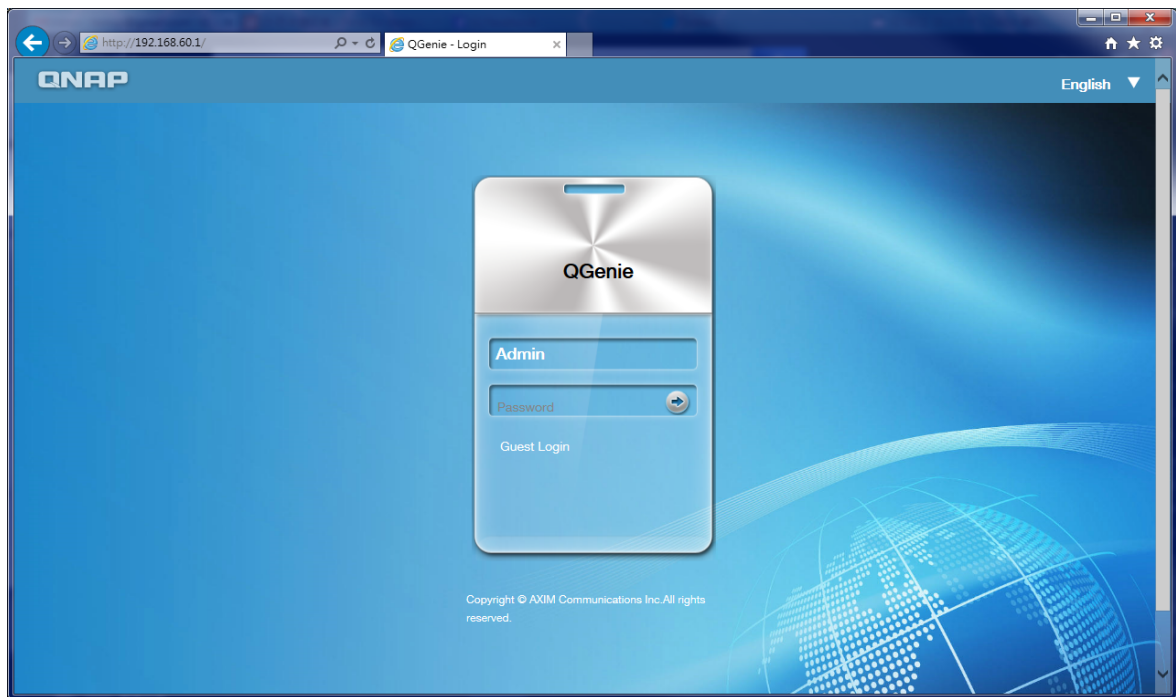
4. パスワードを2回入力した後に「Save (保存)」を選択して新しいセキュリティ設定を反映させます。

### 注意

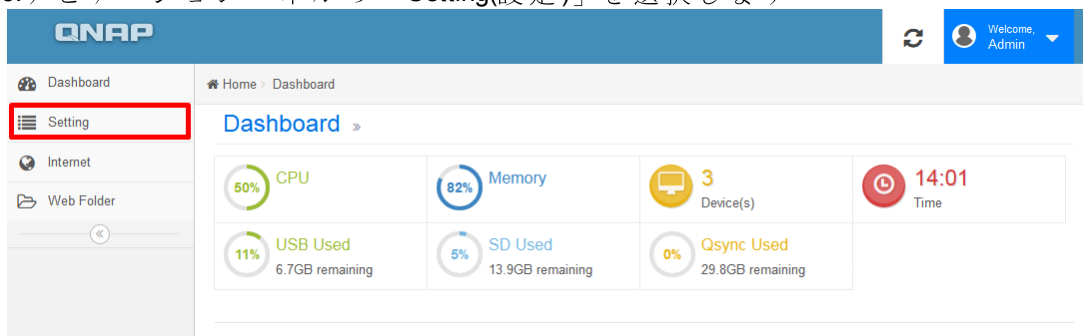
- 無線セキュリティを変更した後は、新しいパスワードで QGenie に再接続してください。
- WPA/WPA2 の場合、有効なパスワードの長さは8～63文字です。
- WEP の場合、有効なパスワードの長さは5文字または13文字です。

### ウェブインターフェイスでファームウェアをアップグレードする

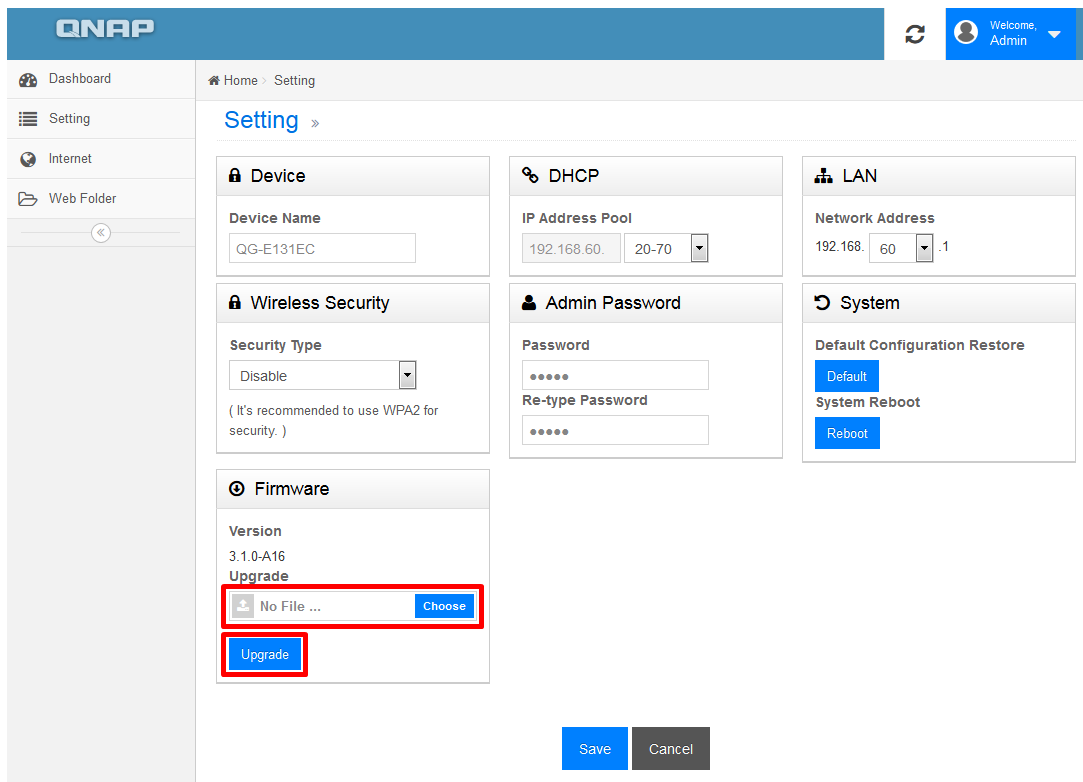
1. QGenie をオンにします。 PC を QGenie の無線 LAN に接続します。
2. ブラウザを開いて <http://192.168.60.1/> に移動します。 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。



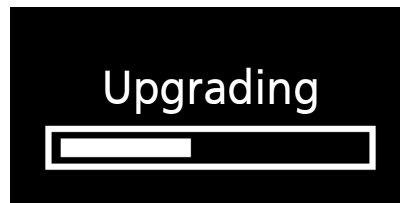
3. ナビゲーションパネルの「Setting(設定)」を選択します。



4. 設定ページに「Firmware (ファームウェア)」が表示されます。PC から実行するファームウェアを選択して「Update(更新)」を選択します。

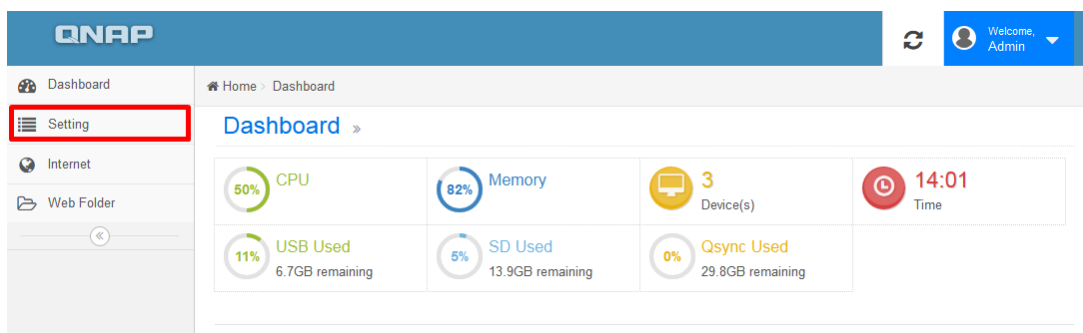


5. QGenie の OLED 画面に「Upgrading(アップグレード中)」が表示され、進行状況が表示されます。

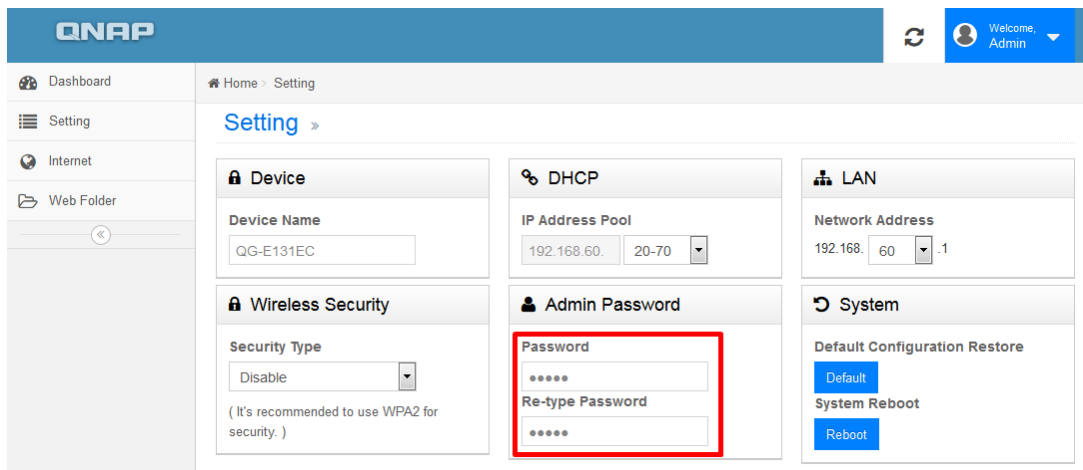


## ウェブインターフェイスで管理パスワードを設定する

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインして、ナビゲーションパネルの「Setting(設定)」を選択します。



2. 「Admin Password (管理パスワード)」に行き新しいパスワードを2回入力後、「Save(保存)」を選択します。

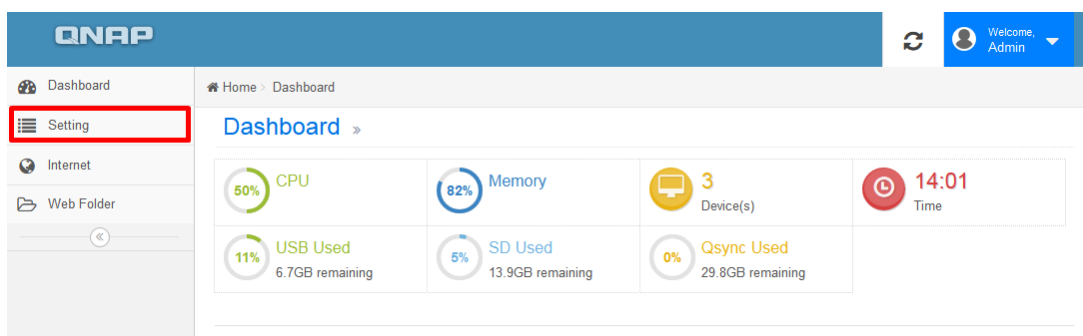


**注意**  
 管理パスワードを変更後は、新しいパスワードでログインする必要があります。

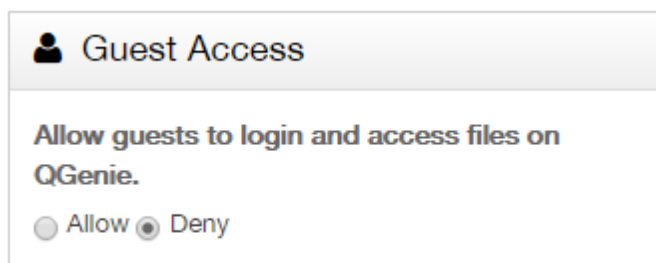
## ゲストアクセスの承認または拒否

(3.1.1バージョン以降のファームウェアで利用可能)

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインして、ナビゲーションパネルの「**Setting(設定)**」を選択します。



2. 設定ページに「**Guest Access (ゲストアクセス)**」が表示されます。デフォルト設定では "拒否になっています。"



3. ゲストアカウントがマイネットワーク (Samba)、Web ファイルマネージャー、Qfile からログインできるようにするには「許可」に変更します。

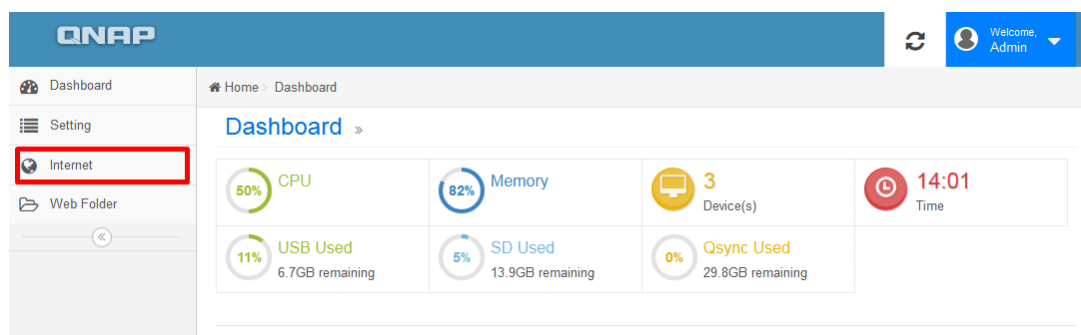
## 1.7.2 QGenie のインターネット接続を設定する

QGenie ではインターネットに接続するにあたり、3つの方法をサポートしています。

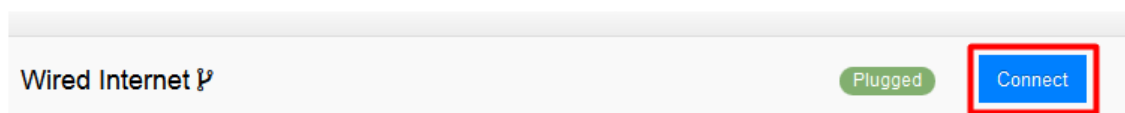
1. 有線インターネット  
イーサネットケーブルを QGenie に差し込み、イーサネットでインターネット接続します。
2. 無線インターネット  
QGenie を既存の無線インターネット接続に接続します。
3. USB インターネット  
QGenie は(1)インターネットテザリング (iPhone/Android) および(2)3G/4G USB ドングルをサポートしています。

### 有線インターネットの設定

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。
2. ナビゲーションパネルの「Internet (インターネット)」を選択します。



3. 「Wired Internet(有線インターネット)」で有線接続のタイプを選択して「Connect (接続)」を押します。



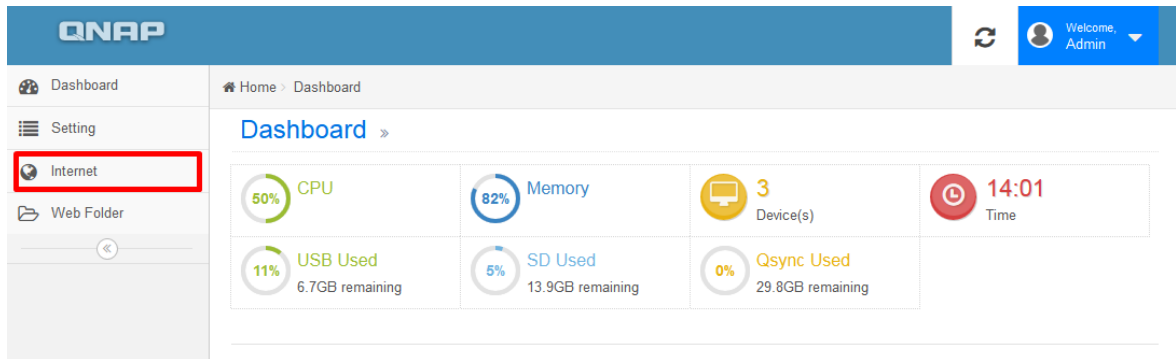
- PPPoE : If you have an exact username and password, choose this.
- Static IP : If you already have an IP address, choose this.
- DHCP : If you have no any information from your network provider, choose this.

- DHCP: 最も一般的な方法です。ケーブルを家庭のルーターに接続する場合にはこれを選択します。
- 静的 IP: DHCP に似ていますが、適切な IP 設定を手動で入力する必要があります。
- PPPoE: QGenie を ADSL/VDSL モデムに直接接続する場合に必要で、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。  
\* どの接続タイプが使用されているかわからない場合には、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

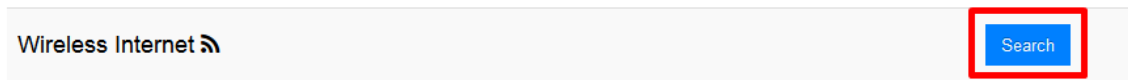
### 無線インターネットの設定

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。

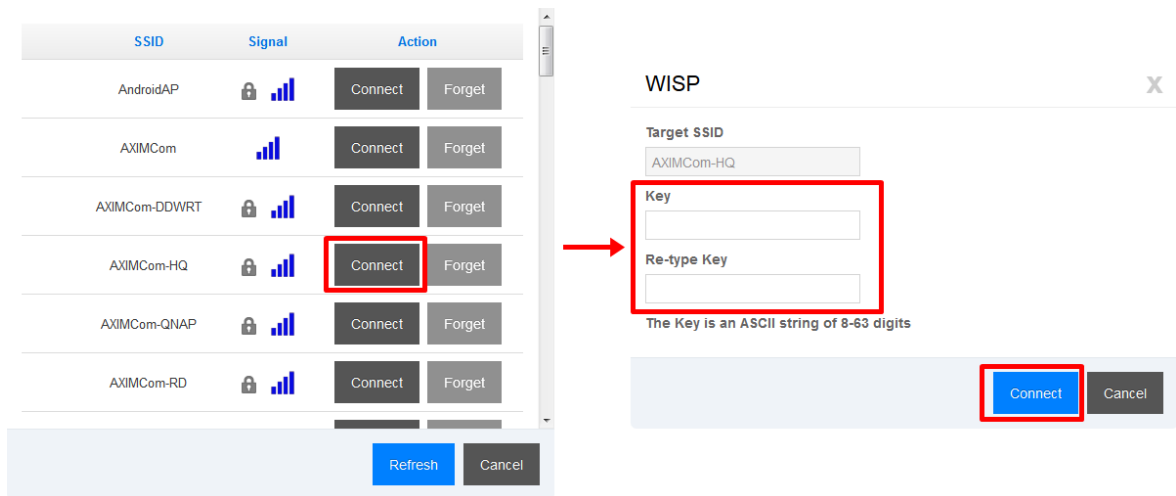
2. ナビゲーションパネルの「Internet(インターネット)」を選択します。



3. ワイヤレス接続の横にある「Search(検索)」を選択します。



4. 接続するワイヤレスネットワークを選択し、必要に応じてパスワードを入力します。



設定が適用された後に QGenie が再起動します。 QGenie に手動で再接続してください。

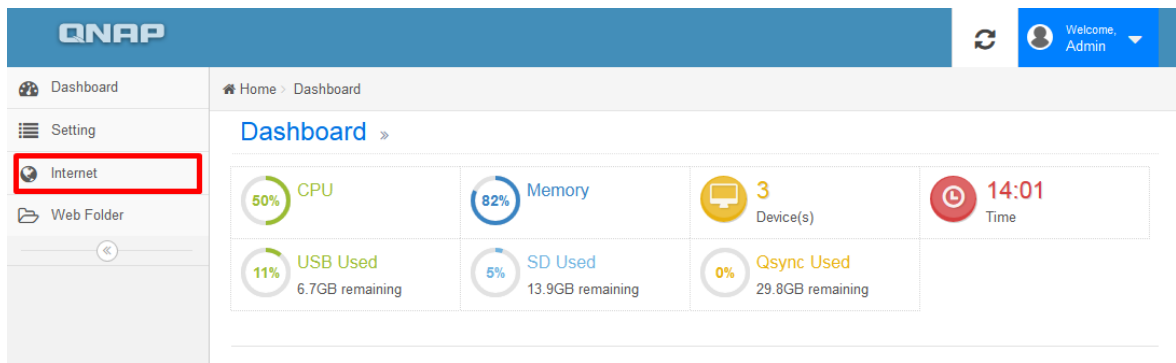
### 注意

無線インターネット設定で QGenie を起動した場合、QGenie は最後に成功した6つの無線インターネット接続をパスワード込みで記録しており、これらへの接続を自動的に試みます。

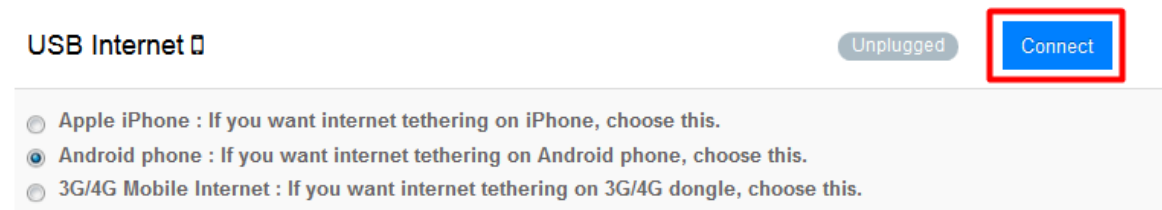
## USB インターネットの設定

1. 管理アカウントでウェブインターフェイスにログインします。
2. ナビゲーションパネルの「Internet (インターネット)」を選択します。



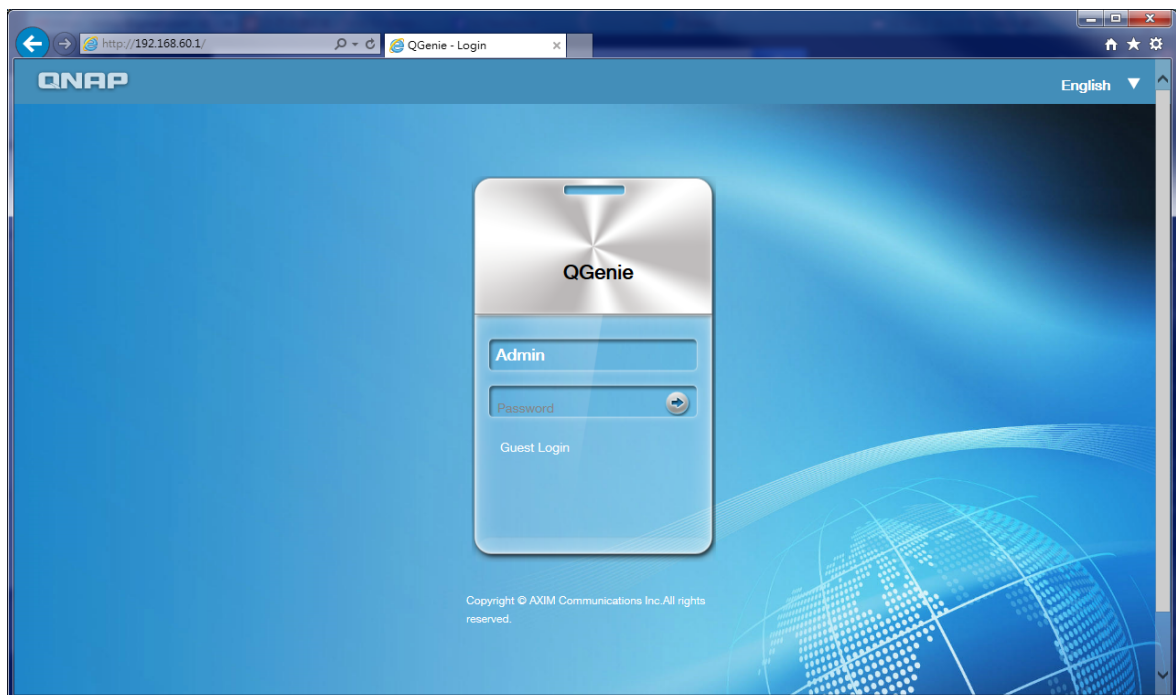


3. USB デバイスの種類を選択して「Connect(接続)」を押します。

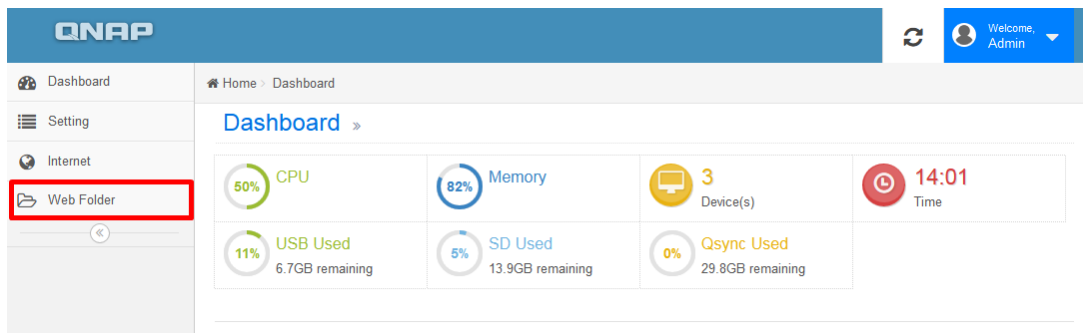


### 1.7.3 QGene のコンテンツにアクセスする

1. 無線 LAN 経由で PC を QGene に接続し、ブラウザを開き、<http://192.168.60.1/> に進みます。Admin または Guest アカウントでウェブインターフェイスにログインします。



2. [Web Folder (ウェブフォルダー)] を選択し、SD カードまたは USB ストレージ機器のファイルを閲覧します。



4. SD カードと USB ストレージ機器のファイルの閲覧を始めます。

Index of /

Name	Last Modified	Size	Type
Parent Directory/		-	Directory
Documents/	2011-Jan-01 00:00:08	-	Directory
Music/	2011-Jan-01 00:00:08	-	Directory
Others/	2011-Jan-01 00:00:08	-	Directory
Photos/	2014-Aug-08 05:03:04	-	Directory
Qsync/	1970-Jan-01 00:00:00	-	Directory
SD/	2014-Aug-14 04:52:16	-	Directory
USB/	1970-Jan-01 00:00:00	-	Directory
Videos/	2014-Aug-08 05:01:16	-	Directory

QGenie

### 注意

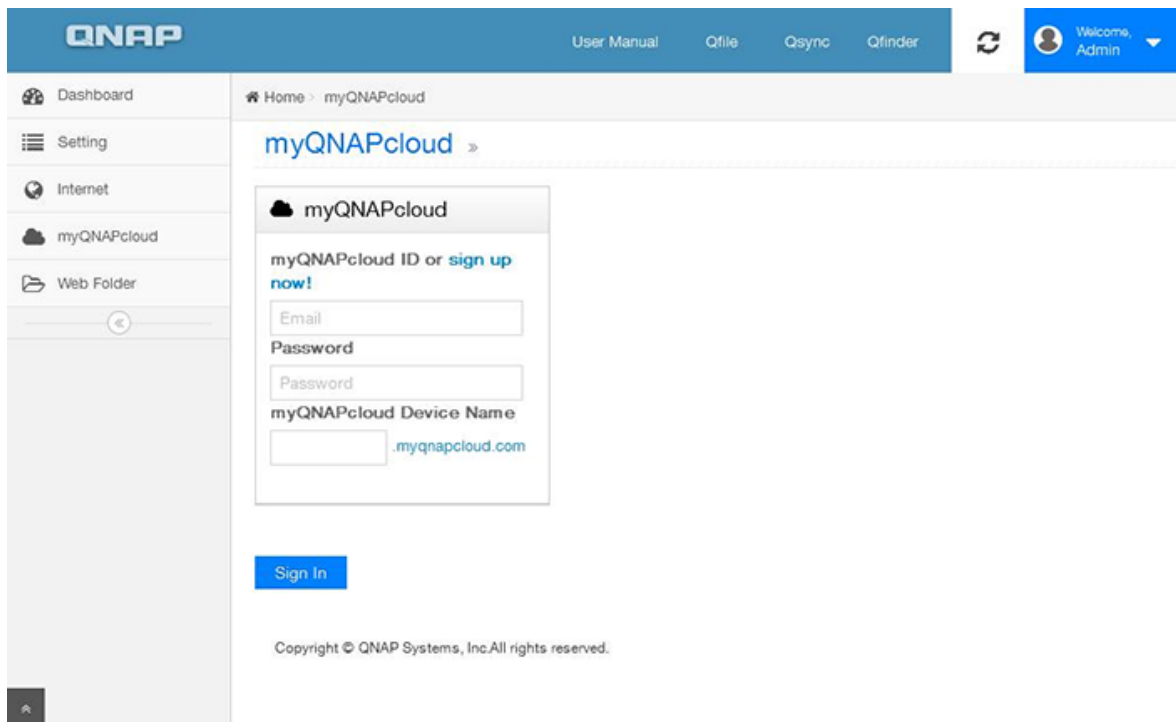
ウェブフォルダーがウェブインターフェイスに表示されない場合、ストレージ機器が正しく接続されていることを確認してください。

## 1.8 myQNAPcloud サービス

(3.1.1以上のファームウェアを搭載した QGenie で利用可能)

myQNAPcloud サービスでは、ホスト名の登録、ドメイン名への動的 NAS IP アドレスのマッピング、ローカルネットワーク上での UPnP ルーターの自動ポートマッピングが実行できます。myQNAPcloud を使って QGenie 専用のホスト名を登録したり、UPnP ルーター上の自動ポート転送を設定したり、インターネットからリモートアクセスできるように QGenie サービスを公開しましょう。

myQNAPcloud サービスを使うには、QGenie が UPnP ルーターに接続されており、インターネットからアクセスできる状態である必要があります。QGenie ダッシュボードの myQNAPcloud に移動します。



## myQNAPcloud ID の作成


すでに myQNAPcloud ID を持っている場合、この手順は省略できます。

「[sign up now! \(今すぐサインアップ!\)](#)」をクリックして必要な項目を入力し、myQNAPcloud ID を作成します。

## QGenie を myQNAPcloud に登録する

myQNAPcloud ID、パスワード、登録するデバイスの名前を入力して QGenie を myQNAPcloud に登録します。

## myQNAPcloud »

 myQNAPcloud

myQNAPcloud ID or [sign up now!](#)


**Password**

**myQNAPcloud Device Name**

 [.myqnapcloud.com](#)

Sign In


注記: ルーターの UPnP の登録と設定には 数分かかる場合があります。「Sign In (サインイン)」を選択した後はしばらくお待ちください。

 myQNAPcloud

**myQNAPcloud ID (QID)**

**myQNAPcloud Device Name**

[UPnP Test](#)

Status : Signed In  
Last Update Status :  OK

Sign Out

Manage myQNAPcloud Account

登録後は、QGenie がお使いの [myQNAPcloud ポータル](#) に表示されるようになります。

## myQNAPcloud から QGenie を削除する

「Sign Out (サインアウト)」をクリックすると myQNAPcloud から QGenie が削除されます。  
削除したデバイスの名前は、他のユーザーが使用できる状態になりますのでご注意ください。

### 1.9 注意事項

#### 一般使用

QGenie をご利用いただく際の注意事項。

#### メンテナンス

クリーニングの方法。

#### 外部ストレージの注意事項

##### 1.9.1 一般使用

1. 誤作動とハードウェアの障害を回避するために: QGenie を落としたり、上に重い物を置いたり、強く打ったり、物理的圧力をかけたりしないでください。
2. QGenie は次の場所に放置しないでください。
  - 高温となる場所 (直射日光下、ヒーターのそば、車のダッシュボードの上、夏日の密閉された車中など) 製品の色が変わったり、変形したり、ハードウェアエラーが発生したりすることがあります。
  - ほこりや振動が多い環境
  - 不安定な表面や傾いた表面の上
  - 多湿環境
  - 磁石の近くや磁気信号を発生させるデバイスのそば
3. ラジオやテレビで雑音聞こえる場合、QGenie の電源を落とすか、ラジオやテレビから遠ざけてください。
4. QGenie の故障を防ぐために、次の状況を避けてください。
  - QGenie を後ポケットに入れたまま腰を下ろさないでください。
  - USB デバイス/ケーブルが QGenie に接続されているときは、鞆に QGenie を入れたり、QGenie に衝撃を与えたりしないでください。
5. QGenie は防水ではありません。QGenie が濡れたり、雨や湿気にさらされるような環境では、細心の注意を払って QGenie をご利用ください。
6. 温度の急激な変化に注意してください。温度は QGenie の表面または内部に凝結を発生させます。QGenie で凝結が発生した場合、凝結が解消されるまで QGenie をオンにしないでください。オンにすると、凝結によりハードウェアエラーが発生することがあります。
7. QGenie は 2.4GHz 電波でデータを送信します。近くにある他のデバイスが同じ周波数を使用している場合、QGenie に干渉し、誤作動が起こる可能性があります。
8. QGenie を長期間使用していない場合、バッテリーを完全に充電できないことがあります。この問題を解決するには: バッテリーの充電と放電を 2-3 周期繰り返します。
9. QGenie を長期間使用しない場合、QGenie を安全な場所に保管し、接続されている USB ケーブル/デバイスをすべて外します。
10. QGenie を他のデバイスのパワーバンクとして使用する前に、他のデバイスのユーザーマニュアルで互換性と正しい充電手順を確認してください。
11. QGenie を利用して別のデバイスに電力を供給する前に、デバイスの電力要件を確認してください。QGenie の USB ポートは 1500mA の最大出力をサポートし、安

全のために出力をこのレベルに制限します。

12. QGenie からデバイスに電力を供給するとき、充電時間はバッテリー残量によって変わります。

USB ハブまたは拡張ケーブルが使用される場合、QGenie が正しく動作しないことがあります。

### 1.9.2 メンテナンス

洗剤や副産物のついていない柔らかい布で QGenie を清潔にしてください。表面を水で洗淨する場合には特にご注意ください。

### 1.9.3 外部ストレージの注意事項

1. データ破損や消失の原因になる恐れがあるため、QGenie のアクセス中に SD カードやその他のストレージデバイスを取り外さないでください。
2. QGenie が外部ストレージにアクセス中に QGenie の電源が切れたり、電磁波妨害の高い環境で QGenie を使用した場合、データが破損したり消失する恐れがあります。
3. USB ポートや SD カードスロットを素手で触ったり、金属製の物体に接触させないでください。
4. QGenie に SD カードを挿入する際に余分な力を加えすぎると、両方のデバイスを破損する恐れがあります。
5. QGenie は著作権保護技術が施されたデータにアクセスすることはできません。
6. FAT ファイルシステムの制限上、SD/SDHC メモリカードの1ファイル当たりの最大サイズは4GBになります。大きなファイルを保存する必要がある場合は、SD/SDHC カードを exFAT または NTFS 形式で再フォーマットしてください。

### 1.10 仕様

#### ハードウェア

CPU	MIPS 24KEc 600MHz
Dram	64MB RAM
フラッシュメモリ	16MB
内部 SSD	32GB
WiFi	802.11n 1T1R 150Mbps
LAN ポート	1 x 100メガビット RJ-45 イーサネットポート
OLED 画面	はい
LED インジケーター	電源、バッテリー
USB	1 x USB 3.0 ポート
SD カードスロット	1 x SDXC
ボタン	情報、リセット

モードスイッチ	WiFi 共有/パワーバンク/オフ
寸法	115 (高さ) x 58.5 (幅) x 17.5 (奥行) mm
重量	122 g
消費電力 (W)	0.8w
動作温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 0 °C ~ 45 °C (32 °F ~ 112 °F) (正常動作時)</li> <li>▪ 0 °C ~ 45 °C (32 °F ~ 112 °F) (内蔵バッテリーに充電している時)</li> </ul>

## ソフトウェア

サポートしているクライアント OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Windows XP、Vista、Windows 7 (32/64ビット)、Windows 8 (32/64ビット)、Windows Server 2003/2008 R2/2012</li> <li>▪ Apple Mac OS X</li> <li>▪ Linux &amp; UNIX</li> </ul>
有線インターネットの共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ADSL/VDSL (PPPoE)</li> <li>▪ ケーブルモデム (DHCP)</li> <li>▪ ホテル/オフィス LAN (DHCP)</li> <li>▪ ユーザー定義のネットワーク (静的)</li> </ul>
サポートしているブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Microsoft Internet Explorer 10以上</li> <li>▪ Mozilla Firefox 8以上</li> <li>▪ Apple Safari 4以上</li> <li>▪ Google Chrome</li> </ul>
アプリ/ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Qfile (iOS/Android)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Qsync (Windows)</li> <li>▪ Qfinder (Windows)</li> </ul>
アクセス権管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ゲスト/管理モード</li> <li>▪ パスワード保護へのアクセス</li> </ul>
マルチメディアフォーマット (**)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 写真： JPG、GIF、PNG、TIFF、BMP</li> <li>▪ ドキュメント： DOC、DOCX、PPT、PPTX、XLS、XLSX、KEY、NUMBERS、PAGES、TXT、RTF、PDF</li> <li>▪ オーディオ： MP3、AAC、M4A、AIF、WAV、WMA、OGG、APE、FLAC</li> <li>▪ ビデオ： WMV、AVI、MKV、RM、RMVB、XVID、MP4、MOV、3GP、MPG、M4V</li> </ul> <p>(**) フォーマットへのサポートはすべて、モバイル機器またはサードパーティのソフトウェアからのものです。 <b>QGenie</b> および <b>Qfile</b> はマルチメディアデータをエンコード/デコードしません。</p>
ファイルシステム	FAT32、NTFS、exFAT、HFS+、ext2、ext3、ext4  (2TB まで)



ファイルアクセス 回復プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Qfile API</li> <li>▪ WebDAV</li> <li>▪ ネットワークコンピュータ (CIFS/Samba)</li> <li>▪ UPnP 検出サービス</li> <li>▪ Bonjour 検出</li> </ul>
USB インターネットの共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ iPhone テザリング (iOS 6、iOS7)</li> <li>▪ Android テザリング (4.0/4.1/4.2/4.3/4.4)</li> <li>▪ 4G/3G/LTE USB モデム</li> </ul>
多言語サポート	英語/中国語
管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ファームウェアのアップグレード</li> <li>▪ 工場出荷時の設定</li> <li>▪ ダッシュボード型のリソースモニター</li> </ul>

### 1.11 復元モード

システムエラーやファームウェアの不正アップグレードにより起動できなかった場合、QGenie は復元モードに入ります。

復元モードでは、ユーザーは QGenie を回復するため緊急用ファームウェアを読み込むことができます。

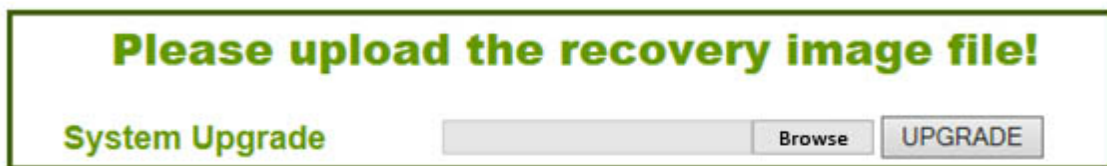
- 1.製品ウェブサイトから回復用のイメージファイルをダウンロードします。
- 2.イーサネットケーブルで、QGenie を直接 PC に接続します。
- 3.手動で PC の IP を 192.168.60.2、ネットマスクを 255.255.255.0、ゲートウェイを 192.168.60.1 に設定します。
- 4.全ての QGenie 設定に対して、上記の手順を実行します。ブラウザを開いて <http://192.168.60.1/> に移動します。



Hold reset and move slide to Wi-Fi sharing mode



5. 「Browse(ブラウズする)」を選択して回復用イメージファイルを選択し、「UPGRADE(アップグレード)」を選択して開始します。



6. プロセスが終了すると、QGenie が再起動されます。QGenie と PC を接続しているイーサネットケーブルを外してください。
7. 再起動後、[最新のファームウェアをダウンロードして QGenie にインストールしてください](#)。

**i** 注意

- システムが正常に起動しない場合にのみこの手順を実行してください。
- QGenie に十分なバッテリーがあることを確認してください。そうでない場合回復に失敗することがあります。
- 回復用イメージファイルでは、基本的な機能のみが利用可能になります。プロセスが完了したら、全機能を回復するために、適切なファームウェアをインストールしてください。

## 2. トラブル解決

### 2.1 本体

[QGenie の電源が入りません。](#)

[バッテリーの寿命が思っていたよりも短い。](#)

[QGenie がオフの場合でも、バッテリー消費が非常に速い。](#)

[コンピュータからバッテリーに充電できません。](#)

[バッテリーインジケータが充電中になりません。](#)

バッテリーの充電にとっても時間がかかります。

QGenie から他のデバイスに電源が供給されません。

#### **2.1.1 QGenie の電源が入りません。**

- QGenie のバッテリーが切れている場合があります。PC または USB AC アダプターを使って充電してください。

#### **2.1.2 バッテリーの寿命が思っていたよりも短い。**

- さまざまな状況によって、使用時間は変化します。
- ヘルプガイドに記載されている充電時間が平均的な時間です。使用状況により、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。
- 装置を電源が切れた状態で放置している場合でも、バッテリーはごく少量の割合で放電しています。装置を長い間使っていない場合は、事前に十分にバッテリーを充電してください。
- フル充電した場合でもバッテリー寿命が明らかに短い場合、バッテリーの寿命に達した可能性があります。バッテリーの寿命は使用状況によって変わります。
- 装置を1年以上に渡って使わないと、バッテリーが劣化する可能性があります(使用環境によります)。
- 気温が5°C以下の場合、バッテリーの消費が速くなる場合があります。これはバッテリーの特性であり機能不良ではありません。

#### **2.1.3 QGenie がオフの場合でも、バッテリー消費が非常に速い。**

- QGenie を長い間使用していない場合は、最適な状態で利用するためバッテリーを十分に充電してください。
- フル充電した場合でもバッテリー寿命が明らかに短い場合、バッテリーの寿命に達した可能性があります。
- 1年以上に渡って QGenie を使用していない場合、バッテリーが劣化する場合があります。
- リチウムイオンバッテリーの性質上、気温が5 °C (41 °F)以下の場合には消費が速くなる場合があります。

#### **2.1.4 コンピュータからバッテリーに充電できません。**

- USB ハブや延長ケーブルを使用している場合、QGenie が正しく充電されない場合があります。
- PC がオフになっているとき、またはスリープモードの場合、QGenie は充電できません。
- QGenie を切断して再度接続するか、他の USB ポートを使ってみてください。
- コンピュータが QGenie の要件を満たしていることを確認してください。

#### **2.1.5 バッテリーインジケータが充電中になりません。**

- USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーの性能を最適にするため、10 °C ~ 35 °C (50 °F ~ 95 °F) の環境で充電することを推奨します。
- 互換性のない USB AC アダプターを使っている可能性があります。他のアダプターでお試し下さい。
- フル放電されたバッテリーを充電する場合、OLED インジケータが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

### 2.1.6 バッテリーの充電にとても時間がかかります。

- さまざま状況によって、充電時間は変化します。
- QGenie の電源がオンになっており、他の USB デバイスが接続された状態で充電する場合、他のデバイスを 100% 充電するのにかかる時間が変わる場合があります。

### 2.1.7 QGenie から他のデバイスに電源が供給されません。

- デバイスのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- QGenie のバッテリーが少量すぎる場合、他のデバイスに電源を供給できないことがあります。
- 他のデバイスのユーザーマニュアルを参照して、互換性と正しい充電方法についてご確認ください。
- 他のデバイスの所要電力をご確認ください。QGenie の USB ポートは 1500mA の最大出力をサポートし、安全のために出力をこのレベルに制限します。
- USB ハブや延長ケーブルを使用している場合、QGenie が正しく充電されない場合があります。

## 2.2 熱

### この装置は熱くなります。

#### 2.2.1 この装置は熱くなります。

- この装置は、充電を含めた使用中や、他のデバイスに電源を供給している時に熱くなることがあります。これは機能不良ではありません。装置の使用を中止して、冷却時間を置いてください。
- 熱が蓄積されるような場所では、この装置を使用しないでください。

## 2.3 充電

### コンピュータからバッテリーに充電できません。

### 充電中、バッテリーインジケータのランプは点灯しません。

### 充電中、バッテリーインジケータのランプは点滅します。

### バッテリーの充電にとても時間がかかります。

### 充電中、無線 LAN 機能は利用できません。

#### 2.3.1 コンピュータからバッテリーに充電できません。

- この装置を充電するには、付属品の USB ケーブルを使用してください。
- USB ハブや USB 拡張を使用している場合、正しい動作は保証できません。付属品の USB ケーブルは、この装置をコンピュータまたは USB AC アダプターに接続する場合にのみご使用ください。
- コンピュータの電源が入っており、スタンバイモードやスリープモードになっていないことを確認してください。電源の入っていない、またはスタンバイ/スリープモードになっているコンピュータからこの装置を充電することはできません。
- コンピュータからこの装置を切断してから、もう一度接続してください。
- ご使用のコンピュータがこの装置の要件を満たしていることを確認してください。

### 2.3.2 充電中、バッテリーインジケータのランプは点灯しません。

- USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- この装置は制限以内の温度環境で充電してください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーの性能を最適にするため、10 °C ~ 30 °C (50 °F ~ 86 °F) の環境で充電することを推奨します。
- 使用している USB AC アダプターが、サポートしていないモデルの可能性があります。他の USB AC アダプターをお試し下さい。
- バッテリーがフル放電されている場合、充電はすぐに開始されますが、バッテリー表示ランプが点灯するまでに時間がかかる場合があります。

### 2.3.3 充電中、バッテリーインジケータのランプは点滅します。

- 充電中に異常(装置温度の上昇または電源入力ที่ไม่十分な場合など)が発生した場合、バッテリー表示ランプがオレンジ色に点滅し、充電が中止されることがあります。他の USB AC アダプターをお試しいただくか、PC から充電している場合には他のポートをお試し下さい。

### 2.3.4 バッテリーの充電にとても時間がかかります。

- ヘルプガイドに記載されている充電時間が平均的な時間です。使用状況により、充電時間が長くなることがあります。
- PC から充電する場合、USB AC アダプターを使用した場合に比べて時間がかかる場合があります。

### 2.3.5 充電中、無線 LAN 機能は利用できません。

- コンピュータから充電している場合、無線 LAN 機能は自動的にオフになります。

## 2.4 パワーバンク

### QGenie から他のデバイスに電源を供給しません。

#### 2.4.1 QGenie から他のデバイスに電源が供給されません。

- USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 動作温度範囲内で QGenie を使用してください。
- QGenie のバッテリー残量が少ない可能性があります。QGenie を最低でも 60% の容量になるまで充電してから再度お試しください。
- 電源を供給される側のデバイスで、充電の準備ができていない場合があります。デバイスの充電方法に関する詳しい情報については、デバイスの取扱説明書を参照してください。
- QGenie の USB ポートの最大出力電流は 1.5A です。供給された出力電流が 1.5A を超えた場合には、安全上の理由から電源が止められます。
- 他のデバイスに電源を供給する前に、デバイスの電圧および定格電流を確認してください。
- フル充電した場合でもバッテリー寿命が明らかに短い場合、バッテリーの寿命に達した可能性があります。

## 2.5 無線 LAN 接続

モバイル機器またはコンピュータへの無線 LAN 接続が確立できない、あるいは接続が不安定、および/または接続するのに長い時間がかかります。

ワイヤレス名 (SSID) が2つ見つかりましたが、両方とも「QG」で始まるため、どちらを使えば良いのかわかりません。

無線 LAN 接続が停止しました。

この装置とスマートフォン、タブレットまたはコンピュータ間の無線 LAN 接続が不安定です。

この装置とスマートフォン、タブレットまたはコンピュータ間の無線 LAN 接続の確立に時間が長くかかります。

### 2.5.1 モバイル機器またはコンピュータへの無線 LAN

接続が確立できない、あるいは接続が不安定、および/または接続するのに長い時間がかかります。

- QGenieおよびお使いのデバイスの電源が入っており、デバイスの無線 LAN 機能が有効になっていることを確認してください。
- 環境条件 (2.4 GHz 信号の競合や、物理的な壁、干渉を含む QGenie とご利用のデバイス間にある障害)が無線通信の範囲に不利な影響を及ぼすことがあります。QGenie の位置を変えるか、使用しているデバイスをもっと近くに移動してください。問題が解消しない場合には、QGenie を再起動するか、リセットスイッチを押して工場出荷時の設定に復元してください。\*
- ご利用のデバイスと QGenie の場所が離れすぎている可能性があります。もっと近くに移動してください。
- QGenie が接続している無線 LAN に問題がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
- QGenie に接続しているユーザーの数が制限に達した可能性があります (20人)。
- QGenie とご利用のデバイス間の接続にパスワード保護をかけている場合、正しいパスワードが入力されていることを確認してください。パスワードを忘れた場合は、リセットスイッチを押して工場出荷時の設定に復元してください (\*)。
- USB ケーブルを使って QGenie をコンピュータに接続している時に無線 LAN 機能を使うことはできません。
- QGenie を USB AC アダプターに接続している間、無線 LAN 機能を通して挿入された SD カードに読み込みや書き込みを行うことは可能です。しかしながら、接続された USB デバイスにアクセスすることはできません。

\* すべての QGenie の設定がリセットされるため、工場出荷時の設定に復元する前に設定を記録しておくことを推奨します。

### 2.5.2 ワイヤレス名 (SSID)

が2つ見つかりましたが、両方とも「QG」で始まるため、どちらを使えば良いのかわかりません。

- 近くで他のユーザーが別の QGenie を使用している可能性があります。情報ボタンを押して、OLED 画面に表示されるワイヤレス名を確認してください。そのワイヤレス名を選択します。

### 2.5.3 無線 LAN 接続が停止しました。

- QGenie を USB ケーブルを使ってコンピュータに接続している場合、無線接続が停止されて USB 接続が確立されます。
- 無線 LAN 接続から USB 接続に切り替わる時には、無線 LAN 経由でデータをコピーしていないことを確認してください。無線 LAN 経由でのデータコピー中に USB 接続に切り替わった場合、データが破損する恐れがあります。

- QGenie の名前や 無線セキュリティ 設定を変更した場合、モバイル機器の設定も変更する必要があります。

## 2.6 インターネット接続

### インターネット接続が確立できません。

#### 2.6.1 インターネット接続が確立できません。

- ご利用のネットワーク機器が有効になっており、ソフトウェア、ハードウェアおよびケーブルに不良がないことを確認してください。QGenie の無線 LAN が有効になっており、正しいユーザー名とパスワードを使用していることを確認してください。
- 環境条件 (2.4 GHz 信号の競合や、物理的な壁、干渉を含む QGenie とご利用のデバイスの間にある障害) が無線通信の範囲に不利な影響を及ぼすことがあります。QGenie の位置を変更するか、使用しているデバイスをもっと近くに移動してください。問題が解消しない場合には、QGenie を再起動するか、リセットスイッチを押して工場出荷時の設定に復元してください。\*
- QGenie が接続している無線 LAN に問題がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
- QGenie は SSID が隠された無線接続にはアクセスできません。
- QGenie は WPA-Enterprise または WPA2-Enterprise 式暗号化を使用したワイヤレスネットワークには接続できません。
- パブリック無線 LAN によっては、提供されている無線接続にアクセスするのに Web ブラウザを通してログイン名とパスワードを入力する必要がある場合があります。画面の指示に従うか、ホットスポットサービスプロバイダにお尋ねください。

\*QGenie 内の設定が全てリセットされるため、工場出荷時の設定に復元する前に設定を記録しておくことを推奨します。

## 2.7 その他

### インターネット接続用に、外部アクセスポイントとしてワイヤレスネットワーク (SSID) をいくつ登録できますか？

### ユーザーは何人までこの装置に同時接続できますか？

#### 2.7.1

インターネット接続用に、外部アクセスポイントとしてワイヤレスネットワーク (SSID) をいくつ登録することができますか？

- 外部アクセスポイントとして最大で6つの SSID が自動的に登録されます。
- 7つめのワイヤレスネットワークに接続した場合、最も使用頻度の少ないワイヤレスネットワークが削除されます。

#### 2.7.2 ユーザーは何人まで QGenie に同時接続できますか？

- 最大で20人のユーザーが QGenie に同時接続できます。

## 2.8 ファイル操作

### データの再生/表示

## データをコピーし、削除する

### 2.8.1 データの再生/表示

データを再生または表示できません。

データの再生または表示には時間がかかります。

Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか？

ファイルは Qfile では編集できません。

カメラロールにはアクセスできません (iOS デバイス)。

#### 2.8.1.1 データを再生または表示できません。

- SD カード/USB ストレージ が正常に機能していること、そして QGenie に接続されていることを確認します。
- 無線 LAN 経由で接続している場合、QGenie の無線 LAN インジケータのランプが青になっているかどうかを確認します。
- Qfile を使用するとき、アクセスするファイルの形式が QGenie でサポートされているかどうかを確認します。ファイル形式がサポートされていても、お使いのデバイスによっては、一部のファイルにアクセスできません。
- Android デバイスが QGenie に USB 経由で接続されている場合、そのストレージにはアクセスできません。
- Digital Rights Management (DRM) を使用しているファイルはサポートされていません。

#### 2.8.1.2 データの再生または表示には時間がかかります。

- 環境条件 (2.4 GHz 信号の競合や、物理的な壁、干渉を含む QGenie とご利用のデバイスの間にある障害) が無線通信の範囲に不利な影響を及ぼすことがあります。QGenie の位置を変えるか、使用しているデバイスをもっと近くに移動してください。

#### 2.8.1.3 Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか？

- このマニュアルの [「 Specifications \(仕様\) 」](#) -> [「 Software \(ソフトウェア\) 」](#) -> [「 Multimedia Formats \(マルチメディアフォーマット\) 」](#) を参照してください。

#### 2.8.1.4 ファイルは Qfile では編集できません。

- Qfile はファイル編集をサポートしていません。ただし、フォルダ名とファイル名を変更することはできます。

#### 2.8.1.5 カメラロールにアクセスできません (iOS デバイス)。

- 「 Settings (設定) 」 > 「 Privacy (プライバシー) 」 > 「 Photos (写真) 」 を開いて、Qfile からアクセスできるか確認してください。
- iOS 5 の場合は 「 Settings (設定) 」 > 「 Location Services (位置情報サービス) 」 を開いてください。

### 2.8.2 データをコピーし、削除する

データのコピーにかかる時間が長すぎます。

データを外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) にコピーすることができません。



## 外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) のデータを削除できません。

### 2.8.2.1 データのコピーにかかる時間が長すぎます。

- 環境条件 (2.4 GHz 信号の競合や、物理的な壁、干渉を含む QGenie とご利用のデバイスの間にある障害) が無線通信の範囲に不利な影響を及ぼすことがあります。QGenie の位置を変えるか、使用しているデバイスをもっと近くに移動してください。

### 2.8.2.2 データを外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) にコピーすることはできません。

- 外部ストレージが書き込み保護されているかどうかを確認してください。機能を無効にすると、外部ストレージにコピーできます。
- 外部ストレージに十分な空き容量がない可能性があります。不要なデータを削除して再度お試しください。
- Android 4.4 の場合、外部 SD カードにファイルをコピーすることはできません。
- iOS デバイスの場合、次の設定を確認してください。  
iOS 5: 設定 - 位置サービス、Qfile が許可されているかどうかを確認します。  
iOS 6 (およびそれ以降): 設定 - プライバシー - 写真、Qfile からのアクセスが許可されているかどうかを確認します。

### 2.8.2.3 外部ストレージ (SD カード、USB ストレージ、モバイルデバイス) のデータを削除できません

- 削除されたファイルは復元できません。バックアップを確認していない場合、大切なファイルを削除しないでください。
- 外部ストレージが書き込み保護されているかどうかを確認してください。その機能を無効にすると、そのコンテンツを削除できます。
- Android 4.4 の場合、外部 SD カードのファイルは削除できません。
- iOS デバイスの場合、カメラロールのコンテンツを Qfile で削除することはできません。カメラロールから削除します。

## 2.9 コンピュータへの USB 接続

### QGenie を USB ケーブルを使ってコンピュータに接続していますが認識されません。

### バッテリー表示ランプがオレンジ色に点灯します。

### PC に接続後、無線 LAN 接続が停止します。

#### 2.9.1 QGenie を USB

ケーブルを使ってコンピュータに接続していますが認識されません。

- USB ケーブルが正しく接続されているか確認し、付属品の USB ケーブルのみを使ってください。
- USB ハブや延長ケーブルを使用している場合、正しい動作は保証できません。

#### 2.9.2 バッテリーの表示ランプがオレンジ色になります。

- QGenie が USB 経由でコンピュータに接続されている場合、バッテリーが充電され表示ランプがオレンジ色になります。
- 充電が完了すると表示ランプは緑色に変わります。

### 2.9.3 PC に接続後、無線 LAN 接続が停止します。

- QGenie を USB 経由でコンピュータに接続すると、無線接続が停止され USB 接続が確立されます。
- 無線 LAN 接続から USB 接続に切り替わる時には、無線 LAN 経由でデータをコピーしていないことを確認してください。無線 LAN 経由でのデータコピー中に USB 接続に切り替わった場合、データが破損する恐れがあります。

## 2.10 Qfile

[Qfile をインストールできません。](#)

[Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか？](#)

[Qfile を使用してファイルを編集できません。](#)

[「Qfile」のバージョンはどこで確認できますか？](#)

[Qfile から QGenie にログインできません](#)

### 2.10.1 Qfile をインストールできません。

- デバイスに十分な空き容量がない可能性があります。空き容量を確認してください。

### 2.10.2 Qfile ではどのようなファイル形式がサポートされていますか？

- このマニュアルの [「Specifications \(仕様\)」->「Software \(ソフトウェア\)」->「Multimedia Formats \(マルチメディアフォーマット\)」](#) を参照してください。

### 2.10.3 Qfile を使用してファイルを編集できません。

- Qfile はフォルダー名とファイル名の変更以外のファイル編集をサポートしていません。

### 2.10.4 Qfile のバージョンはどこで確認できますか？

- Qfile のサーバーリストメニュー画面の左上隅にある (i) を選択してください。



#### **2.10.5 Qfile から QGenie にログインできません**

以下を確認してください。

- 1.管理パスワードがあっているか。パスワードを忘れた場合には QGenie の設定をリセットすることができます。
- 2.ゲストログインが許可されているか。ゲストアカウントは「Setting(設定)」内で有効にすることができます。”

#### **2.11 myQNAPcloud**

### **myQNAPcloud に QGenie を登録できません。**

#### **2.11.1 myQNAPcloud に QGenie を登録できません。**

以下を確認してください。

- 1.QGenie がインターネットに接続されているか。
- 2.myQNAPcloud の ID およびパスワードは正しいか。
- 3.デバイス名が他のユーザーに既に使われていないか。
- 4.ルーターが UPNP サービスをサポートしているか。

#### **2.12 追加情報**

### リセットについて

QGenieのリセット方法

## QGenieの無線LANのセキュリティ設定

適切な無線セキュリティを設定するための提案

### 2.12.1 リセットについて

リセットスイッチはどのように使うのですか？

- 工場出荷時の設定に復元するには、スイッチを3秒以上押し続けてください(QGenieがWi-Fi共有モードの場合にのみ実行可能です)。

### 2.12.2 QGenieの無線LANのセキュリティ設定

無線セキュリティ設定は必要ですか？

この装置の無線LANには、どのようなセキュリティ設定がありますか？

パスワードを忘れました。

#### 2.12.2.1 無線セキュリティ設定は必要ですか？

- ワイヤレス機器に対するセキュリティは非常に重要です。適切なセキュリティが施されていない場合、QGenieのコンテンツやサービスに誰でも公然とアクセスできるようになってしまいます。QNAPでは適切なセキュリティの設定を強く推奨しています。

#### 2.12.2.2 QGenieで利用できる無線セキュリティ設定には何がありますか？

- WEP、WPA、WPA2を選択いただけます。安全性がより高いWPA2を強く推奨しています。

#### 2.12.2.3 パスワードを忘れました。

- 上記の "[「How do I use the Reset Switch \(リセットスイッチの使い方\)」](#)を参照してください。"

### 2.13 システムソフトウェアのアップデート

この装置におけるシステムソフトウェアのアップデートについて

ファームウェアをダウンロードできる場所について。

QGenieがファームウェアのアップデートに失敗した場合。

アップデートの適用に失敗した場合の確認事項。

#### 2.13.1 QGenieのソフトウェア更新について

- 新しい更新プログラムには重要なセキュリティ修正プログラムが含まれている場合があるため、利用可能となり次第、適用することが推奨されます。
- 最新のシステムソフトウェアとファームウェアがQNAPのウェブサイト [にあります。](#)
- アプリのステータスを定期的にチェックし、最新のバージョンを使用していることを確認してください。
- QfileはQGenieに接続するとファームウェアのバージョンをチェックします。

#### 2.13.2 QGenieがファームウェアのアップデートに失敗した場合。

- ファームウェアをアップデートするには、QGenieのバッテリーが60%以上残っている必要があります(現在の残量レベルを表示するには、QGenieの情報ボタ

- ンを押してください)。
- アップデート中に、リセットスイッチを押したり、電源スイッチをスライドしたりしないでください。
- アップデート中は以下を実行しないでください。
  - SD カードまたは USB デバイスの挿入または取り外し
  - USB 経由でのコンピュータ接続
  - USB AC アダプターの接続または切断
  - 他のユーザーからのアクセスの許可
- 画面には現在のアップデート状況が表示されます。
- 安定したネットワーク環境がある場合にのみ、ファームウェアをアップデートしてください。
- QGenie が起動に失敗した場合は、[復元モードを使用してください](#)。

## 2.14 USB ケーブル

### QGenie に USB ケーブルを接続できません。

#### 2.14.1 QGenie に USB ケーブルを接続できません。

- USB ケーブルの両端にあるプラグはそれぞれ異なります。それぞれのポートに正しいプラグを接続してください。
- QGenie に付属されていた USB ケーブルのみを使用してください。
- iOS デバイスに接続する場合は、ご使用のデバイスに付属されていた専用ケーブルを使用してください。

## 3. カスタマーサポート

QGenie の利用時にエラーまたは何らかの問題が発生した場合、以下のように操作してください。

1. ユーザーマニュアル [とクイックインストールガイドをお読みください](#)。ケーブルとデバイスの接続と製品設定を再度チェックしてください。
  2. [QGenie の最新ファームウェアをダウンロードし](#)、もう一度試してください。
  3. QNAP ウェブサイトの [トラブル解決](#) セクションで解決策が見つかる場合もあります。
  4. 該当する解決策や回答がないか、[QNAP フォーラム](#) をチェックします。フォーラムに質問を投稿することもできます。
  5. QNAP ウェブサイトの [オンラインサポート書式](#) で質問を報告します。
  6. ハードウェアに欠陥がある場合、それが保証の範囲内であれば、販売店に返却し、交換か修理を要求できます。
- 以上の手順でも問題が解決されない場合、QNAP にサポートを要請してください。

オンラインサポート要求は [QNAP ヘルプデスクから送信してください](#)。できる限り速やかに返信いたします。

## 米国とカナダ

技術サポートの受付時間: 07:00–18:00 (太平洋時間)、月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +1-909-595-2782

ストレージ製品担当にご連絡いただく場合、909-595-2782 までお電話ください。

## 台湾 (本社)

09:30-18:30 月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +886-2-2641 2000 内線 6

## 中国

09:30-18:30 月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +86-10-62682131

## ドイツ

09:00-17:00 月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +49-89-381562991

## オランダ

08:30-17:30 月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +31(0)107600830

## 英国

08:30-16:30 月曜日 - 金曜日  
サービスホットライン: +44(0)2036-081-969

## ロシア

9:00-18:00 (モスクワ時間)  
サービスホットライン: +7 (495) 587 76 20

#### 4. GNU 一般公衆利用許諾契約書

### GNU 一般公衆利用許諾契約書

バージョン 3、2007 年 6 月 29 日

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>

本ライセンス文書の忠実な複製と配付は許可されていますが、内容の変更は許可されていません。

はじめに

GNU 一般公衆利用許諾書は、ソフトウェアおよびその他の著作物について、フリーかつコピーレフトを主張するライセンスです。

ソフトウェアやその他の実用的な著作物を対象とするライセンスの大半は、著作物を多くの者で共有したり著作物を変更する自由を奪うべく作られています。これに対し、GNU 一般公衆利用許諾書は、プログラムの全てのバージョンを共有し変更可能の自由を保証すること、すなわち、ソフトウェアがユーザ全てにとってフリーであり続けることの保証を目的としています。フリーソフトウェア財団は、私たちのソフトウェアの大半に GNU 一般公衆利用許諾書を適用しています。他の著作物についても、作成者が私たちと同様の方法で著作物を公開するのであれば、GNU 一般公衆利用許諾書を適用することが可能です。あなたのプログラムにも適用することができます。

私たちはフリーソフトウェアの自由性に言及しているのであって、その価格は問

題ではありません。私たちの一般公衆利用許諾書は、フリーソフトウェアの複製物を配付すること（有償も可）、ソースコードを受領するか後から入手できること、ソフトウェアを修正すること、またはその一部を別のフリーなプログラムで利用できること、そしてこれらが可能であることをあなたが知り得ること、が確保されるよう構成されています。

あなたの権利を守るため、他者が上記のあなたの権利を否定したり、権利の放棄を要求してくるのを防ぐ必要があります。そのために、あなたがソフトウェアの複製物を配付または改変する場合、あなたに対して一定の責任が発生します。それは、他者の自由を尊重するという責任です。

例えば、本許諾書が適用されるプログラムの複製物を配付する場合、無償・有償に関わらず、あなたは複製物の受領者に対して、自身が受け取ったものと同じ自由を承継しなければなりません。あなたは、彼らもまた、ソースコードを受領するか後から入手できることを保証しなければなりません。そしてあなたは、彼らがこれらの権利について知ることができるよう本許諾書の条項を彼らに明示しなければならないのです。

**GNU GPL**を利用する開発者は、あなたの権利を2段階手順によって保護します。その手順とは、（1）ソフトウェアに関する著作権を主張し、（2）ソフトウェアを複製、配付、または改変する法的な許諾をするものである本許諾書をあなたに提示する、というものです。

開発者と作成者を保護するため、**GPL**は、このフリーソフトウェアには何らの保証もなされないことを明確にしています。ユーザと開発者、両者の便宜のため、**GPL**は、改変されたバージョンには改変された旨を表記するよう要求しており、これにより、改変されたバージョンの問題が、誤って以前のバージョンの作成者に帰責されることがないようにしています。

一部の機器は、メーカーは内蔵ソフトウェアを改変してインストールや実行することができるにもかかわらず、ユーザには不可能なように設計されています。これは「改変が可能な場合にユーザがソフトウェアを改変できる自由を守る」という**GPL**の目的と根本的に相容れません。このような技術の濫用は、往々にして個人向け製品分野で見られるものですが、そういったものこそ、当該の行為が最も容認しがたい分野です。そこで私たちは、**GPL**の本バージョンで、そうした製品に対する上記の行為を禁止するようにしました。もし同様の問題が他の領域にまで拡大してきた場合には、ユーザの自由を守るために必要あらば、**GPL**の将来のバージョンにおいてこの規定を他領域にも拡張すべく準備を整えています。

最後に、すべてのプログラムはソフトウェア特許によって絶え間なく脅かされています。およそ国家は、特許が汎用コンピュータにおけるソフトウェアの開発と利用を制限することを認めるべきではありません。しかし、そういったことを認めてしまっているところでは、私たちは、特許がフリーなプログラムに適用され、実質的にプログラムがプロプライエタリにされてしまうという特別な脅威を回避したいと考えています。こうした事態を防ぐために、**GPL**では、プログラムを非フリーなものにするために特許を用いることはできない、ということを保証しています。

複製、配付、改変に関する詳細利用条件は以下のとおりです。

利用条件

#### 0. 定義

「**The License**（本許諾書）」とは、**GNU**一般公衆利用許諾書のバージョン3をいう。

本許諾書において「**Copyright**(著作権)」とは、著作権法だけでなく、半導体マスク等に適用される著作権法類似の法（に基づく権利）も意味する。

「**The Program**(本プログラム)」とは、著作権により保護されており、本許諾書に基づいてライセンスされる著作物をいう。各ライセンシーを「**you**(あなた)」という。「**Licensees**(ライセンシー)」及び「**recipients**(受領者)」は、個人でも組織でもよい。

著作物の「**modify**(改変)」とは、著作権の許諾を受けることを要する態様で著作物の全体または一部を複製又は翻案する行為をいう。ただし、完全に同一の複製物を作成する行為は除く。改変後の著作物は、元の著作物の「**modified version**(改変バージョン)」、または、元の著作物に「**based on**(基づく)」著作物という。

「**covered work**(対象著作物)」とは、改変されていない本プログラム及び本プログラムに基づく著作物をいう。

著作物の「**propagate**(プロパゲート)」とは、準拠法国の著作権法上、権利者の許諾を得ずして行った場合に、権利侵害に基づく直接又は間接の責任を負うこととなる行為をいう。ただし、著作物をコンピュータ上で実行する行為、及び私的な改変行為を除く。プロパゲートは、複製、配付(改変の有無を問わない)、及び公衆への利用可能化を含む。さらに、国によっては他の行為も含む場合がある。

著作物の「**convey**(コンベイ)」とは、プロパゲートに当たる行為のうち第三者が複製すること又は複製物を受領することを可能にする行為をいう。ただし、コンピュータネットワーク上での単なるやりとりであり、複製物の伝送を伴わない場合は、コンベイに当たらない。

インタラクティブなユーザインターフェースにより「**Appropriate Legal Notices**(適切な法律上の告知事項)」を表示する場合、当該インターフェースは、(1)著作権に関する適切な告知を表示すること、並びに(2)著作物に関して何らの保証もなされないこと(ただし、別段の定めにより保証がなされる場合を除く)、ライセンシーは著作物を本許諾書の条件に基づいてコンベイしうることを、及び本許諾書の内容を参照する方法を、容易かつ明確に読み取ることのできる機能を含むものとする。当該インターフェースがメニューのようなユーザコマンドやオプションのリストを表示するもの場合は、上記の項目が当該リストに明確に示されていれば、条件を満たすものとする。

#### 1. ソースコード

著作物の「**source code**(ソースコード)」とは、著作物を改変するのに好ましい形式(**form**)をいう。「**object code**(オブジェクトコード)」とは、ソースコード以外の形式すべてをいう。

「**Standard Interface**(標準インターフェース)」とは、標準化団体として認められている組織によって策定された公式の標準規格のインターフェース、及び特定のプログラミング言語用のインターフェースであって、当該言語を利用する開発者の間で広く用いられているものをいう。

実行可能な著作物の「**System Libraries**(システムライブラリ)」とは、(a)主要コンポーネントのパッケージに通常含まれている、主要コンポーネント以外の著作物、並びに(b)著作物を主要コンポーネントにおいて利用可能とするためにのみ機能するもの、及び一般の利用者がソースコード形式で標準インターフェースを実装できるようにするためにのみ機能するものすべてをいう。ただし、全体としての当該著作物そのものは除く。ここでいう「**Major Component**(主要コンポーネント)」とは、実行可能な著作物が動作する特定のオペレーティングシステムの主要な必須コンポーネント(カーネルやウィンドウシステムなど)、著作物の生成に用いられるコンパイラ、著作物を実行するために用いられるオブジェクトコードインタプリタをいう。

オブジェクトコード形式の著作物の「**Corresponding Source**(対応ソース)」とは、当該著作物の生成、インストール、(実行可能な著作物に関しては)オブジェクトコ



ードの実行、及び著作物の改変に必要とされるソースコードのすべてをいう。これらの作業を制御するためのスクリプトも「対応するソース」に含まれる。ただし、当該著作物のシステムライブラリ、及び当該著作物以外の汎用ツール又は一般に利用可能なフリープログラムであって改変することなく上記の行為に用いられるものは含まない。例えば、対応ソースには、当該著作物のソースファイルと連携するインターフェース定義ファイル、並びに、共有ライブラリ、及び、動的リンクされるサブプログラムであって、当該著作物が特に必要とするように設計されているもの（例えば、サブプログラムと当該著作物の間の緊密なデータ通信又は制御フローに関するようなもの）のソースコードを含む。

対応ソースには、対応ソースから自動的に生成できるものを含む必要はない。

ソースコード形式の著作物の対応ソースは、当該著作物そのものである。

## 2. 許諾の基本事項

本許諾書に基づき許諾されるすべての権利は、本許諾書の定めに従うことを条件として、本プログラムの著作権の存続する期間許諾され、取消不能とする。本許諾書は、本プログラムを改変することなく実行することについて、無制限の許諾を明示的に認める。対象著作物の実行により得られた出力結果について、出力された内容が保護された著作物に該当する場合にのみ本許諾書が適用される。本許諾書は、著作権法の定めるフェアユースまたはそれと同等の権利を認める。

あなたに対するライセンスが有効である限り、対象著作物を実行すること、及びコンベイすることなくプロパゲートすることは、無条件に認められる。第三者にあなた専用の改変を行わせることのみを目的とする場合、又は第三者に著作物を実行するための機能を提供させることのみを目的とする場合、あなたは本件許諾書適用著作物を当該第三者にコンベイすることができる。ただし、あなたが著作権を管理していない部分のコンベイに関しては、本許諾書の定めに従わなければならない。したがって、当該第三者、すなわちあなたのために対象著作物を作成または実行する者は、あなたの管理監督下において、あなたとの関係の範囲外ではあなたが著作権を有する著作物の複製を禁止することを条件として、専らあなたのためにのみ上記の行為を行わなければならない。

上記以外の場合におけるコンベイは、下記に定める条件の下でのみ許可される。再許諾は、本第10条により不要であることから、認められていない。

## 3. 技術的保護手段の回避を禁ずる法律に対するユーザの法的権利の保護

いかなる対象著作物も、WIPO著作権条約（1996年12月20日採択）第11条の定める義務を充足する準拠法、及びそれに類する技術的保護手段の回避を禁ずる法における「技術的保護手段」とは見なされないものとする。

あなたが対象著作物をコンベイする場合、あなたは、本許諾書に基づいて当該対象著作物に関する権利を行使することにより回避行為に影響を与える範囲において、技術的保護手段の回避を禁止する法的権利を放棄するものとする。また、あなたは、技術的保護手段回避の禁止に関わるあなた又は第三者の法的権利を行使する手段として、著作物の動作又は改変を制限する意図を放棄するものとする。

## 4. 忠実な複製物のコンベイ

あなたは、あなたが受領した本プログラムのソースコードと完全に同一の複製物を、いかなる媒体を用いるかにかかわらず、コンベイすることができる。ただし、著作権に関する適切な告知事項を個々の複製物に目立つように適切な方法で掲載すること、本許諾書及び本第7条に従い追加された非許可条項のすべてが当該複製物に適用される旨の告知をそのまま保持すること、いかなる保証もなされない旨の告知をそのまま保持すること、及び本プログラムと共に本許諾書を受領者に提供することを条件とする。

あなたは、複製物をコンベイする際、それぞれの複製物に対していかなる対価を

も課することができ、また無料でコンベイすることもできる。

#### 5. 変更されたバージョンのソースのコンベイ

あなたは、以下の条件のすべてを満たすことを条件として、本プログラムに基づく著作物、又は本プログラムに基づく著作物を本プログラムから作成するための変更点を、本第4条の定めに従って、ソースコード形式でコンベイすることができる。

- a) あなたが変更したこと、及びその日付を変更された著作物に目立つように記載すること。
  - b) 変更された著作物が本許諾書及び本第7条に従って追加されたすべての条件に基づいて公開されていることを、変更された著作物にはつきり記載すること。この条件は、告知をそのまま保持することを定めた本第4条を修正するものである。
  - c) 変更された著作物の複製物を保有することとなった何人に対しても、変更された著作物の全体を一体として、本許諾書に基づきライセンスすること。したがって、変更された著作物の全体、及びそれがどのようにパッケージされているかに関わらず変更された著作物を構成する要素のすべてについて、本許諾書及び本第7条に基づいて追加されたすべての条項が適用されることになる。本許諾書は、上記以外の方法で変更された著作物をライセンスすることを認めない。ただし、あなたが本許諾書とは別に別途許諾を受けている場合は、当該許諾まで無効とするものではない。
  - d) 変更された著作物がインタラクティブなユーザーインターフェースを有する場合、当該インターフェースにより適切な法律上の告知事項を表示すること。ただし、本プログラムのインタラクティブなインターフェースが元々あって、それが法律上の適切な告知事項を表示するものでない場合は、変更された著作物においてそれを表示するようにする必要はない。
- 対象著作物と他の別個独立の著作物を一つの記録媒体又はコンベイに用いる媒体の中に集めたものは、「**aggregate (集積物)**」という。ただし、集積物はその性質上当該対象著作物の拡張版でないこと、より大規模な一つのプログラムを構成するために組み合わせられているのでないこと、並びに集積行為及び集積物についての著作権が、個々の著作物の許諾の範囲を超えて、当該集積物の利用者のアクセス又は法的権利を制限するために用いられないことを要する。対象著作物を集積物に含めたとしても、当該集積物の他の部分に本許諾書が適用されることはない。

#### 6. ソース形式以外でのコンベイ

あなたは、本第4条及び第5条の定めに従い、対象著作物をオブジェクトコード形式でコンベイすることができる。ただし、本許諾書の定めに従って、機械読み取り可能な対応ソースを以下の何れかの方法でコンベイすることを要する。

- a) オブジェクトコードを物理的な製品（コンベイに用いる物理的な媒体を含む）に格納又は組み込んでコンベイする場合、対応ソースをソフトウェアのやりとりで一般的に用いられる耐久性のある物理的媒体に固定して一緒にコンベイすること。
- b) オブジェクトコードを物理的な製品（コンベイに用いる物理的な媒体を含む）に格納又は組み込んでコンベイする場合、最低3年間又は当該製品のモデルの補修用部品又はカスタマーサポートを提供している間のいずれか長い方の期間、オブジェクトコードを保有する者すべてに対して、請求に応じて、(1) 当該製品に含まれるソフトウェアのうち本許諾書が適用されるソフトウェアすべてについて、ソフトウェアのやりとりで一般的に用いられる耐久性のある物理的媒体を使用して、物理的なコンベイに要する合理的なコストを超えない価格で対応ソースをコンベイすること、又は(2) ネットワークサーバから対応ソースを複製するためのアクセスを無料で提供することを記載した書面を添付すること。
- c) 請求があった場合に対応ソースを提供することを記載した書面を添付して、オブジェクトコードをコンベイすること。ただし、この方法は、あなたが本第6条b項に定める条件に従ってオブジェクトコードを受領した場合にのみ、予備的かつ非商業的に許される。
- d) オブジェクトコードを所定の場所にアクセスして複製することによりコンベ

イする場合、対応ソースについても同じ場所から同様の方法でアクセスできるよい  
うにすること。ただし、オブジェクトコードのコンベイは無償でもよい。  
が、対応ソースへのアクセスに追加的な対価を課すことはできない。受領者  
者に対して、対応ソースをオブジェクトコードと一緒に複製する義務づけ  
る必要はない。オブジェクトコードをネットワークサーバにアクセスして複製す  
る場合、対応ソースは同等の複製機能をサポートする他のサーバ（あなた又は第  
三者が運用するもの）上にあっても良い。ただし、その場合は、対応ソースのあ  
る場所を示す記載をオブジェクトコードに隣接する箇所に明示しておかなければ  
ならない。いかなるサーバが対応ソースをホスティングするかに関わらず、これ  
らの条件を充足する義務が存続している限り、あなたは、対応ソースにアクセス  
可能なよう保証する義務を負う。

e) オブジェクトコードをピア・ツー・ピア伝送を用いてコンベイする場合、本  
第6条d項に従って当該オブジェクトコード及び対応ソースが無償で公開されてい  
る場所を他のピアに対して通知しておくこと。  
オブジェクトコードの分離可能な部分であって、システムライブラリとしてその  
ソースコードが対応ソースから除外されている場合は、当該分離可能な部分は、  
オブジェクトコードの著作物のコンベイに含めなくともよい。

「User Product(ユーザ製品)」とは、(1)「consumer product(コンシューマ製品)」、  
すなわち、個人、家族により又は家庭で通常使用される個人用の有体物、又は  
(2)住宅に設置することを目的として設計又は販売されるもののすべてをいう。  
ある製品がコンシューマ製品に該当するか否か疑義がある場合は、コンシューマ  
製品に該当するものとする。また、特定のユーザが保有する特定の製品につい  
て、「normally used(通常使用される)」とは、その製品が属する分野における典型的  
又は一般的な使用方法を意味し、当該特定のユーザが置かれた状況、または当該  
特定のユーザが当該製品を実際にどのように使用しているかという事実、又はど  
のように使用することが予定されているかということには関わらない。当該製品  
に業務用、工業用または非コンシューマ的な利用形態がある場合でも、当該用途  
が当該製品の唯一の重要な利用形態でない限り、当該製品はコンシューマ製品に  
該当する。

ユーザ製品の「Installation Information(インストール用情報)」とは、ユーザ製品に組み  
込まれている対象著作物の対応ソースを改変して作成した改変バージョンを当該  
ユーザ製品にインストールし実行するために必要とされる手法、手順、認証キー  
及びその他の情報のすべてをいう。当該情報は、改変されたオブジェクトコード  
の継続的な動作が、改変が為されたということによってのみ拒否されたり妨害さ  
れることが決してないことを保証するのに十分なものでなければならない。

オブジェクトコードの著作物をユーザ製品に組み込んで、あるいはユーザ製品と  
共に、又はユーザ製品で使用するためのものとしてコンベイする場合であって、  
当該ユーザ製品の所有及び使用にかかるとされる権利を永久に又は一定期間譲渡する取引  
の一部として行われる場合は、取引の法的類型に関わらず、本条に基づいてコン  
ベイされる対応ソースは、インストール用情報と共にコンベイされなければならない。  
ただし、あなた及びいかなる第三者もオブジェクトコードの修正版を当該  
ユーザ製品にインストールすることができない場合（例えば、著作物がROMに格  
納されている場合）は、この条件は適用されない。

インストール用情報の提供に関する条件には、受領者が改変もしくはインストール  
した著作物、又は当該著作物が改変もしくはインストールされたユーザ製品にな  
る対して、保守サービス、保証、又はアップデートを提供し続けることは含まれな  
い。改変自体がネットワークの運用に重大かつ有害な影響をもたらす場合、もし  
くはネットワーク上の通信に関する規約又はプロトコルに違反する場合には、  
ネットワークアクセスの拒否は許される。

本条に基づく対応ソースのコンベイ及びインストール用情報の提供は、文書化さ  
れ一般に公開されているフォーマットにより（かつソースコード形式で一般に利  
用可能な実装方法で）なされなければならない。この場合、これらの圧縮展開、

読み込み、又は複製に特別なパスワードやキーを必要としてはならない。

## 7. 追加的許諾条項

「**Additional permissions**(追加的許諾条項)」とは、本許諾書の定める条項の例外を定めることにより、本許諾書の条項を補足する条項をいう。追加的許諾条項が本プログラムの全体に適用される場合、準拠法の下で有効とされる限り、追加的許諾条項は本許諾書に含まれているものとして（訳注：つまり本許諾書と一体のものとして）扱われるものとする。追加的許諾条項が本プログラム的一部分にのみ適用される場合は、当該部分に関しては当該追加的許諾条項に基づいて別途利用可能であるが、本プログラム全体については、追加的許諾条項の内容いかに関わらず、本許諾書が適用される。

対象著作物をコンベイする場合、あなたは、追加的許諾条項のいかなる条項についても、当該著作物の全体又は一部から削除することができる（追加的許諾条項は、所定の改変がなされた場合は当該追加的許諾条項自体を削除するように規定することもできる）。あなたは、あなたが対象著作物に加えた部分であって、あなたが著作権を許諾できる部分について、追加的許諾条項を定めることができる。

本許諾書の他の規定に関わらず、対象著作物にあなたが加えた部分については（当該部分の著作権者が認める場合）、本許諾書の条項に加え、以下の条項を追加することができる。

- a) 本第15条および第16条の定めとは異なる内容の保証の否認又は責任の限定
  - b) 追加した部分に含まれている、特定の合理的な法律上の告知事項又は作成者の記載、もしくは追加した部分を含む著作物によって表示される適切な法律上の告知事項中の同様の情報を、そのまま維持するよう要求すること
  - c) 追加した部分の作成者について虚偽又は不正確な表示をすることを禁ずること、もしくは、改変されたバージョンにオリジナルのバージョンとは異なっていることを合理的な方法で表示するよう要求すること
  - d) 追加した部分のライセンサー又は作成者の名前を、宣伝目的で利用することを制限すること
  - e) 商品名、商標又はサービスマークの使用に関して、商標法に基づく権利の許諾を拒むこと
  - f) 追加した部分（又は改変されたバージョン）をコンベイする者が受領者に対する契約上の責任を負ってコンベイする場合、ライセンサー及び著作者に直接的に課される責任の免除を要求すること
- 上記以外の追加的条項を定めることは許されず、それらの追加的条項は、本第10条が意味するところの「**further restrictions**(追加的制限)」とみなされる。あなたが受領した本プログラム又はその一部に、本許諾書に加えて追加的制限が適用される旨が記載されている場合、あなたは当該条項を削除することができる。追加的制限を含むライセンス文書が本許諾書に基づく再許諾又はコンベイを認めている場合、あなたは当該ライセンス文書の条項が適用される部分を対象著作物に追加することができる。ただしその場合、追加的制限は当該再許諾又はコンベイにおいては無効とされる。

本条に基づいて条項を対象著作物に追加する場合、あなたは、ソースファイル中に、当該ファイルに適用される追加的条項の記載、又は適用される条項を参照できる場所を示す記載を含めなければならない。

追加的条項は、それが本許諾書で認められるものであるか否かにかかわらず、本許諾書とは独立したライセンス文書の形式であってもよいし、本許諾書の例外規定として記述されるものであってもよい。ただし、本条の上記の定めは、いずれの場合にも適用される。

## 8. 終了

あなたは、本許諾書で明示的に定められている場合を除いて、対象著作物をプロ

パゲートまたは改変することができない。それ以外に対象著作物をプロパゲートまたは改変しようとする試みはすべて無効であり、そのような試みをした場合は、本許諾書に基づくあなたの権利（本第11条第3パラグラフに基づいて許諾された特許ライセンスを含む）は自動的に消滅するものとする。

ただし、本許諾書に違反する行為のすべてが中止された場合、特定の著作権者からあなたに供与されたライセンスは、（a）当該著作権者が当該ライセンスを最終的に終了させることを明示的に述べた間、暫定的に回復するものとし、（b）違反行為の中止後60日以内に、当該著作権者があなたに対して合理的な手段で違反の事実を告知しなかった場合は、恒久的に回復するものとする。

また、ある著作権者があなたに対して合理的な手段で違反の事実を告知した場合において、それが本許諾書の違反（いかなる著作物に関するものであるかを問わない）に関する当該著作権者からの最初の告知であり、かつ当該告知受領後30日以内に違反を是正した場合は、当該著作権者からあなたに供与されたライセンスは、恒久的に回復するものとする。

本条に基づいてあなたの権利が消滅した場合でも、本許諾書に基づいてあなたから複製物又は権利を受領または承継した者に対する許諾は、消滅しないものとする。あなたの権利が消滅し、恒久的に回復されないこととなった場合、同一のライセンス対象に対する新たなライセンスを本第10条に基づいて取得することもできなくなる。

#### 9. 著作物の受領等に関する承諾の不要性

本プログラムの受領又は実行については、本許諾書の承諾を必要としない。ピ・ア・ツー・ピア伝送を使用して本プログラムを受領することに伴って生ずる対象著作物のプロパゲートについても、同様に承諾を必要としない。しかしながら、あなたに対して対象著作物のプロパゲート又は改変を許諾するものは、本許諾書において他にない。これらの行為は、本許諾書を承諾しない限り、著作権を侵害することとなる。したがって、対象著作物を改変又はプロパゲートすることにより、あなたは当該行為を行うために本許諾書を承諾する旨の意思表示したことになる。

#### 10. 下流の受領者に対する自動的な許諾

対象著作物の受領者は、あなたが対象著作物をコンベイする都度、オリジナルのライセンサーから、本許諾書に基づいて当該著作物を実行、改変、及びプロパゲートする許諾を自動的に得るものとする。なお、あなたは、第三者に本許諾書の定めを遵守させる義務を負わない。

「entity transaction(企業体取引)」とは、事業譲渡、会社分割、又は合併に関する取引をいう。企業体取引の結果として対象著作物のコンベイが生じた場合、当該著作物を受領した当事者は、譲渡当事者が本条前項に基づいて保有していた又は保有し得た許諾に係るすべてを承継するものとする。また、譲渡当事者が当該著作物の対応ソースを保有していた場合、又は合理的な努力により入手できる場合、受領当事者は、当該対応ソースを保有する権利もまた承継するものとする。

あなたは、本許諾書に基づいて許諾され又は確認された権利の行使に対して、本許諾書が規定する以上のさらなる制限を課してはならない。例えば、あなたは、本許諾書に基づく権利の行使に対してライセンス料、ロイヤリティその他の対価を課してはならない。また、あなたは、本プログラムの全体又はその一部の作成、使用、販売、販売の申し出又は輸入が特許を侵害することを理由として、訴訟（交差請求及び反訴を含む）を提起してはならない。

#### 11. 特許

「contributor(コントリビュータ)」とは、本プログラム又は本プログラムに基づく著作物の使用を、本許諾書の下で許諾することのできる権利を保有する著作権者をいう。当該許諾された著作物を、当該コントリビュータによる「contributor version

(コントリビュータ・バージョン)」という。

コントリビュータの保有に係る「**essential patent claims(必須特許クレーム)**」とは、当該コントリビュータのコントリビュータ・バージョンに対して本許諾書で許諾されている行為を行った場合、すなわち作成、使用又は販売した場合に侵害することとなる特許クレームのすべてをいう。当該特許クレームは、当該コントリビュータが保有しているもの及び支配権限を有しているものを含み、かつ取得済みのもの及び将来取得するものを含む。ただし、コントリビュータ・バージョンを他者が改変した結果、侵害されることとなる特許クレームは含まない。本項の定義において、「**control(支配権限)**」は、本許諾書の条件を充たす態様で特許の再許諾をする権利も含むものとする。

各コントリビュータはあなたに対して、コントリビュータ・バージョンの内容の作成、使用、販売、販売の申し出、又は輸入、並びに実行、改変、又はプロパゲートについて、当該コントリビュータ・バージョンで実施されている必須特許クレームを対象とする、非独占的かつ無償の全世界における特許ライセンスを許諾するものとする。

以下の3つのパラグラフにおいて「**patent license(特許ライセンス)**」とは、いかなる名称であるかを問わず、特許権を行使しないという明示的な契約又は誓約（特許の明示的な実施許諾、または特許侵害訴訟を提起しないことに合意する非係争条項等）のすべてをいう。当該特許ライセンスを「**grant(許諾する)**」とは、相手方当事者に対して特許権を行使しない旨の契約を締結し又は誓約をすることをいう。

特許ライセンスに依拠していることを知りながら対象著作物をコンベイする場合において、当該著作物の対応ソースが公衆が利用可能なネットワークサーバ又は他の容易にアクセス可能な手段を通じて、無料でかつ本許諾書の定めに基づいて複製可能な状況におかれていない場合、あなたは、(1) 対応ソースを上記の方法で利用可能とすること、(2) あなた自身、当該著作物に関して当該特許ライセンスにより得られる利益を享受しないようにすること、又は(3) 本許諾書の定め適合する条件で、下流の受領者にも特許ライセンスが適用されるようにすること、の何れかの措置をとらなければならない。ここで「**Knowingly relying(特許ライセンスに依拠していることを知りながら)**」とは、ある国において特許ライセンスなくして対象著作物をコンベイし、又は受領者が当該著作物を使用すると、当該国における特定の特許権を侵害することとなること、及び当該特許が有効であると信ずべき合理的理由があることについて、あなたが現実に知っていることをいう。

あなたが取引又は取り決めに基づいて、もしくはそれに関連して、対象著作物をコンベイし又はコンベイされた対象著作物を入手してプロパゲートする場合において、当該著作物を受領した当事者の一部に対して、当該著作物を使用、プロパゲート、改変、またはコンベイする権限を供与する特許ライセンスを許諾する場合、当該特許ライセンスは、当該著作物及び当該著作物に基づく著作物の受領者のすべてに対して、自動的に拡大されるものとする。

特許ライセンスが「**discriminatory(差別的)**」であるとは、本許諾書の下で認められている権利が特許ライセンスで許諾される範囲に含まれていない場合、本許諾書の下で認められている権利の行使を禁止している場合、又は本許諾書の下で認められている権利の不行使を条件として課している場合をいう。あなたがソフトウェアの提供を業とする第三者との間で、対象著作物をコンベイする行為に対してあなたが当該第三者に対価を支払い、当該第三者はあなたから当該著作物を受領したすべての当事者に対して (a) あなたがコンベイした対象著作物（又は当該著作物から作成された複製物）を対象として、もしくは (b) 対象著作物を含む特定の製品又は対象著作物を他のものと同梱したものを主たる対象として、又はそれらに関連して、差別的な特許ライセンスを供与する旨の合意をしている場合、あなたは対象著作物をコンベイすることができない。ただし、2007年3月28日より前に当該合意又は当該特許ライセンスの供与がなされた場合、この限りでない。

本許諾書のいかなる条項も、黙示的ライセンス、その他準拠法国の特許法において認められ得る特許侵害に対する防御方法を否定し又は制限する趣旨に解釈されてはならない。

#### 12. 他者の自由の放棄の禁止

本許諾書と矛盾する条件があなたに課せられた場合（裁判所による命令、契約、その他を問わない）でも、あなたは本許諾書の義務を免れることはできない。本許諾書上の義務と他の義務の両方をともに満たすような形で対象著作物をコンベイすることができない場合、あなたは、当該著作物をコンベイすることは一切許されない。例えば、あなたが、あなたから対象著作物をコンベイされた者がさらにコンベイをする行為に対してロイヤルティを徴求する義務を負う条項に同意していた場合、当該条項と本許諾書の両方の要求を充足しうる唯一の方法は、本プログラムのコンベイを完全に中止することである。

#### 13. GNU Affero 一般公衆利用許諾書と共に利用する場合

本許諾書の他の条項のいかに関わらず、あなたは、対象著作物を GNU Affero 一般公衆利用許諾書バージョン3に基づいて許諾された著作物とリンクまたは結合して単一の結合された著作物とすること、及びその結果として作成された著作物をコンベイすることができる。本許諾書の条項は、当該結合された著作物中の対象著作物の部分に対しては引き続き適用されるが、結合された著作物それ自体としては、GNU Affero 一般公衆利用許諾書の特定の条件、すなわちネットワーク上のインタラクションに関する第13条も適用される。

#### 14. 本許諾書の改訂バージョン

フリーソフトウェア財団は、本許諾書の改訂バージョン又は新バージョンの場合に応じて発行することができる。それらの新バージョンは、その精神においては現在のバージョンと似たものになるであろうが、細部については新たな問題や懸念を解決すべく異なったものとなる場合がある。

それぞれのバージョンには、異なるバージョン番号が付与される。本プログラムに、特定のバージョン番号の GNU 一般公衆利用許諾書「or any later version(又は、それ以降のバージョンのいずれか)」が適用される旨が規定されている場合、当該特定の番号のバージョン、又はそれ以降にフリーソフトウェア財団によって発行されたバージョンのいずれの利用条件に従うかを、あなたが選択することができる。本プログラムが本許諾書のバージョン番号を指定していない場合、あなたは、フリーソフトウェア財団が発行済みのバージョンの中からいずれのバージョンも選択することができる。

本プログラムに、GNU 一般公衆利用許諾書の将来のバージョンのうちどれが適用されるかを代理人が決定できる旨が規定されている場合において、当該代理人があるバージョンを受諾する旨を公衆に対して表明した場合、あなたは本プログラムについてそのバージョンを選択したことになる。

本許諾書の今後のバージョンでは、追加的な、または従来とは異なる許諾が与えられるかもしれない。ただし、あなたが今後のバージョンを選択した場合でも、作成者及び著作権者に対して義務が追加的に課せられることはない。

#### 15. 保証の否認

本プログラムは、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もなされない。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者及びその他の当事者は、本プログラムをその「ままの状態 (as is)」で、いかなる保証（明示的か黙示的か）に関わらず、また、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されないもすることなく提供するものとする。本プログラムの品質及び性能に関するリスクは、すべてあなたが負うものとする。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、又は修正に要する費用は、すべてあなたの負担となる。

#### 16. 責任の限定

準拠法において義務が課されている場合又は書面による合意がある場合を除き、著作権者又は上記の定めに従い本プログラムを修正又はコンパイルした当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、あなたの被った損害について何らの責任も負わない。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの（データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがあなたである場合と第三者である場合、及び本プログラムが他のプログラムと連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない）を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含む。

#### 17. 第15条と第16条の解釈について

係争の生じた地の法律において、上記の保証の否認及び責任限定の定めが規定どおりの効力を認められない場合、その地の法律の中で、本プログラムに関する民事上の責任の絶対的な放棄に最も近い法が、事件を審理する裁判所により適用されるものとする。ただし、保証又は賠償責任の負担が、本プログラムの有償での譲渡に伴ってなされている場合は、この限りでない。

以上